

J-BIM 施工図CAD 2015

仮設計画図入門編

目次

1 仮設計画図で

枠組足場を入力する 3

1-1 仮設計画図を開く	3
1-2 初期設定の確認・変更	3
1-3 躯体データの読み込み	5
1-4 外壁線の入力	6
1-5 枠組足場の入力（北側・東側）	7
1-6 データの保存	10
1-7 立体データの確認	11
1-8 枠組足場の入力（南側・西側）	12
1-9 枠組足場の入力（入隅部分）	14
1-10 枠組足場の入力（隙間部分）	16
1-11 枠組足場の属性変更	17
1-12 最上段の枠組足場の編集	18
1-13 立体データの確認	20
1-14 足場寸法線の入力	21
1-15 作図範囲の設定・データの保存	24

2 仮設立面図で

仮設部材を入力する 25

2-1 仮設立面図を開く（南面）	25
2-2 梁枠の入力	26
2-3 階段の入力	27
2-4 ステップガードの入力	28
2-5 コーナーガードの入力	29
2-6 入力基準面の設定	30
2-7 単管の入力	31
2-8 壁つなぎの入力	36
2-9 養生シートの入力	38
2-10 足場寸法線の入力	40
2-11 部材名の入力	41
2-12 作図範囲の設定・データの保存	43
2-13 仮設立面図を開く（東面）	44
2-14 入力基準面の設定	45
2-15 単管・壁つなぎ・養生シートの入力	46
2-16 足場寸法線の入力	48
2-17 部材名の入力	49
2-18 作図範囲の設定・データの保存	50
2-19 部材名の追加（平面）	50

3 図面を作成する 52

3-1 仮設計画図の作成	52
3-2 仮設立面図の作成（南面）	54
3-3 仮設立面図の作成（東面）	56
3-4 図枠の配置	57
3-5 データの保存	57
3-6 図面の印刷	58

4 仮設部材を積算する 59

4-1 自動積算	59
4-2 自動集計	60
4-3 帳票の印刷	61

Q&A 62

Q1 仮設部材を登録するには	62
Q2 建物の外壁線を入力するには	65
Q3 住宅用足場を使うには	68

1 仮設計画図で枠組足場を入力する

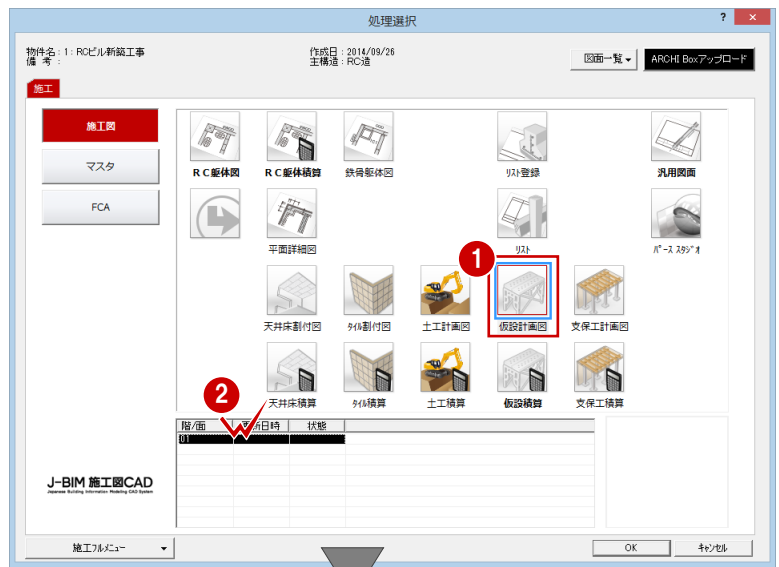
仮設計画図では、RC 躯体図や鉄骨躯体図で入力した躯体データ、または平面図で入力した柱・壁データを参照して建物の外壁線を入力することができます。ここでは、RC 躯体図の躯体データを参照して、外壁線を入力する方法を解説しています。

※ 躯体データなどを参照しないで外壁線を入力する方法については、「Q2 建物の外壁線を入力するには」を参照してください。

1-1 仮設計画図を開く

① [処理選択] ダイアログで「仮設計画図」をクリックします。

② [図面一覧] で「01」をダブルクリックします。



【仮設計画図：施工】ウィンドウが開きます。

1-2 初期設定の確認・変更

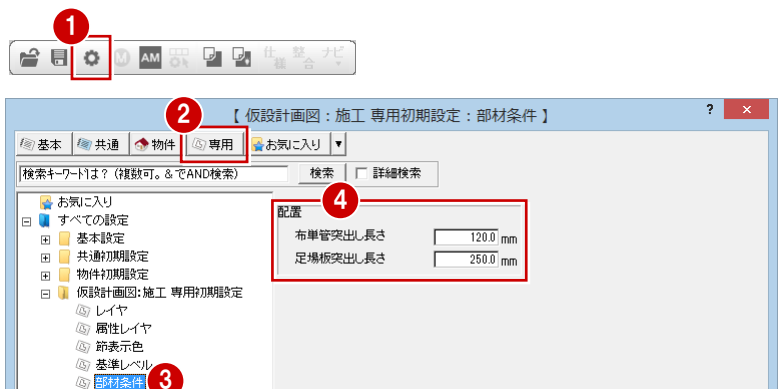
仮設計画図に関する初期設定を確認・変更しましょう。

専用初期設定を確認・変更する

入力の前に、仮設部材の入力条件や図面の作成条件などを確認します。

部材の入力条件の確認

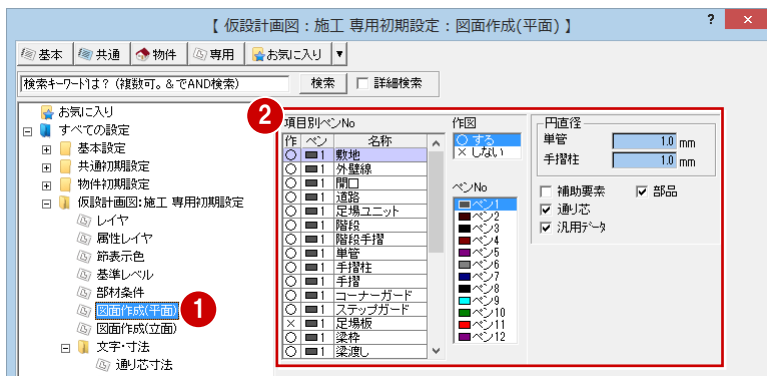
- ① [設定] をクリックします。
[設定] ダイアログが開きます。
- ② [専用初期設定] をクリックします。
- ③ ツリーから「部材条件」をクリックします。
- ④ 単管と足場板の突き出し長さを確認します。



1 仮設計画面図で枠組足場を入力する

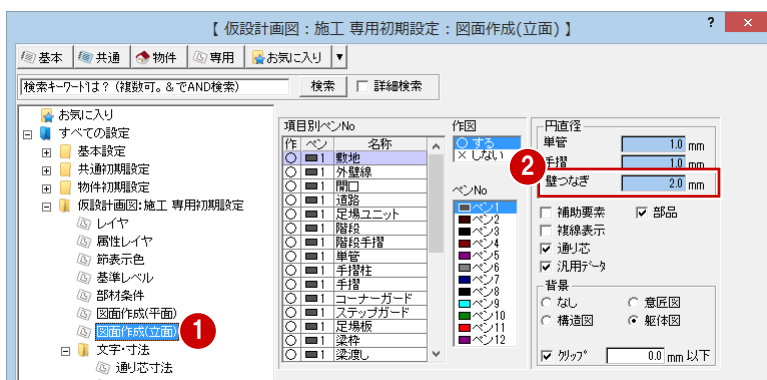
仮設計画面図の作図条件の確認

- 1 ツリーから「図面作成（平面）」をクリックします。
- 2 仮設計画面図で作図される部材とそのペンNo、作図の対象となるデータを確認します。



仮設計画面立図の作図条件の変更

- 1 ツリーから「図面作成（立面）」をクリックします。
- 2 ここでは、仮設計画面立図で作図される[壁つなぎ]の直径を「2」に変更します。



通り芯寸法文字などの設定の確認

- 1 ツリーから「文字・寸法」の「通り芯寸法」をクリックします。
- 2 [平面] の [追い出し] のチェックをはずします。
- 3 [ファイル保存] にチェックが付いていることを確認します。
- 4 [OK] をクリックして、ダイアログを閉じます。



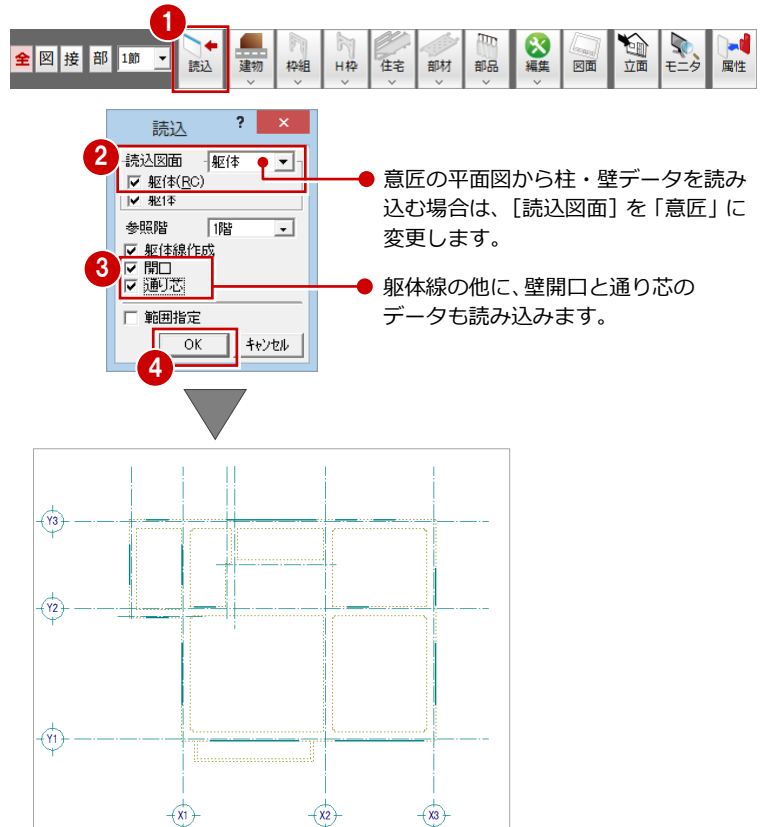
1-3 躯体データの読み込み

仮設計画図に RC 躯体図データを読み込みましょう。読み込んだら、不要なデータを削除しておきましょう。

躯体データを読み込む

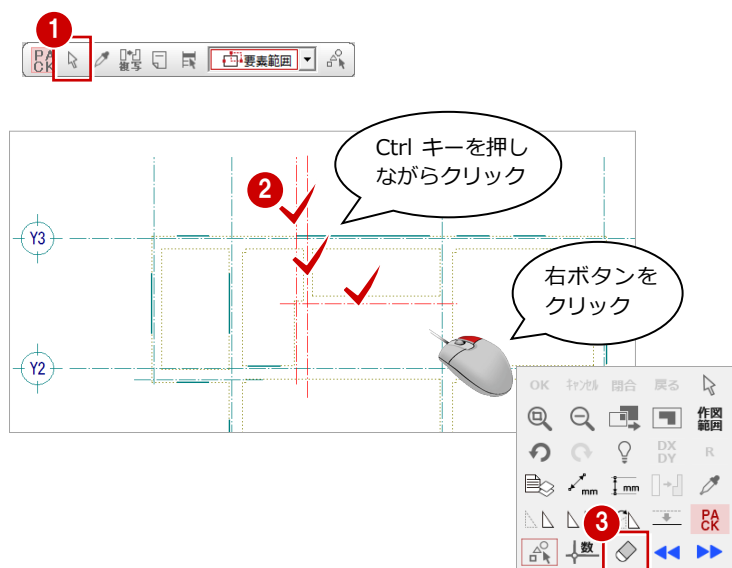
- 1 [読込] をクリックします。
[読込] ダイアログが開きます。
- 2 [読込図面] が「躯体」になっている、[躯体 (RC)] にチェックが付いていることを確認します。
- 3 [開口] と [通り芯] にチェックを付けます。
- 4 [OK] をクリックします。

躯体線（補助線）、開口のデータが入力されます。また、通り芯、作図芯、作図範囲などが読み込まれます。



不要なデータを削除する

- 1 [対象データ選択] をクリックします。
- 2 右図のように、Ctrl キーを押しながら作図芯（3箇所）を順にクリックします。
(選択方法：要素範囲)
- 3 右クリックして、ポップアップメニューから [削除] を選びます。



1-4 外壁線の入力

躯体データを参照して、外壁線と足場入力のための補助線を入力しましょう。

外壁線と補助線を入力する

- 1 [建物] メニューから [外壁線任意] を選びます。

[外壁線任意] ダイアログが開きます。

- 2 上側の [補助線距離] にチェックが付いていて、「300」が入力されていることを確認します。

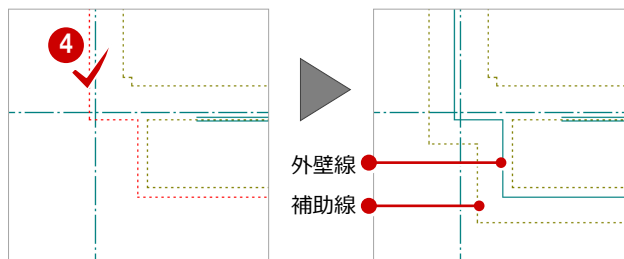


- 3 選択方法が「要素指定」であることを確認します。

- 4 外側の躯体線をクリックします。

指定した位置に外壁線が入力され、300 mm 外側に補助線が入力されます。

- ※ 入力後、部分的に外壁線から補助線までの距離を変えたいときは [属性] でその外壁線を選択し、[外壁線] ダイアログで [補助線距離] を変更します。

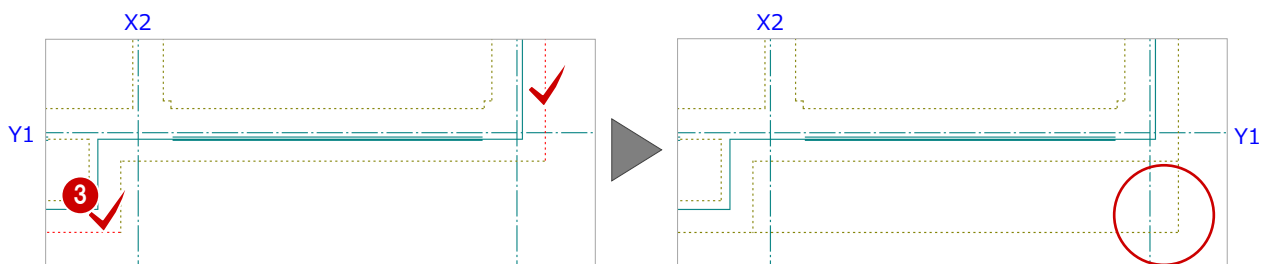
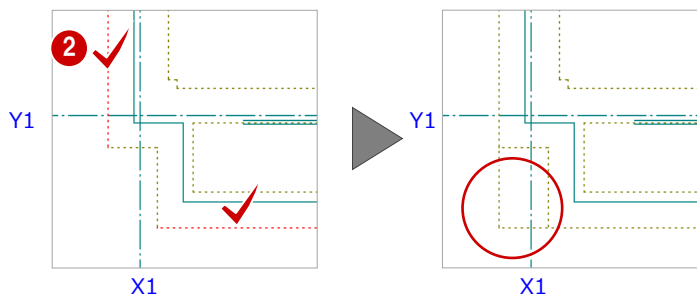
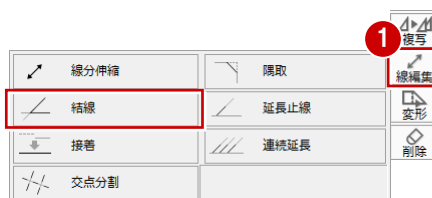


補助線を編集する

- 1 [線編集] メニューから [結線] を選びます。

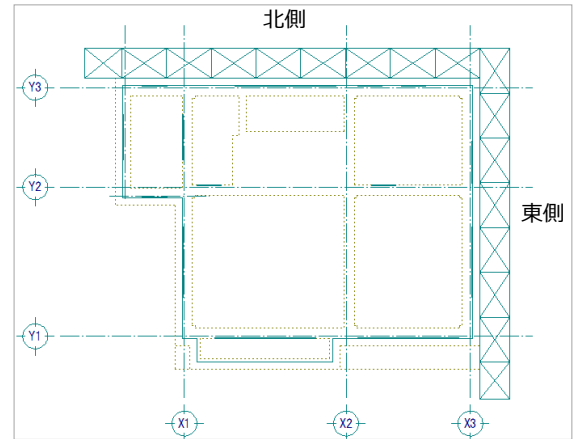
- 2 右図のように補助線をクリックして、バルコニー部分と建物外周の補助線を結びます。

- 3 同様にして、もう一方の補助線も結びます。



1-5 枠組足場の入力（北側・東側）

補助線に沿って、建物の北側と東側に枠組足場ユニットを配置しましょう。



【完成図】

建物北側に枠組足場を配置する

① [枠組] メニューから [枠組足場ユニット] を選びます。
[足場ユニットのマスタ選択] ダイアログが開きます。

② 配置する枠組足場を選びます。
ここでは「16：メータ系枠組足場 1200*1800*1700」をダブルクリックします。
[枠組足場ユニット] ダイアログが開きます。

③ [ジャッキベース] にチェックが付いていることを確認します。

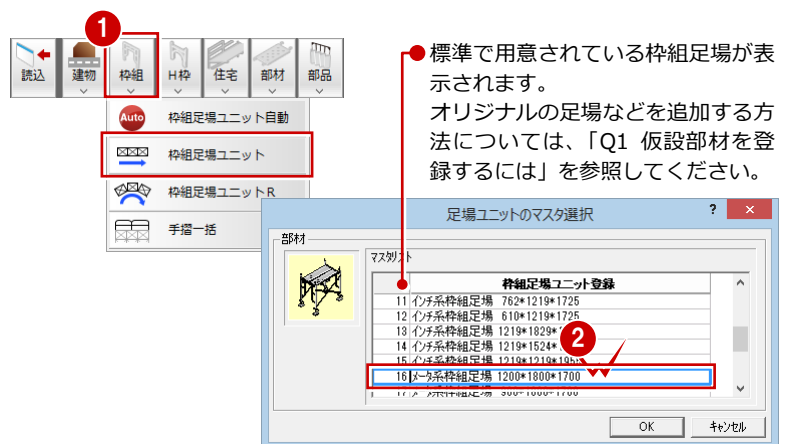
④ [ピック (交点)] と [ピック (フリー)] のみオンにします。

⑤ 補助線の交点をクリックして、枠組足場の始点を指定します。
(ピックモード：交点)

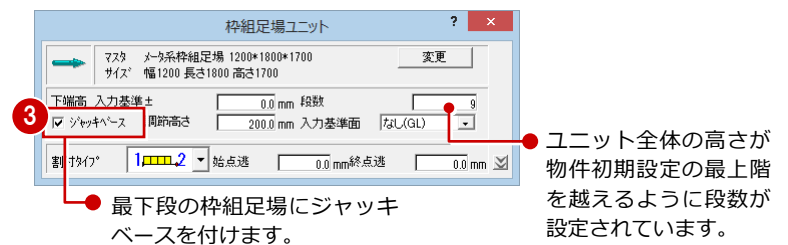
⑥ スペースキーを1回押してドラフター機能をオンにし、終点をクリックします。終点はラバーバンドを確認しながら、西側の外壁線から1つ余分に足場が表示される位置をクリックします。

⑦ 外側の方向をクリックします。

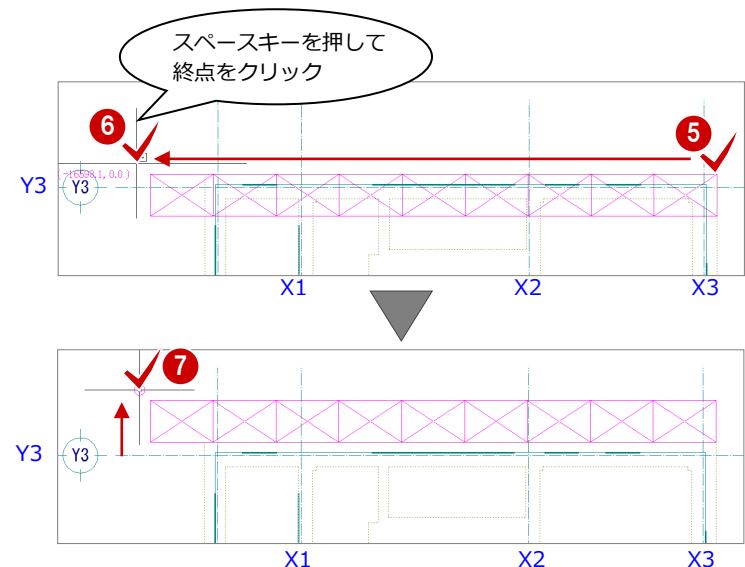
※ ツールバーの [ドラフター機能切替] をクリックしてドラフター機能をオンにすることもできます。



標準で用意されている枠組足場が表示されます。
オリジナルの足場などを追加する方法については、「Q1 仮設部材を登録するには」を参照してください。

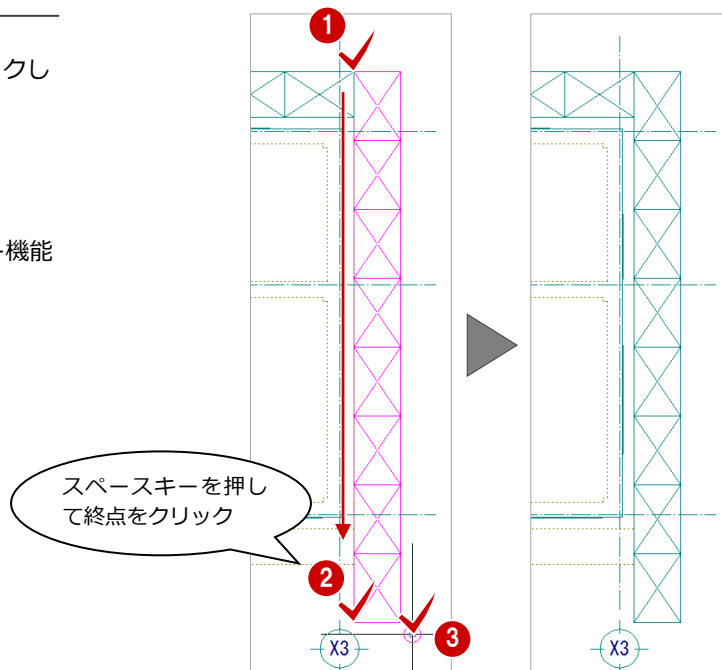


ユニット全体の高さが物件初期設定の最上階を越えるように段数が設定されています。



建物東側にも枠組足場を配置す

- ① 右図のように、枠組足場の角をクリックして、始点を指定します。
(ピックモード：交点)
- ② スペースキーを1回押してドラフター機能をオンにし、終点をクリックします。
- ③ 外側の方向をクリックします。

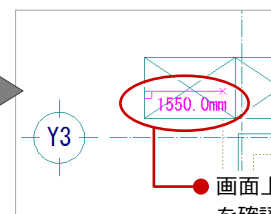
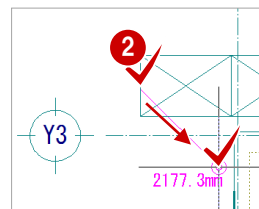


線間距離を確認する

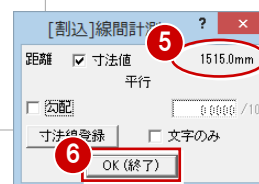
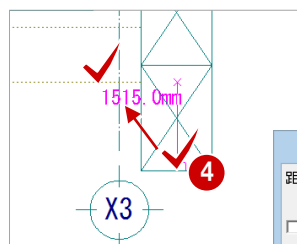
続けて、端部の枠組足場の長さを調整しましょう。

枠組足場の端から補助線まで距離を確認した後、枠組足場を構成する各部位のサイズを変更します。

- ① 右クリックし、ポップアップメニューから「[割込] 線間計測」を選びます。
- ② 右図のように、枠組足場（北側）の端と西側の補助線をクリックします。
- ③ 「[割込] 線間計測」ダイアログで距離を確認します。
ここでは「1550.0 mm」と表示されます。

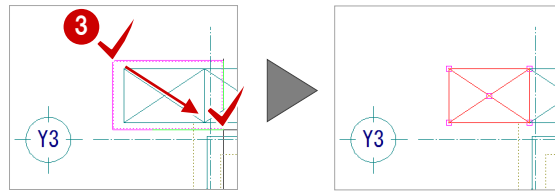


- ④ 続けて、枠組足場（東側）の端と南側の補助線をクリックします。
- ⑤ 「[割込] 線間計測」ダイアログで距離を確認します。
ここでは「1515.0 mm」と表示されます。
- ⑥ [OK (終了)] をクリックします。

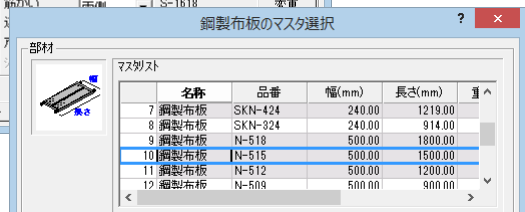
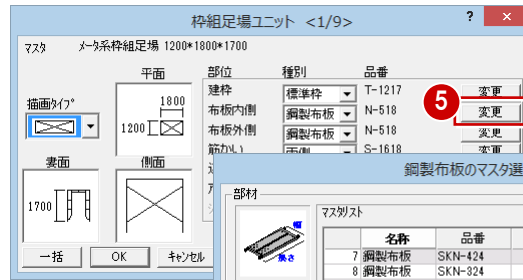


枠組足場の部位を一括変更する

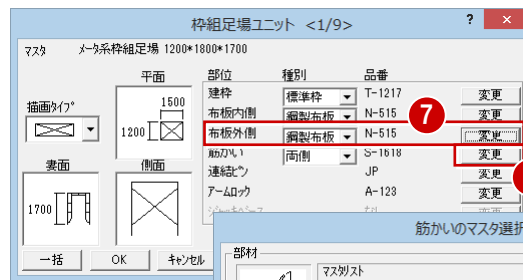
- 1 [対象データ選択] をクリックします。
- 2 選択方法を「ボックスイン」に変更します。
- 3 範囲を指定して、北側の端部の枠組足場をまとめて選択します。
⇒ 詳しくは、次ページ「枠組足場ユニットの一括変更について」参照



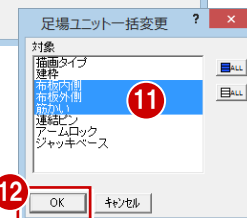
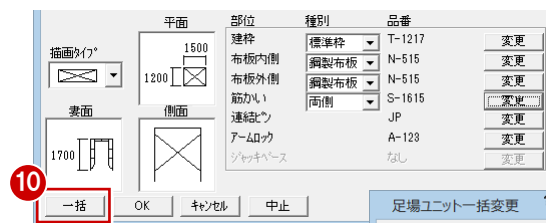
- 4 [属性] をクリックします。
[枠組足場ユニット] ダイアログが開きます。
- 5 [布板内側] の [変更] をクリックします。
[鋼製布板のマスダ選択] ダイアログが開きます。
- 6 [マスタリスト] から品番「N-515」をダブルクリックします。



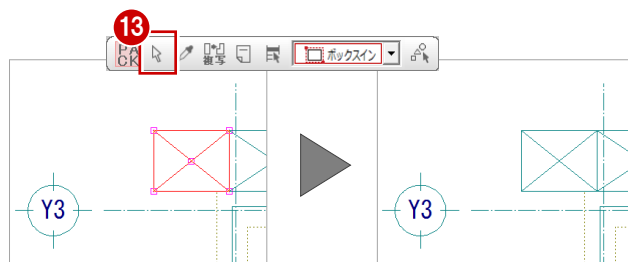
- 7 同様に、[布板外側] も「N-515」に変更します。
- 8 [筋かい] の [変更] をクリックします。
[筋かいのマスダ選択] ダイアログが開きます。
- 9 [マスタリスト] から品番「S-1615」をダブルクリックします。
[枠組足場ユニット] ダイアログに戻ります。



- 10 [一括] をクリックします。
[足場ユニット一括変更] ダイアログが開きます。
- 11 [対象] で「布板内側」「布板外側」「筋かい」をクリックして選択します。
- 12 [OK] をクリックします。
選択されている枠組足場の長さが一括変更されます。



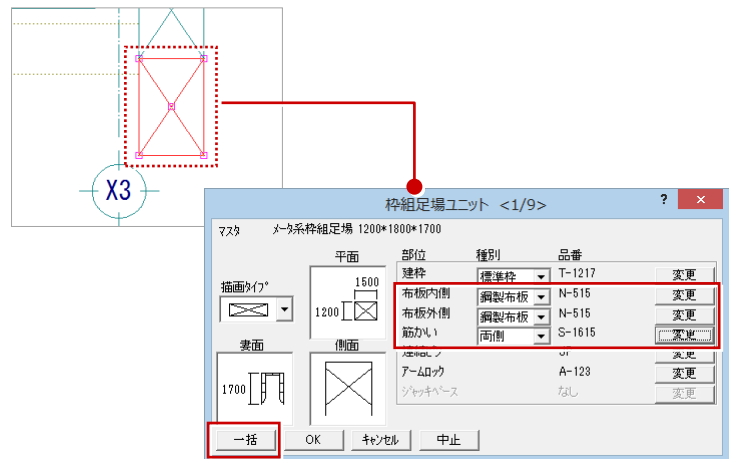
- 13 再度 [対象データ選択] をクリックして、選択状態を解除します。



1 仮設計画図で枠組足場を入力する

東側の端部の枠組足場を一括変

北側の端部の枠組足場と同様な操作で、東側の端部の枠組足場も、布板内側・布板外側・筋かいのサイズを一括変更しましょう。

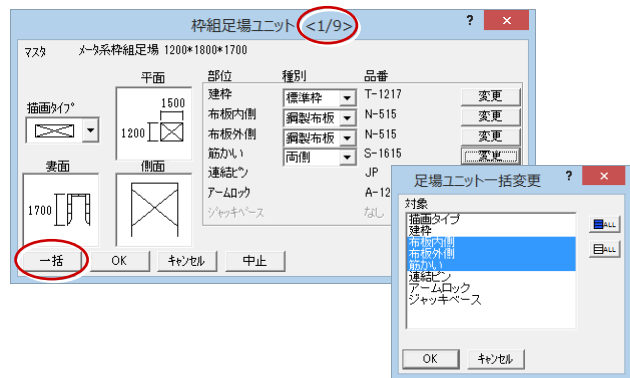


補足 枠組足場ユニットの一括変更について

枠組足場ユニットは平面的には1段分しか表現されていませんが、実際は複数段（ここでは9段）が入力されています。そのため端部の枠組足場を選択する際、選択方法を「要素範囲」にした場合は、どれか1つだけを選択してしまう場合があります。平面上で複数段選択するには、選択方法を「ボックスイン」などにして範囲指定します。

また、複数段選択した枠組足場のある部位だけをまとめて変更するには「属性変更」を使用します。「属性変更」ダイアログで目的の部位の設定を変更したあと、「一括」で一括変更の対象となる部位を指定します。

このとき「属性変更」ダイアログのタイトルバーでも現在選択されている枠組足場の数を確認することができます。



1-6 データの保存

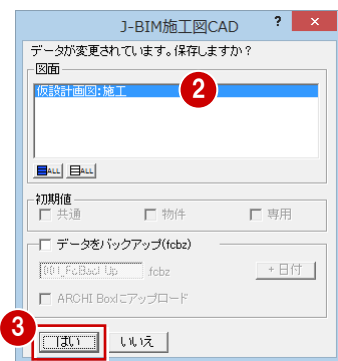
ここまで入力したデータを保存しておきます。データの保存は、切りの良いところで適宜に行うようにしましょう。

- 1 [上書き保存] をクリックします。

保存の確認画面が開きます。



- 2 「仮設計画図：施工」が選択されていることを確認します。



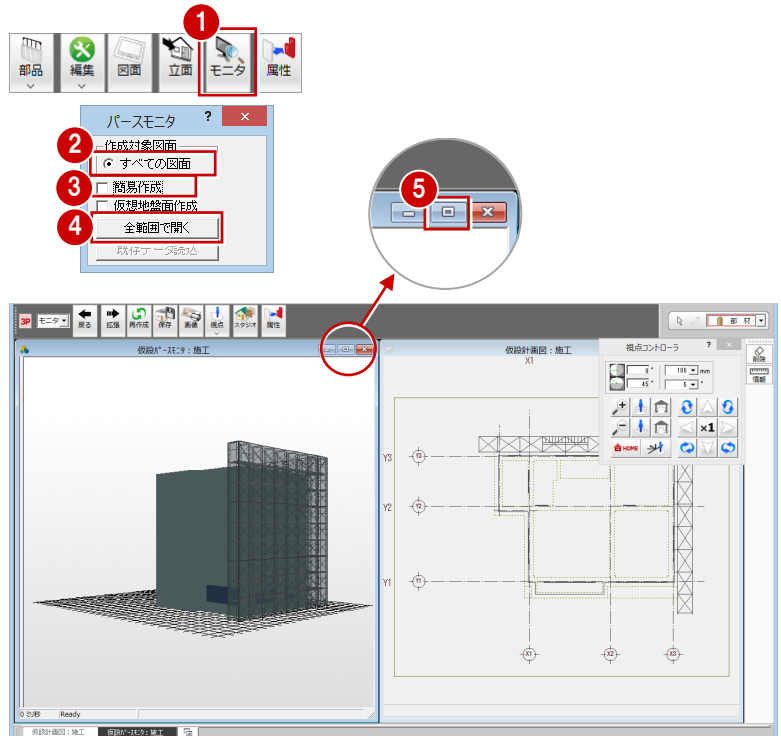
- 3 [はい] をクリックします。

1-7 立体データの確認

パースモニタを開いて、ここまで入力したデータの立体を確認してみましょう。

パースモニタを開く

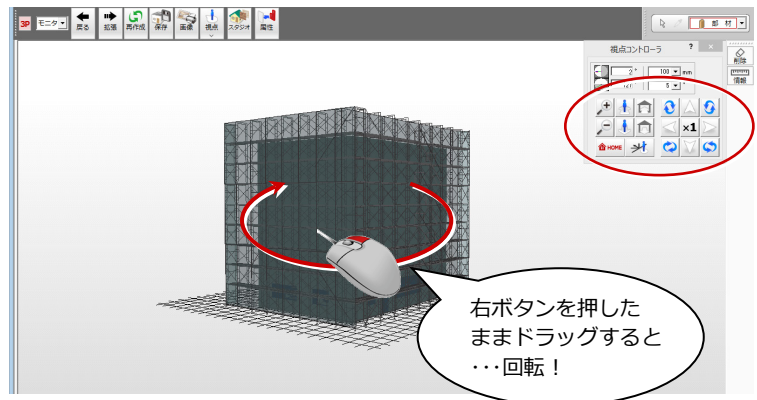
- ① [モニタ] をクリックします。
[パースモニタ] ダイアログが開きます。
- ② [すべての図面] にチェックが入っていることを確認します。
- ③ [簡易作成] のチェックをはずします。
- ④ [全範囲で開く] をクリックします。
[パースモニタ] ウィンドウが開いて、立体データが作成されます。
- ⑤ [パースモニタ] ウィンドウの [最大化] をクリックして、ウィンドウを最大化しておきます。



立体を確認する

[視点コントローラ] ダイアログの各ボタンをクリックしたり、マウス操作（両ボタンドラッグ、右ボタンドラッグ、ホイールの回転・ドラッグ）を行って、立体データを確認しましょう。

※ 詳しい操作方法は、「RC 躯体図入門編」を参照してください。



【マウス操作】

- [回転]：マウスの右ボタンを押したままドラッグします。
- [移動]：ホイールボタンを押したままマウスを動かします。
- [拡大縮小]：CAD 画面と同様に両ボタンドラッグで拡大縮小できます。
ホイールを上下に動かしても拡大縮小できます。

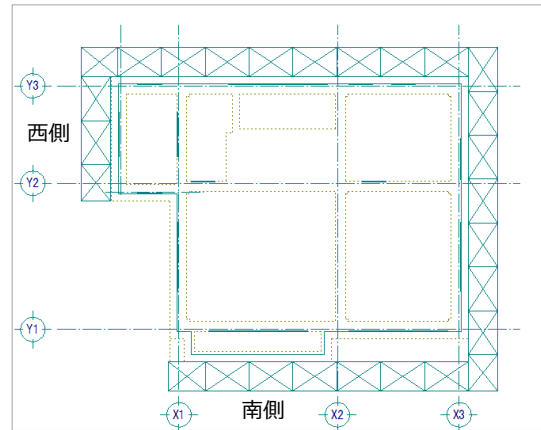
仮設計画図に切り替える

- ① [仮設計画図：施工] タブをクリックします。
[パースモニタ] ウィンドウを開いたまま、[仮設計画図：施工] ウィンドウに切り替わります。



1-8 枠組足場の入力（南側・西側）

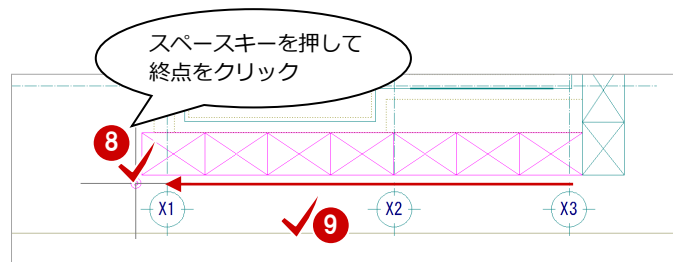
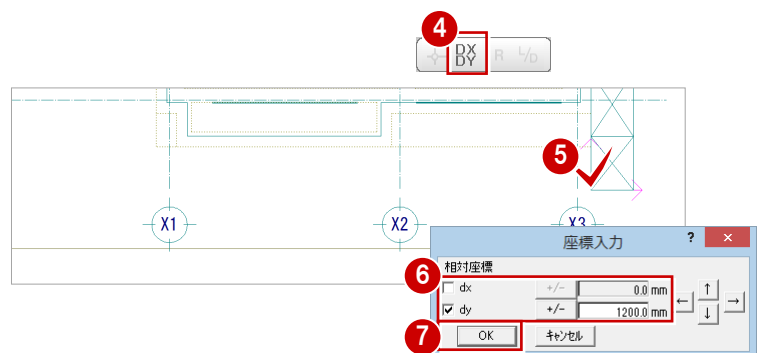
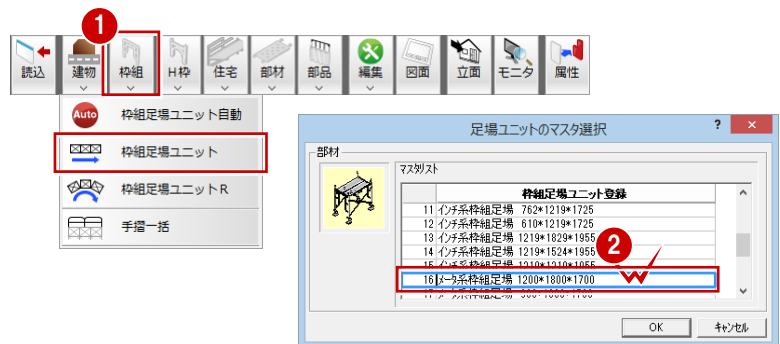
次に、南側と西側に枠組足場を配置しましょう。



【完成図】

建物南側に枠組足場を配置する

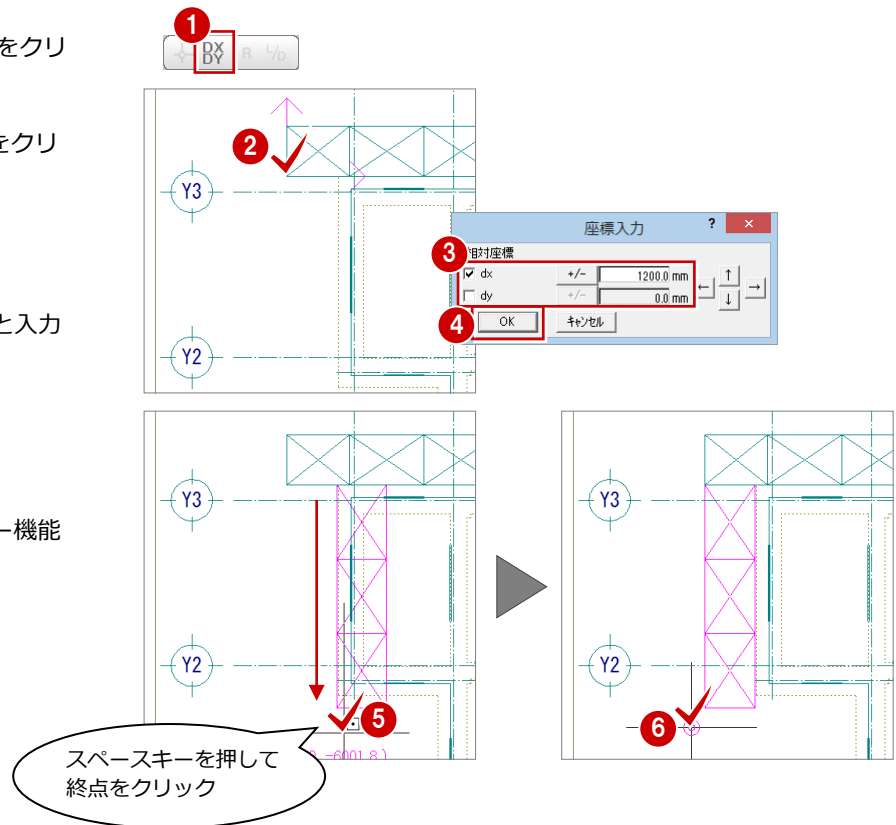
- 1 [枠組] メニューから [枠組足場ユニット] を選びます。
[足場ユニットのマスタ選択] ダイアログが開きます。
- 2 配置する枠組足場を選びます。
北側・東側と同じ「16：メータ系枠組足場 1200*1800*1700」をダブルクリックします。
- 3 [枠組足場ユニット] ダイアログで設定内容を確認します。
- 4 [クリック位置からの相対座標入力] をクリックしてオンにします。
- 5 右図のように、東側の枠組足場の角をクリックします。
(ピックモード：交点)
[座標入力] ダイアログが開きます。
- 6 [dx] のチェックをはずし、[dy] に「1200」と入力します。
- 7 [OK] をクリックします。
- 8 スペースキーを1回押してドラフター機能をオンにし、終点をクリックします。
- 9 外側の方向をクリックします。



※ 枠組足場ユニットは、始点 ⇒ 終点の位置が足場の内側になるため、ここでは座標入力を利用して、クリック位置から Y 方向に 1200 mm (枠組足場の幅) の位置が始点となるように入力しています。

建物西側にも枠組足場を配置す

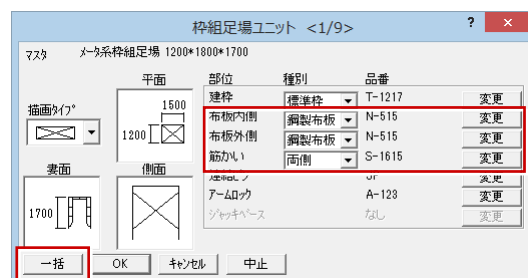
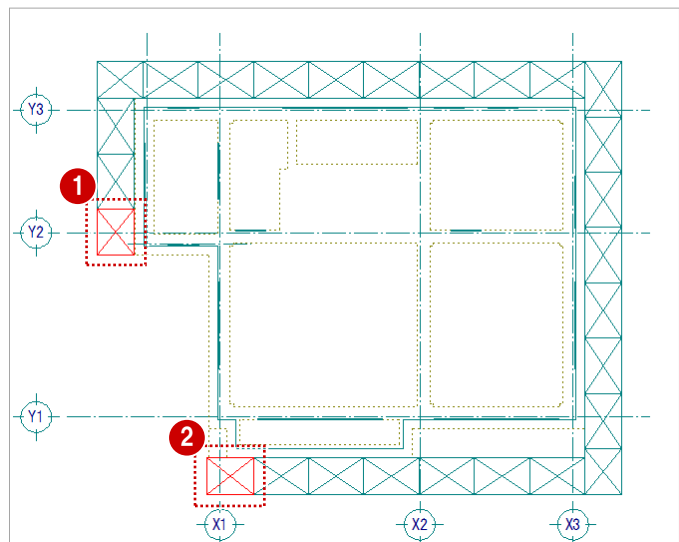
- ① [クリック位置からの相対座標入力] をクリックしてオンにします。
- ② 右図のように、北側の枠組足場の角をクリックします。
(ピックモード：交点)
[座標入力] ダイアログが開きます。
- ③ [dx] のチェックを付けて「1200」と入力し、[dy] のチェックをはずします。
- ④ [OK] をクリックします。
- ⑤ スペースキーを1回押してドラフター機能をオンにし、終点をクリックします。
- ⑥ 外側の方向をクリックします。



枠組足場の部位を一括変更する

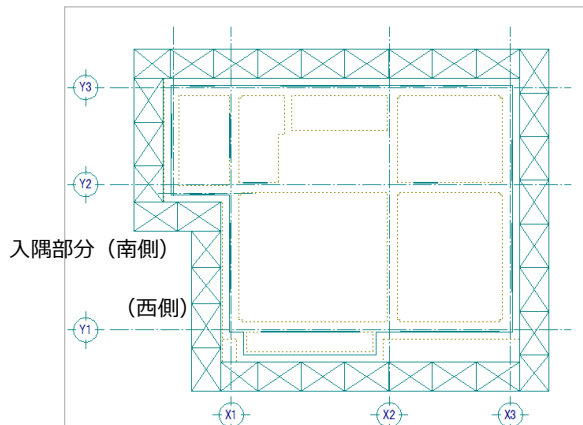
北側・東側と同様な操作で、端部の枠組足場の長さを調整しましょう。
⇒ 操作方法は P.9 参照

- ① 西側の端部の枠組足場
【部位：品番】
布板内側・布板外側：「N-515」
筋かい：「S-1615」
- ② 南側の端部の枠組足場
【部位：品番】
①と同じ



1-9 枠組足場の入力（入隅部分）

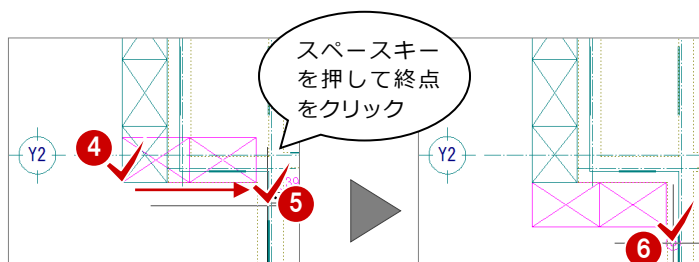
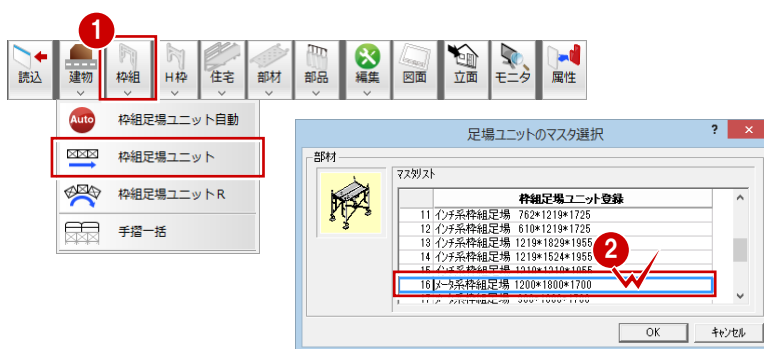
続けて、西側の入隅部分に枠組足場を入力しましょう。



【完成図】

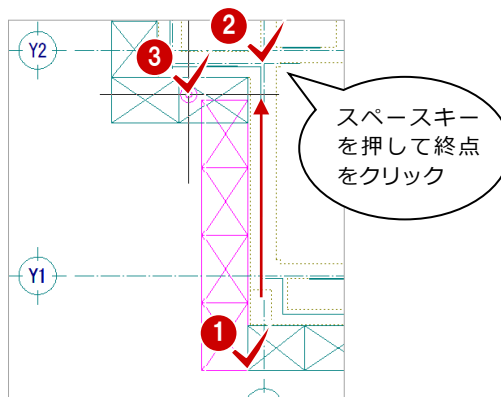
入隅部分（南側）に 枠組足場を配置する

- ① [枠組] メニューから [枠組足場ユニット] を選びます。
[足場ユニットのマスダ選択] ダイアログが開きます。
- ② 配置する枠組足場ユニットを選びます。
北側・東側と同じ「16：メータ系枠組足場 1200*1800*1700」をダブルクリックします。
- ③ [枠組足場ユニット] ダイアログで設定内容を確認します。
- ④ 西側の枠組足場の角をクリックして、始点を指定します。
(ピックモード：交点)
- ⑤ スペースキーを1回押して、終点をクリックします。
- ⑥ 外側の方向をクリックします。



入隅部分（西側）にも 枠組足場を配置する

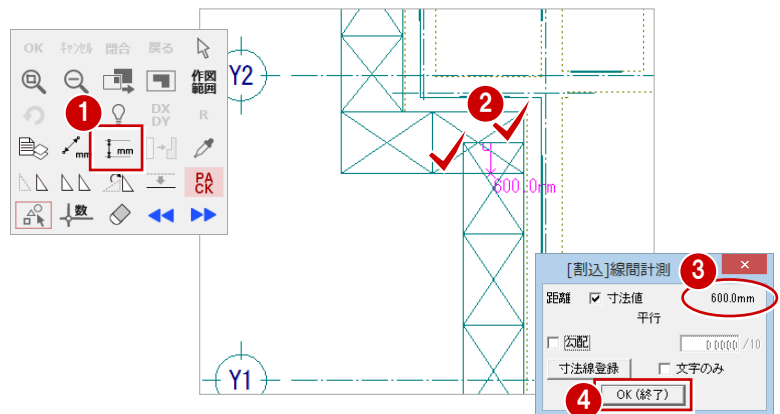
- ① 南側の枠組足場の角をクリックして、始点を指定します。
(ピックモード：交点)
- ② スペースキーを1回押して、終点をクリックします。
- ③ 外側の方向をクリックします。



入隅部分で枠組足場が重なってしまったので、この部分の距離を確認して、枠組足場の長さを調整しましょう。

重複部分の距離を確認する

- 1 右クリックし、ポップアップメニューから「[割込] 線間計測」を選びます。
- 2 右図のように、枠組足場のラインとラインをクリックします。
- 3 [[割込] 線間計測] ダイアログで距離を確認します。
ここでは「600.0 mm」と表示されます。
- 4 [OK (終了)] をクリックします。



枠組足場の部を一括変更する

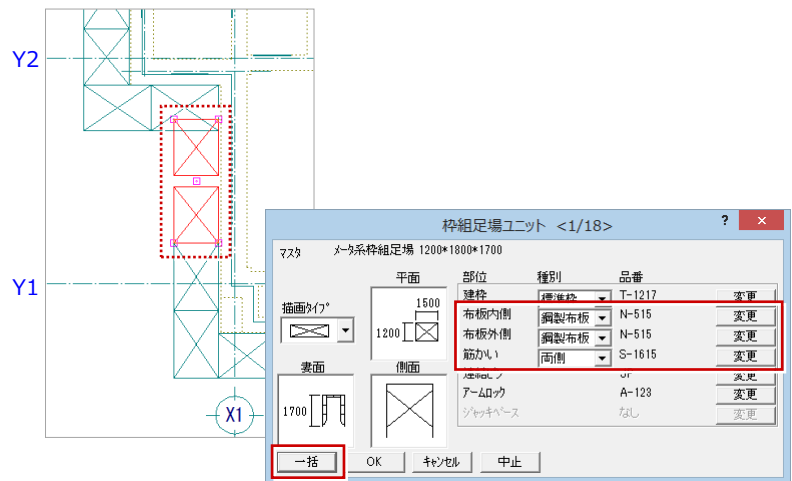
北側・東側と同様な操作で、右図の2列分の枠組足場について、各部位のサイズを一括変更しましょう。

⇒ P.9 参照

【部位：品番】

布板内側・布板外側：「N-515」

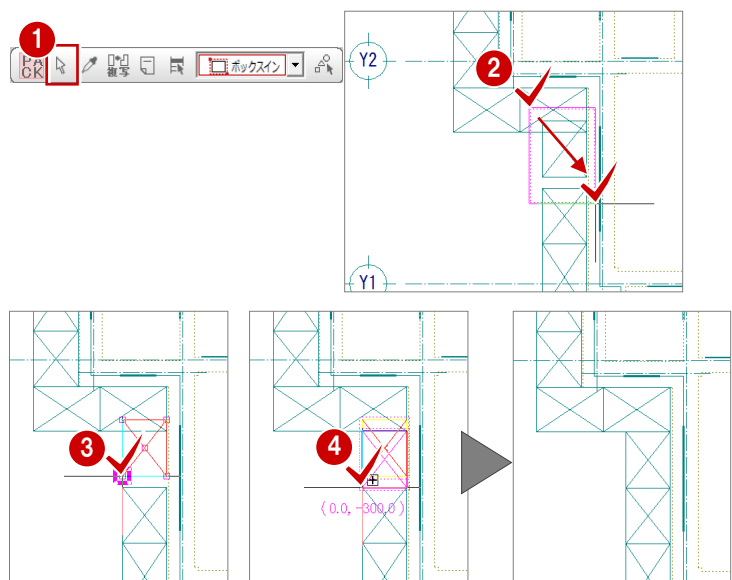
筋かい：「S-1615」



サイズの変更により、端の列が他の枠組足場と離れています。隙間が空かないように、端部の枠組足場を移動しておきましょう。

枠組足場を移動する

- 1 [対象データ選択] をクリックします。
- 2 範囲を指定して、右図の枠組足場を選択します。
(選択方法：ボックスイン)
- 3 枠組足場の左下のトラッカー (□) をクリックします。
- 4 下側の枠組足場の角をクリックして、移動先を指定します。
(ピックモード：交点)

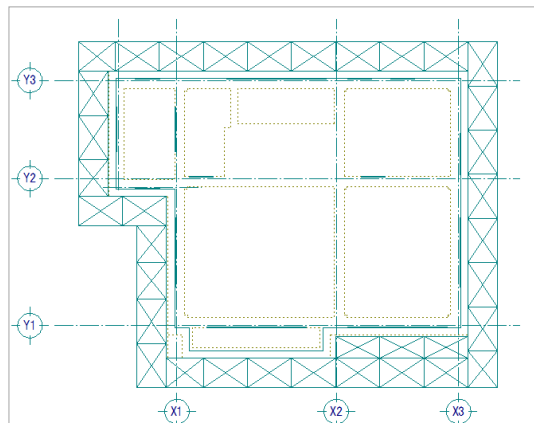


1-10 枠組足場の入力（隙間部分）

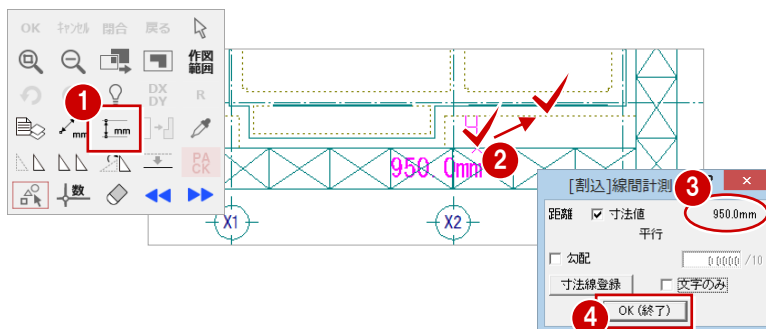
バルコニーの右側に隙間があります。この隙間部分の距離を計測して、適当なサイズの枠組足場を配置してみましょう。

隙間部分の距離を確認する

- 1 右クリックし、ポップアップメニューから「[割込] 線間計測」を選びます。
- 2 右図のように、枠組足場のラインと補助線をクリックします。
- 3 [[割込] 線間計測] ダイアログで距離を確認します。ここでは「950.0 mm」と表示されます。
- 4 [OK (終了)] をクリックします。

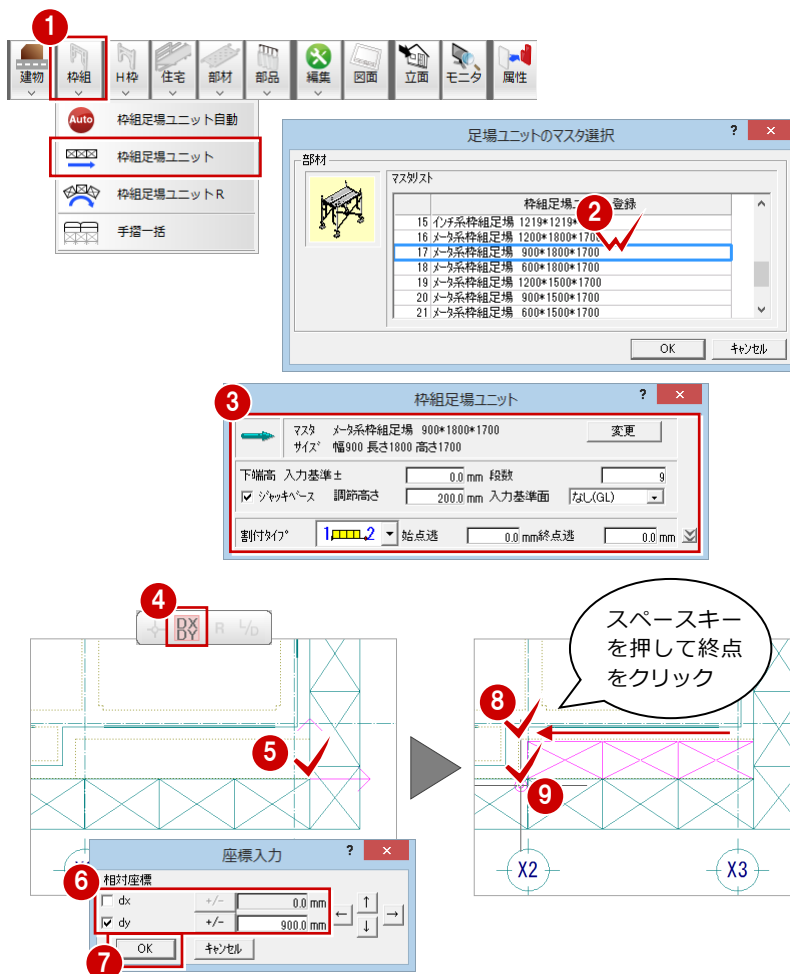


【完成図】



枠組足場を配置する

- 1 [枠組] メニューから [枠組足場ユニット] を選びます。
[足場ユニットのマスタ選択] ダイアログが開きます。
- 2 配置する枠組足場を選びます。
ここでは「17：メータ系枠組足場 900*1800*1700」をダブルクリックします。
- 3 [枠組足場ユニット] ダイアログで設定内容を確認します。
- 4 [クリック位置からの相対座標入力] をクリックしてオンにします。
- 5 右図のように、南側の枠組足場の角をクリックします。
(ピックモード：交点)
[座標入力] ダイアログが開きます。
- 6 [dx] のチェックをはずし、[dy] に「900」と入力します。
- 7 [OK] をクリックします。
- 8 スペースキーを1回押して、終点をクリックします。
- 9 外側の方向をクリックします。

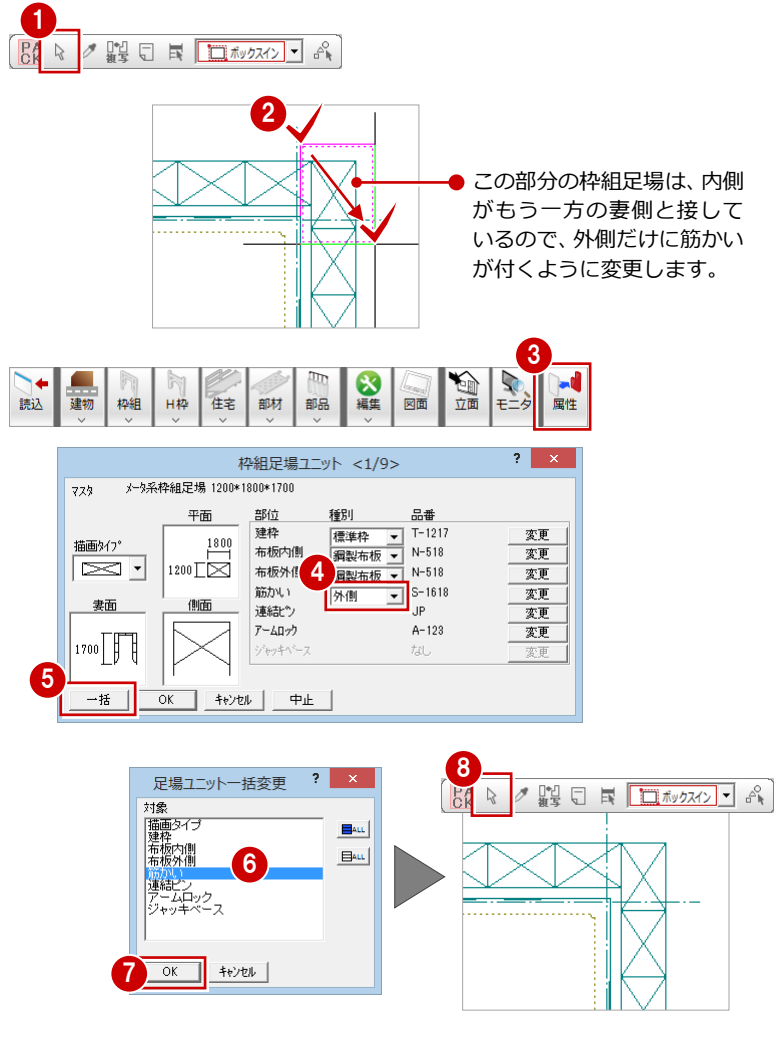


1-11 枠組足場の属性変更

コーナーの枠組足場は、一方の妻側ともう一方の内側または外側が接しています。妻側と接する箇所の筋かいは必要ないため、枠組足場の属性で筋かいが片側だけに付くように変更しましょう。

枠組足場の属性を一括変更する

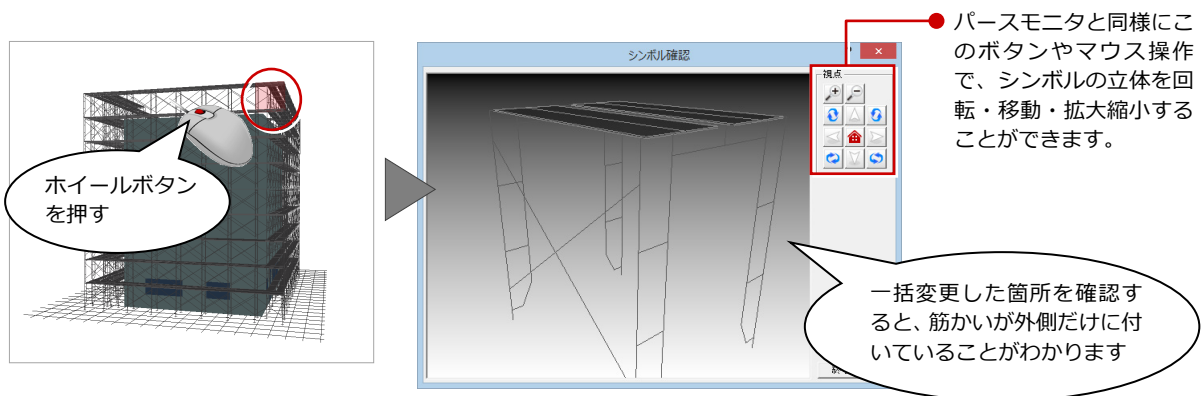
- 1 [対象データ選択] をクリックします。
- 2 範囲を指定して、右図の枠組足場を選択します。
(選択方法：ボックスイン)
- 3 [属性] をクリックします。
[枠組足場ユニット] ダイアログが開きます。
- 4 部位の筋かいで [種別] を「外側」に変更します。
- 5 [一括] をクリックします。
[足場ユニット一括変更] ダイアログが開きます。



- 6 [対象] で「筋かい」を選択します。
- 7 [OK] をクリックします。
- 8 再度 [対象データ選択] をクリックして、選択状態を解除します。

補足 枠組足場を構成する部位を確認するには

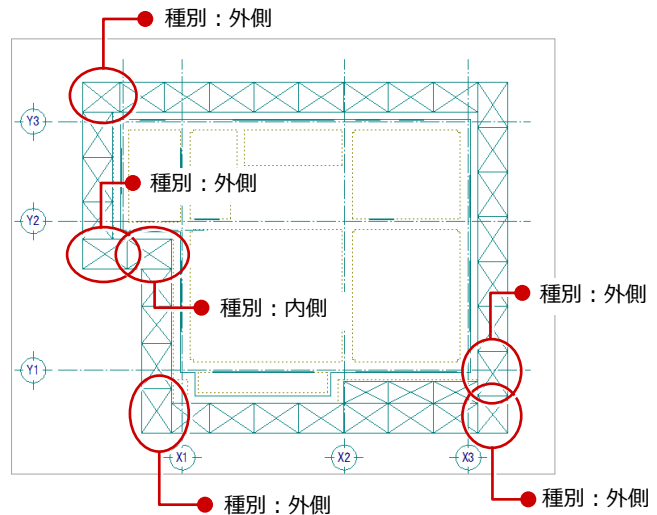
[仮設パースモニタ] タブをクリックし、[仮設パースモニタ] ウィンドウに切り替えます。一括変更した箇所の枠組足場を選択してマウスのホイールボタンを押します。[シンボル確認] ダイアログで選択した枠組足場の形状を確認します。



1 仮設計画面図で枠組足場を入力する

その他の枠組足場の属性も一括変更する

同様な操作で、その他のコーナー部分の枠組足場も筋かいを片側だけに変更しましょう。各部の筋かいの[種別]の設定は、右図を参照してください。

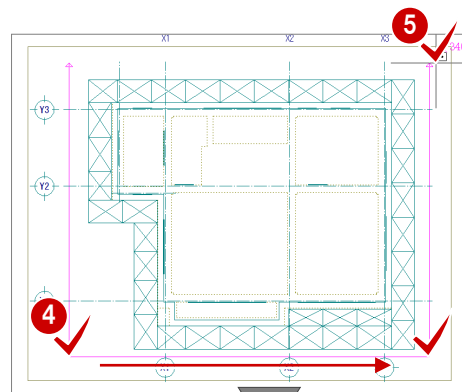
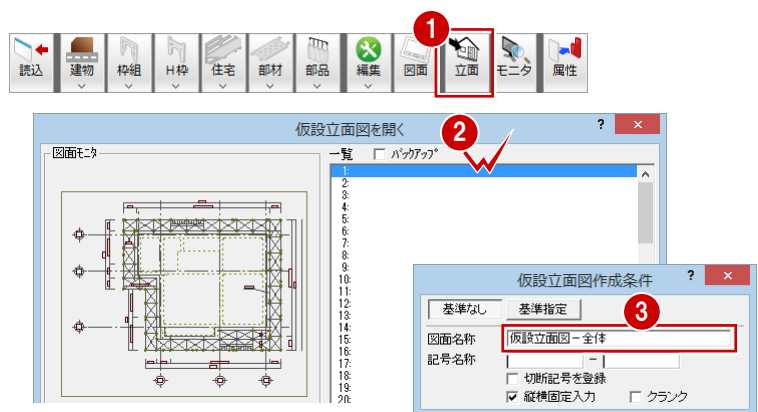


1-12 最上段の枠組足場の編集

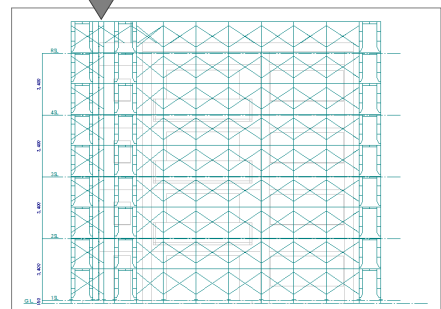
最上段には布板が付かないように枠組足場の属性を変更しましょう。最上段の枠組足場をまとめて変更するには、仮設立面図で属性の一括変更を行います。

仮設立面図を開く

- 1 [立面] をクリックします。
[仮設立面図を開く] ダイアログが開きます。
- 2 [一覧] で未登録欄をダブルクリックします。
ここでは「1:」を選択します。
[仮設立面図作成条件] ダイアログが開きます。
- 3 [図面名称] に図面名を入力します。
ここでは「仮設立面図-全体」と入力します。
- 4 右図のように、切断面の始点と終点を指定します。
- 5 見えがかりの範囲を指定します。
ここでは足場全体が含まれるように指定します。

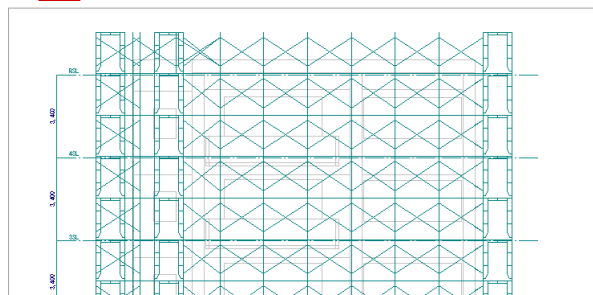
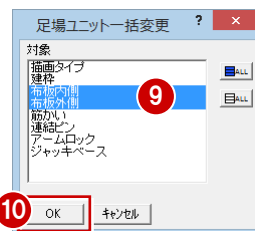
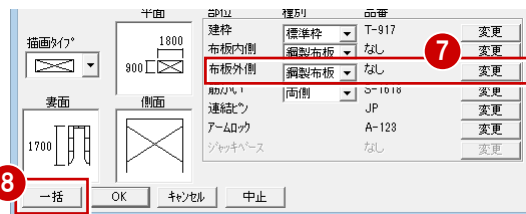
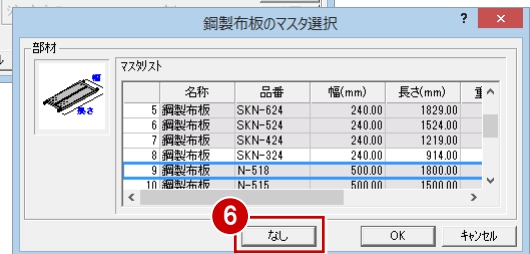
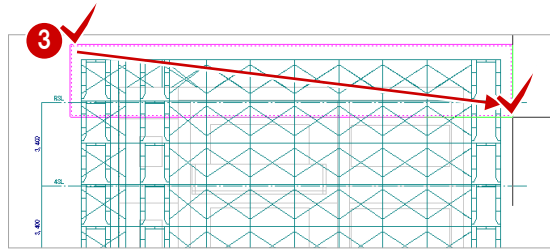


仮設立面図のウィンドウが開いて、立面データが作成されます。



枠組足場の属性を一括変更する

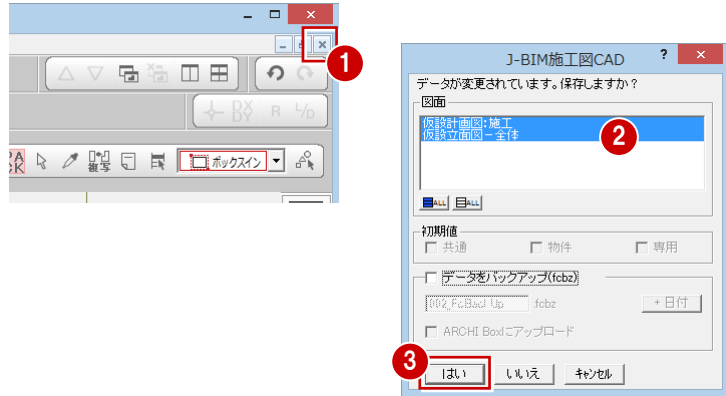
- ① [対象データ選択] をクリックします。
- ② 選択方法を「ボックスイン」に変更します。
- ③ 範囲を指定して、最上段の枠組足場を選択します。
- ④ [属性] をクリックします。
[枠組足場ユニット] ダイアログが開きます。
- ⑤ [布板内側] の [変更] をクリックします。
[鋼製布板のマスダ選択] ダイアログが開きます。
- ⑥ [なし] をクリックします。
- ⑦ 同様に、[布板外側] も「なし」に変更します。
- ⑧ [一括] をクリックします。
[足場ユニット一括変更] ダイアログが開きます。
- ⑨ [対象] で「布板内側」「布板外側」をクリックして選択します。
- ⑩ [OK] をクリックします。
最上段の枠組足場の布板がなくなります。
- ⑪ 再度 [対象データ選択] をクリックして、
選択状態を解除します。



1 仮設計画図で枠組足場を入力する

仮設立面図を閉じる

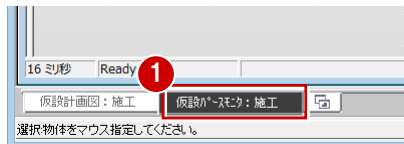
- 1 一括変更が終わったら、仮設立面図のウィンドウの「閉じる」をクリックします。
データ保存の確認画面が表示されます。
- 2 「仮設計画図：施工」「仮設立面図－全体」が選択されていることを確認します。
- 3 「はい」をクリックします。
仮設計画図のウィンドウに戻ります。



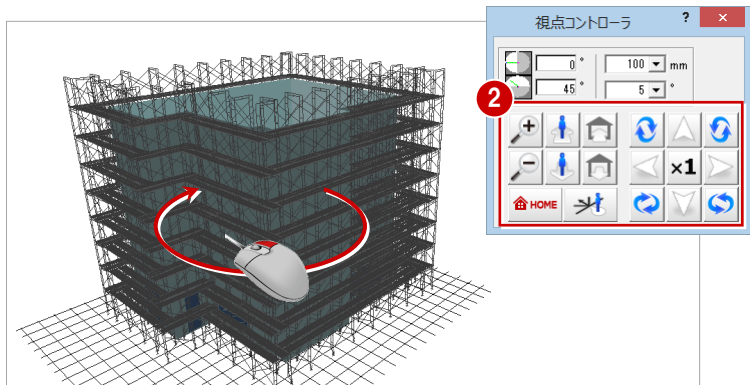
1-13 立体データの確認

パースモニタに切り替えて、ここまで入力したデータの立体を確認してみましょう。

- 1 「仮設パースモニタ：施工」タブをクリックします。



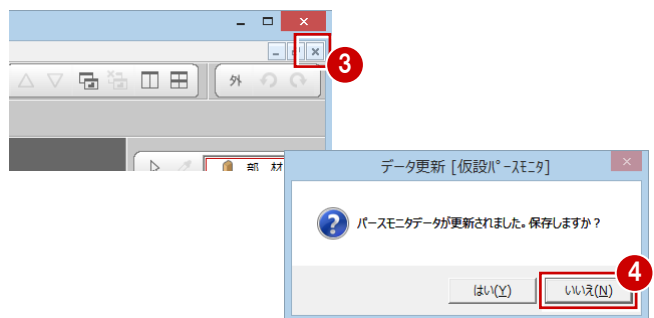
- 2 「視点コントローラ」ダイアログの各ボタンやマウス操作で視点を変更して、立体データを確認しましょう。



- 3 確認を終えたら、「パースモニタ」ウィンドウの「閉じる」をクリックします。

- 4 パースモニタデータの保存の確認画面が表示されるので、「いいえ」をクリックします。

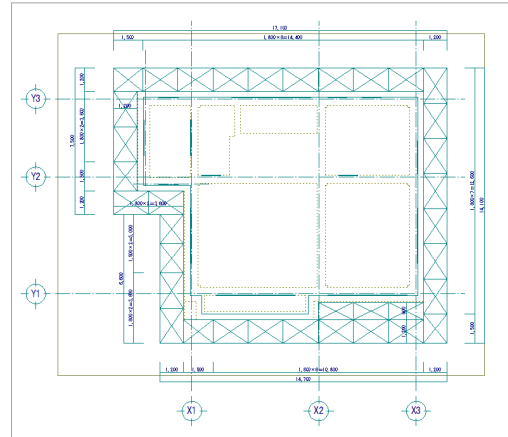
※ 確認のために作成した立体データなので、ここでは保存しなくて構いません。



1-14 足場寸法線の入力

足場の寸法を入力しましょう。

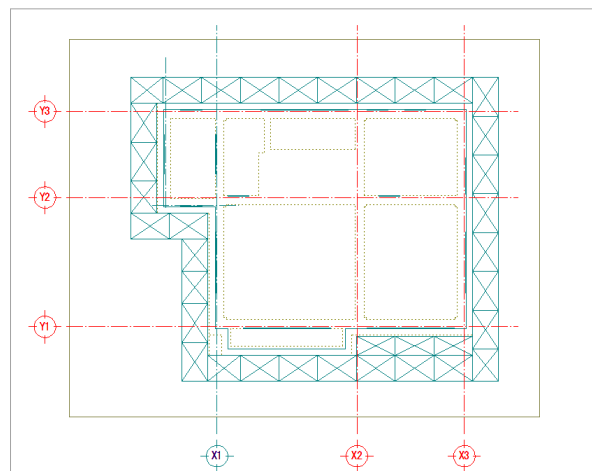
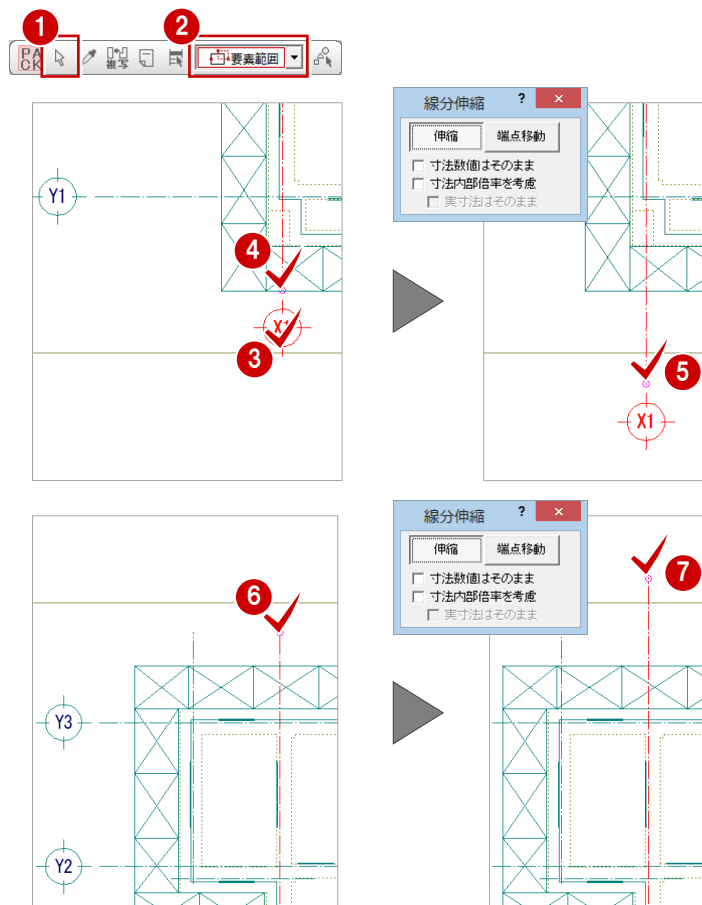
入力の前に、通り芯や作図芯を伸ばしてスペースを確保します。



【完成図】

通り芯・作図芯を伸縮する

- ① [対象データ選択] をクリックします。
- ② 選択方法を「要素範囲」に変更します。
- ③ 通り芯 (X1) をクリックして選択します。
- ④ 伸ばす方向のトラッカー (○) をクリックします。
- ⑤ 移動先を指定します。
- ⑥ 続けて、反対側のトラッカー (○) をクリックします。
- ⑦ 同様に、移動先を指定します。
- ⑧ 同様な操作で、その他の通り芯も右図のように伸ばしましょう。



1 仮設計画図で枠組足場を入力する

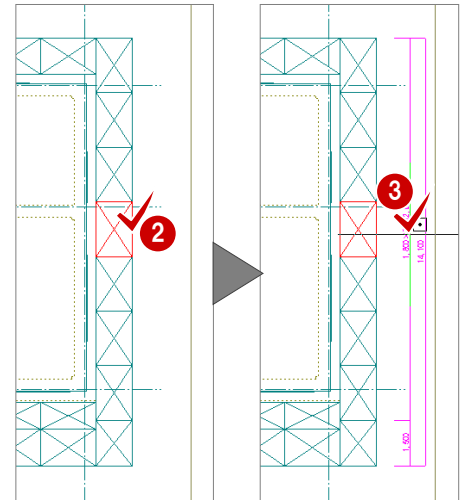
足場寸法線を入力する

① [編集] メニューから [足場寸法線] を選びます。

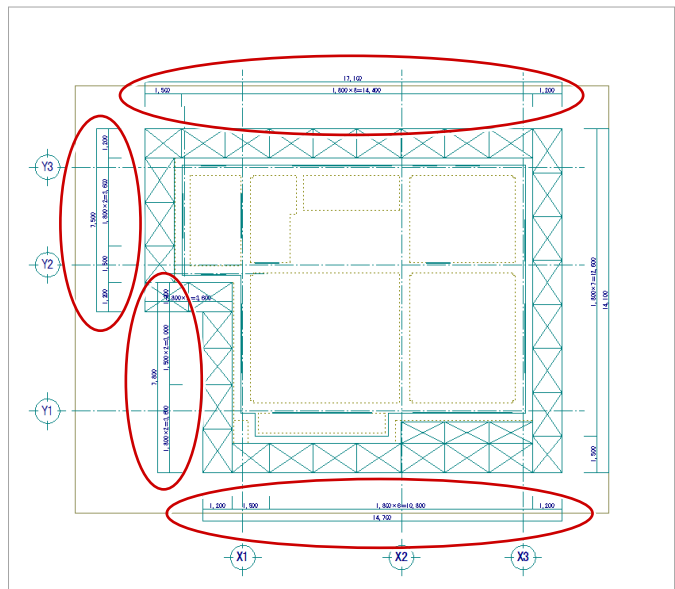
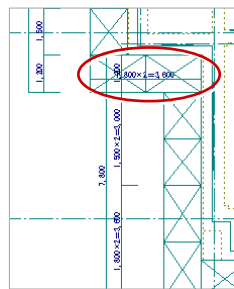


② 基準となる足場をクリックします。

③ 寸法線の配置位置を指定します。



④ 同様な操作で、その他の足場寸法線も入力しましょう。



足場寸法線を編集する

続けて、入隅部分（西側）の寸法線を編集しましょう。

① [対象データ選択] をクリックします。

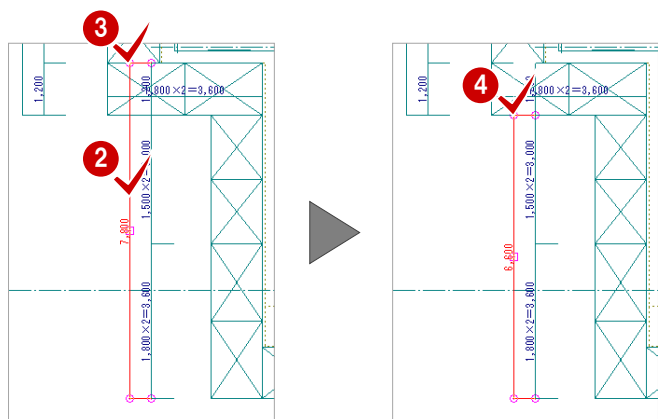


② 上段の寸法線をクリックして選択します。
(選択方法：要素範囲)

③ 左上のトラッカー（○）をクリックします。

④ 寸法線と足場の交点をクリックして、移動先を指定します。

(ピックモード：交点)



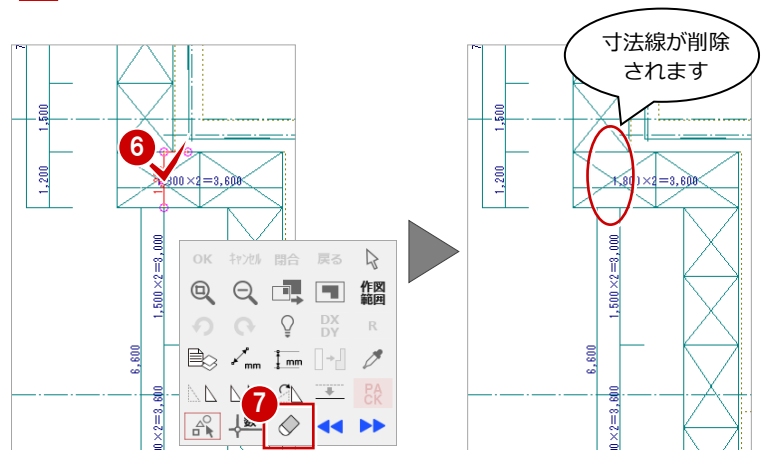
下段の不要な寸法線を削除しましょう。

⑤ [対象データ選択] をクリックします。



⑥ 右図の位置の寸法線をクリックします。
(選択方法：要素範囲)

⑦ 右クリックして、ポップアップメニューから [削除] を選びます。



足場寸法を追加する

続けて、西側と南側の枠組足場に幅寸法を追加しましょう。

① [寸法線] メニューから [寸法線] を選びます。



② [寸法 (線間) 入力] ダイアログが開きます。
[線間] を選びます。

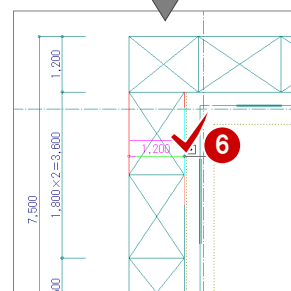
③ [補助線足] の [なし] にチェックを入れます。

④ [寸法値位置] の [上部固定] にチェックを入れます。

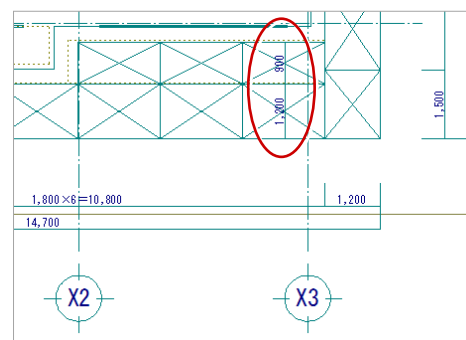


⑤ 寸法線を追加する枠組足場の外側と内側を指定します。

⑥ 寸法線を配置する位置をクリックします。



⑦ 同様な操作で、南側の枠組足場 (2 箇所) に幅寸法を追加しましょう。



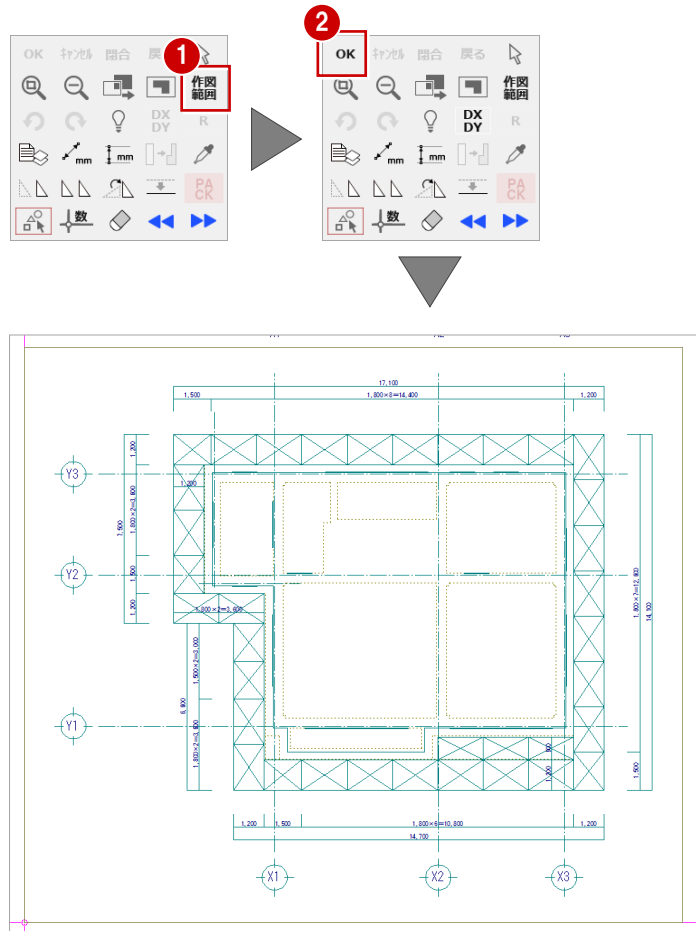
1-15 作図範囲の設定・データの保存

足場寸法線を入力したら、作図範囲を設定して、データを保存しましょう。

作図範囲を設定する

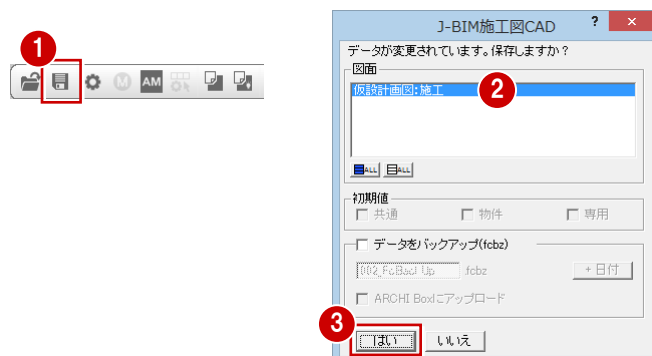
- ① 右クリックして、ポップアップメニューから「作図範囲の設定」を選びます。
- ② 再度、ポップアップメニューを開き「OK」を選びます。

現在のデータ領域が収まるように、作図範囲が自動設定されます。



データを保存する

- ① 「[上書き保存]」をクリックします。
保存の確認画面が開きます。
- ② 「仮設計画図：施工」が選択されていることを確認します。
- ③ 「はい」をクリックします。



2 仮設立面図で仮設部材を入力する

階段や梁柱、ステップガード、コーナーガード、単管、壁つなぎ、養生シートといった仮設部材は、仮設立面図で入力します。

各面の仮設立面図を開いて、仮設部材を入力していきましょう。

2-1 仮設計画図を開く（南面）

まず、南面の仮設立面図を開きましょう。

- 1 [立面] をクリックします。

[仮設立面図を開く] ダイアログが開きます。



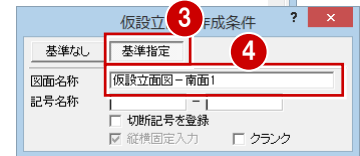
- 2 [一覧] で未登録欄をダブルクリックします。

ここでは「2:」を選択します。

[仮設立面図作成条件] ダイアログが開きます。



- 3 [基準指定] をクリックしてオンにします。



- 4 [図面名称] に図面名を入力します。

ここでは、「仮設立面図-南面1」と入力します。

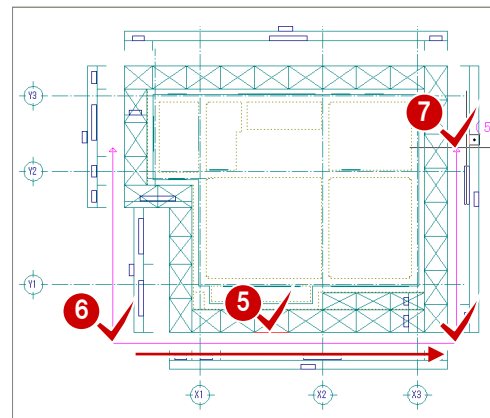
- 5 基準面となる足場のラインを指定します。

ここでは、枠組足場（南側）の外側のラインをクリックします。

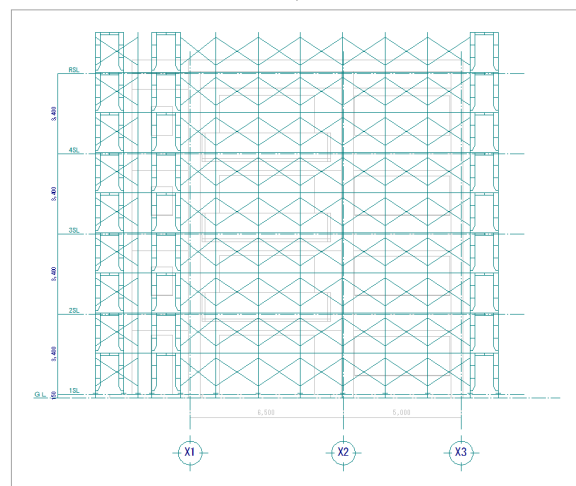
- 6 切断面の始点と終点を指定します。

- 7 見えがかりの範囲を指定します。

ここでは入隅部分（南側）の枠組足場が含まれるように指定します。

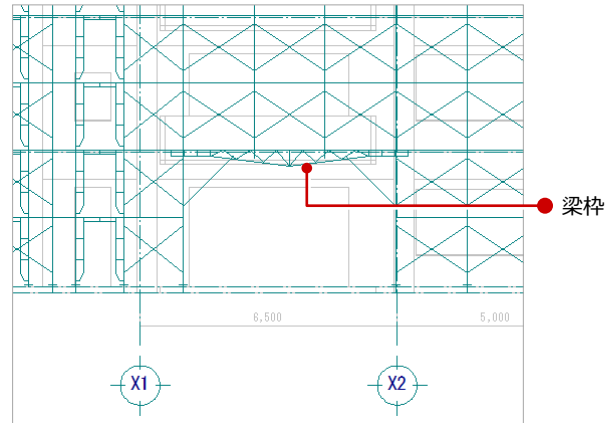


仮設立面図のウィンドウが開いて、立面データが作成されます。



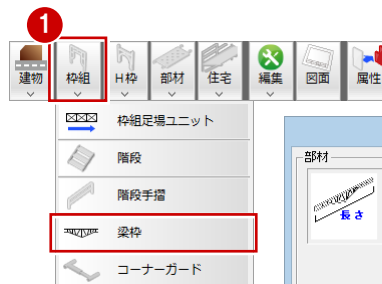
2-2 梁枠の入力

出入口に梁枠を取り付けて通路を確保しましょう。

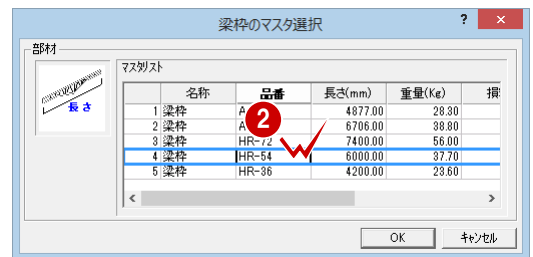


【完成図】

① [枠組] メニューから [梁枠] を選びます。
[梁枠のマスタ選択] ダイアログが開きます。



② 取り付ける梁枠を選びます。
ここでは「HR-54」をダブルクリックします。
[梁枠] ダイアログが開きます。



③ [梁渡し] の [変更] をクリックします。
[梁渡しのマスタ選択] ダイアログが開きます。

梁枠を取り付ける際、それより下に配置されている枠組足場を自動的に削除することができます。



④ 変更する梁渡しを選びます。
ここでは「HW-12」をダブルクリックします。
[梁枠] ダイアログに戻ります。

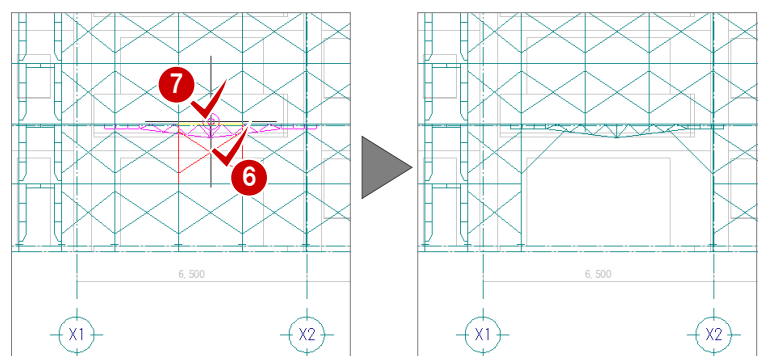


⑤ 同様にして、[方杖] を「HT-18」に、[隅梁受け] を「HU」に変更します。



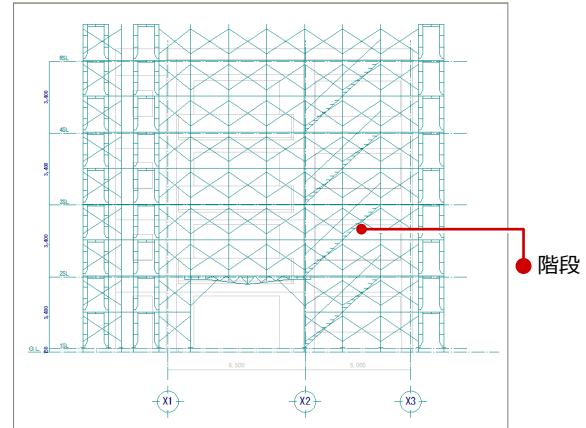
⑥ 梁枠を取り付ける枠組足場をクリックします。

⑦ ラバーバンドの表示で位置を確認して、もう一度クリックします。
梁枠が入力され、それより下になる枠組足場が削除されます。



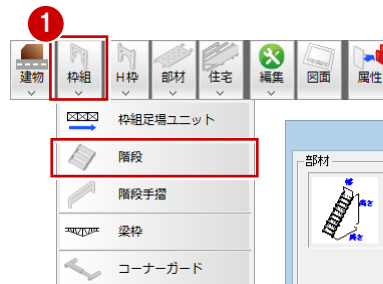
2-3 階段の入力

手摺付きの階段を取り付けましょう。

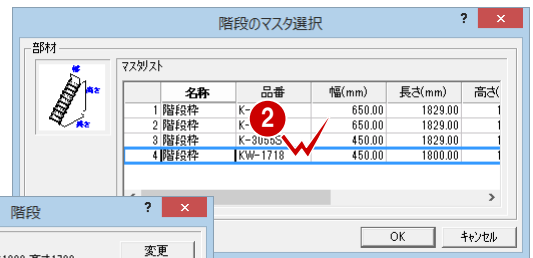


【完成図】

① [枠組] メニューから [階段] を選びます。
[階段のマスダ選択] ダイアログが開きます。



② 取り付ける階段枠を選びます。
ここでは「KW-1718」をダブルクリックします。
[階段] ダイアログが開きます。



③ [配置位置] の [手前] にチェックが入っていることを確認します。



④ [向き] の [右上がり] にチェックを入れます。

⑤ [階段手摺] にチェックを付けます

⑥ [変更] をクリックします。

[階段手摺のマスダ選択] ダイアログが開きます。



⑦ 階段手摺を選びます。

ここでは「KW-1718」をダブルクリックします。

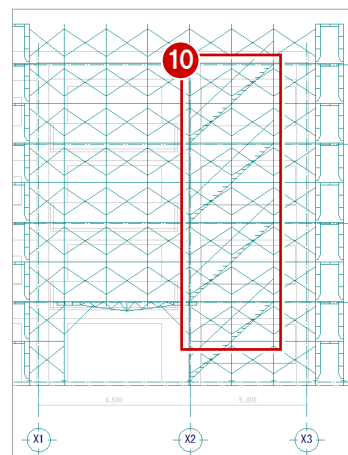
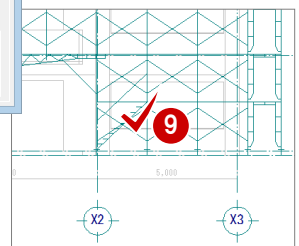
[階段] ダイアログに戻ります。

⑧ 階段手摺の [配置高] を「1000」に変更します。

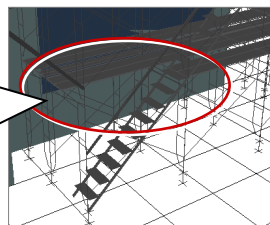


⑨ 階段を取り付ける枠組足場をクリックします。

⑩ 同様にして、他の箇所にも階段を入力しましょう。

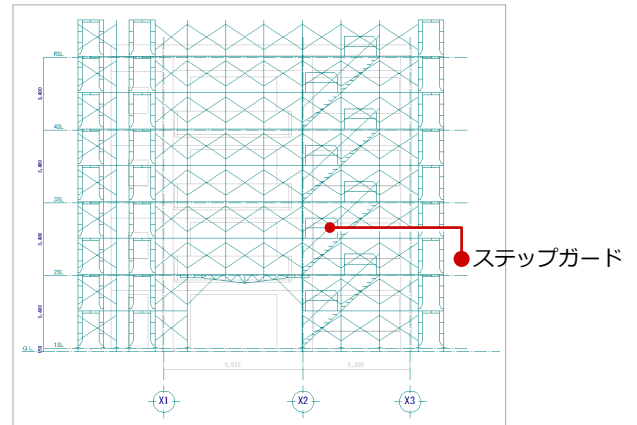


配置したら、パースモニタを開いて立体を確認してみましょう ⇒ P.11 参照
枠組足場の手前側に階段が入力され、外側の布板がなくなったことがわかります



2-4 ステップガードの入力

階段を入力した箇所は、外側の布板が取り外されています。階段の上部に落下防止のためのステップガードを取り付けましょう。



【完成図】

- ① [枠組] メニューから [ステップガード] を選びます。

[ステップガードのマスタ選択] ダイアログが開きます。

- ② 取り付けるステップガードを選びます。

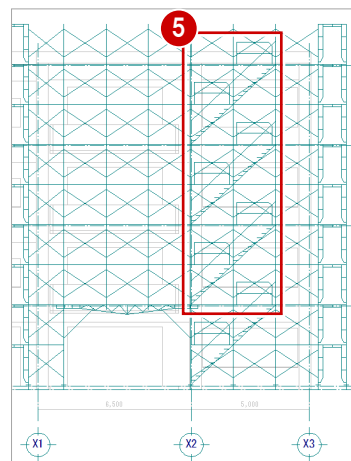
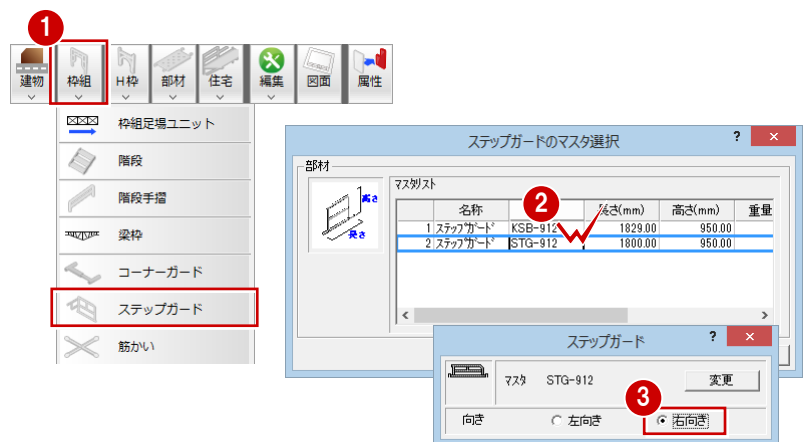
ここでは、品番が「STG-912」のステップガードをダブルクリックします。

[ステップガード] ダイアログが開きます。

- ③ [右向き] にチェックを入れます。

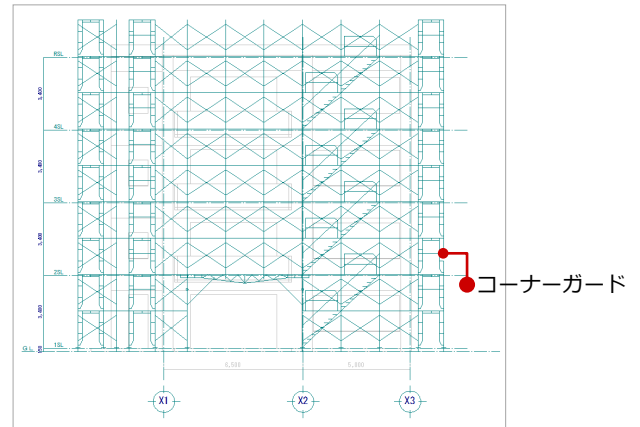
- ④ ステップガードを取り付ける枠組足場をクリックします。

- ⑤ 同様にして、他の箇所にもステップガードを入力しましょう。



2-5 コーナーガードの入力

コーナー部分と出入口横の枠組足場（側面）にコーナーガードを取り付けましょう。



【完成図】

コーナー部分に入力する

- 1 [枠組] メニューから [コーナーガード] を選びます。

[コーナーガードのマスタ選択] ダイアログが開きます。

- 2 取り付けるコーナーガードを選びます。

ここでは、品番が「KG-1200」のコーナーガードをダブルクリックします。

[コーナーガード] ダイアログが開きます。

- 3 [配置位置] の [手前] にチェックを付けて、他のチェックをはずします。

- 4 [配置高] が「1000」であることを確認します。

- 5 コーナーガードを取り付ける枠組足場をクリックします。

- 6 同様にして、他の箇所にもコーナーガードを入力しましょう。

コーナーガードのマスタ選択

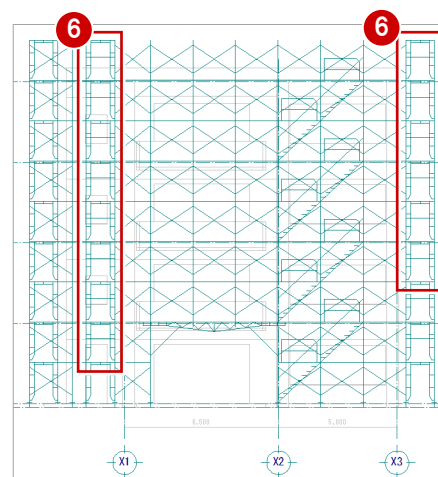
名称	品番	長さ(mm)	重量(Kg)
1 コーナーガード	KG-1219	1219.00	2.50
2 コーナーガード	KG-754	914.00	2.50
3 コーナーガード	KG-762	762.00	2.00
4 コーナーガード	KG-610	610.00	2.00
5 コーナーガード	KG-1200	1200.00	2.50
6 コーナーガード	KG-900	900.00	2.50

コーナーガード

マスタ KG-1200

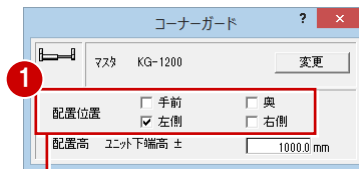
配置位置 手前 奥
 左側 右側

配置高 ユニット下端高 ± 1000.0 mm



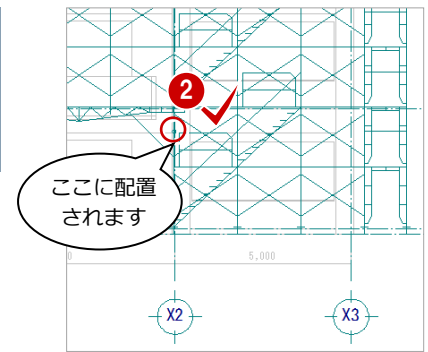
出入口の左右に入力する

① [コーナーガード] ダイアログの [配置位置] の [左側] にチェックを付けて、他のチェックをはずします。



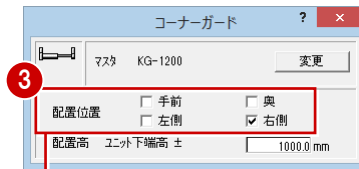
② 出入口右側の枠組足場をクリックします。

● 左側 (側面) に取り付けます。



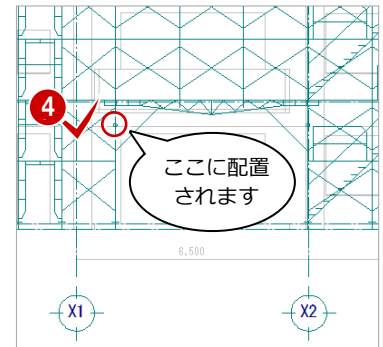
続けて、左側の枠組足場に取り付けましょう。

③ [コーナーガード] ダイアログの [配置位置] の [右側] にチェックを付けて、他のチェックをはずします。



④ 出入口左側の枠組足場をクリックします。

● 右側 (側面) に取り付けます。



2-6 入力基準面の設定

仮設立面図で単管などの部材シンボルを取り付ける場合は、立面図を開くときに指定した部材ラインが入力の基準面になります。他の足場の外側や内側にも部材シンボルに取り付ける場合は、各位置に「入力基準面」を設定しておく必要があります。

① [仮設計画図：施工] タブをクリックして、ウィンドウを切り替えます。



② [編集] メニューから [入力基準面変更] を選びます。



③ 入力基準面を追加する立面図の切断線をクリックします。

④ 基準線を指定します。

ここでは枠組足場 (南側) の外側のラインをクリックします。

⑤ 入力基準面 1 の位置を指定します。

ここでは枠組足場 (南側) の内側をクリックします。

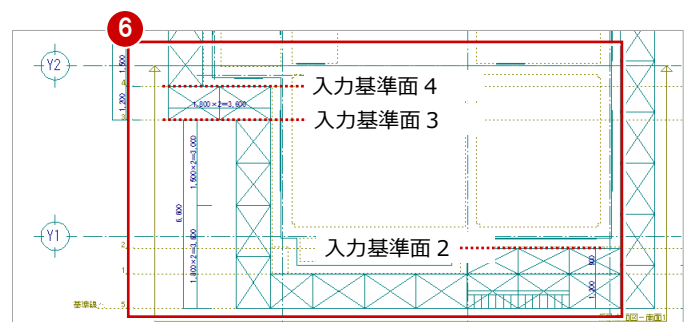
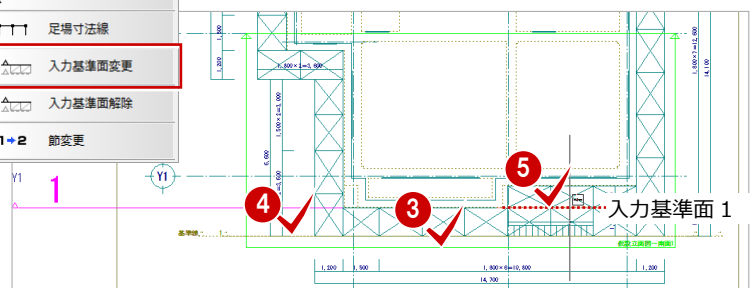
(ピックモード：交点)

⑥ 手順④～⑤を繰り返して、入力基準面 2～4を追加しましょう。

入力基準面 2：隙間部分の枠組足場の内側

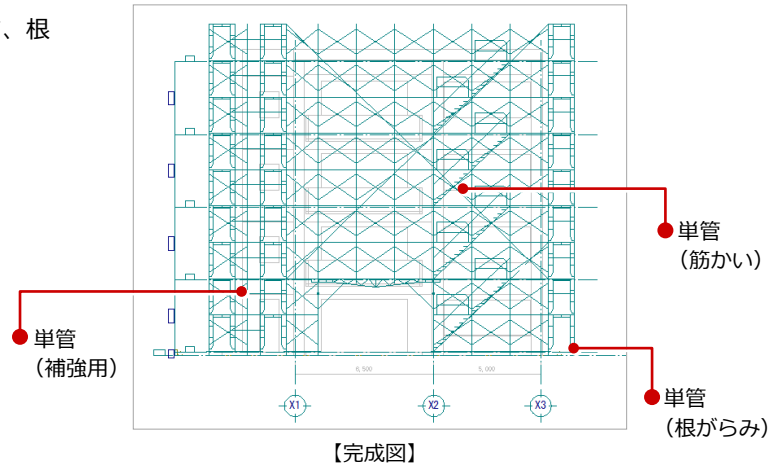
入力基準面 3：入隅部分の枠組足場の外側

入力基準面 4：入隅部分の枠組足場の内側



2-7 単管の入力

入力基準面が設定できたら、仮設立面図に切り替えて、根がらみ、筋かいなどを入力していきましょう。



根がらみを入力する

枠組足場の足元を固めるため、単管を使って根がらみを入力しましょう。

足場の手前に入力

- 1 [仮設立面図-南面 1] タブをクリックして、ウィンドウを切り替えます。



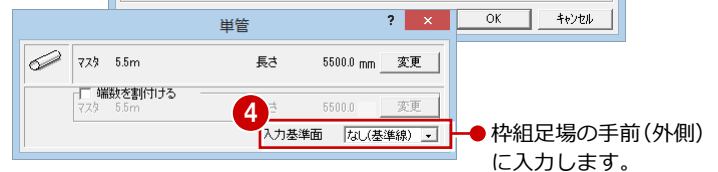
- 2 [部材] メニューから [単管] を選びます。[単管のマスタ選択] ダイアログが開きます。



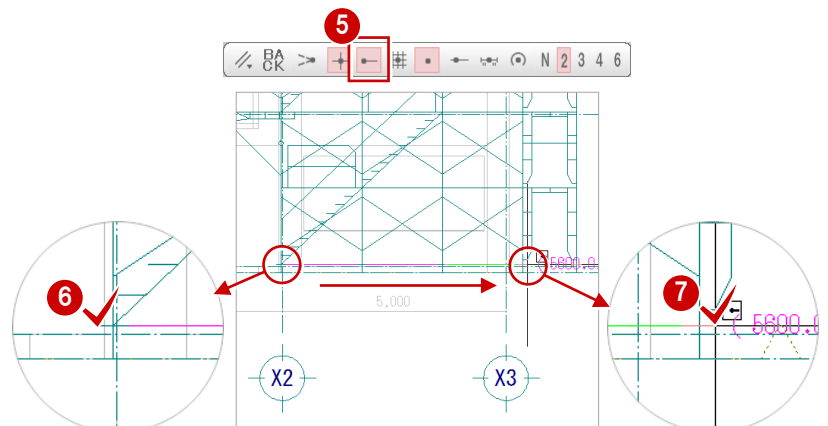
- 3 使用する単管を選びます。
ここでは「5.5m」をダブルクリックします。
[単管] ダイアログが開きます。



- 4 [入力基準面] が「なし (基準線)」であることを確認します。



- 5 [ピックモード (端点)] をオンにします。
- 6 出入口右側の枠組足場のジャッキベース先端をクリックして、根がらみの始点を指定します。
- 7 もう一方のジャッキベース先端をクリックして、終点を指定します。



2 仮設立面図で仮設部材を入力する

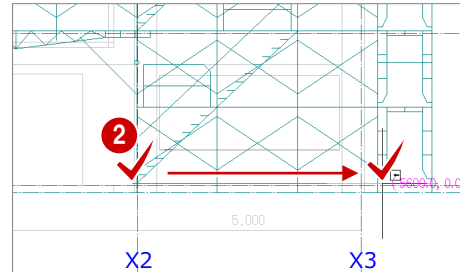
足場の奥に入力

- 1 [単管] ダイアログの入力基準面を「② 2100.0 mm」に変更します。



● 枠組足場の奥(内側)に入力します。

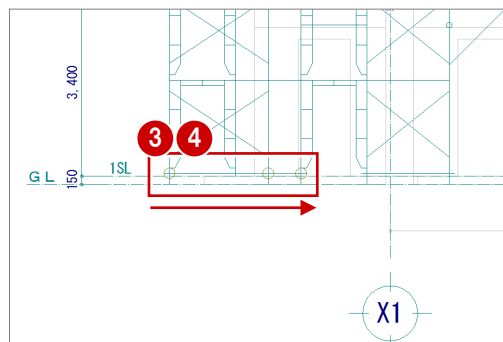
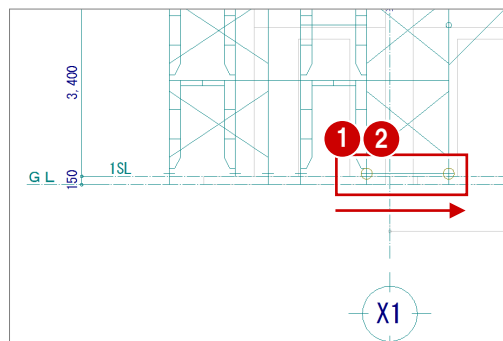
- 2 さきほどと同じ位置で、始点と終点を指定します。



その他の足場に入力

同様な操作で、出入口左側と入隅部分の枠組足場に根がらみを入力しましょう。

- 1 出入口左側 (枠組足場の外側)
品番 : 1.5m
入力基準面 : なし (基準線)
- 2 出入口左側 (枠組足場の内側)
品番 : 1.5m
入力基準面 : ① 1200.0 mm
- 3 入隅部分 (枠組足場の外側)
品番 : 2.5m
入力基準面 : ③ 6600.0 mm
- 4 入隅部分 (枠組足場の内側)
品番 : 2.5m
入力基準面 : ④ 7800.0 mm

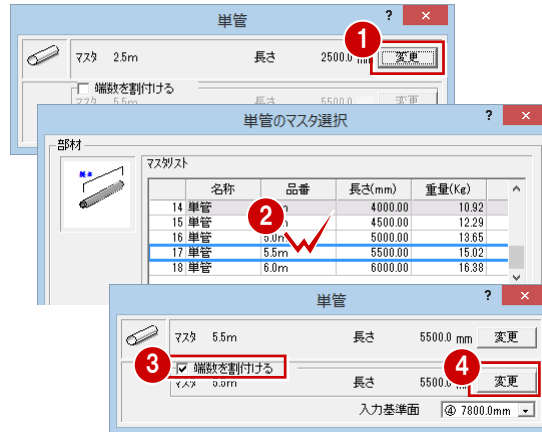


※ それぞれ枠組足場の手前と奥に入力します。

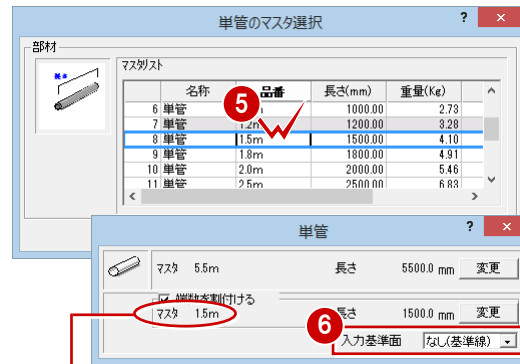
筋かいを入力する

次に単管を使って、南側の枠組足場の全体に筋かいを入力しましょう。

- 1 [単管] ダイアログの [変更] をクリックします。
[単管のマスタ選択] ダイアログが開きます。
- 2 使用する単管を選びます。
ここでは「5.5m」をダブルクリックします。
[単管] ダイアログに戻ります。
- 3 [端数を割付ける] にチェックを付けます。
- 4 [変更] をクリックします。



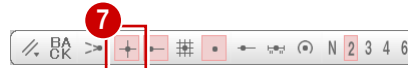
- 5 端数を割り付けるときの単管を選びます。
ここでは「1.5m」をダブルクリックします。
[単管] ダイアログに戻ります。



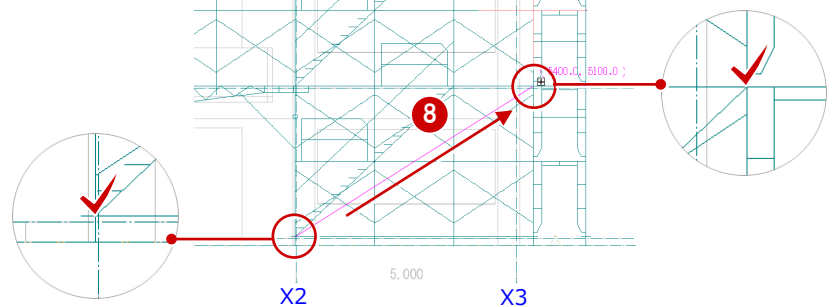
- 6 [入力基準面] を「なし (基準線)」に変更します。

● 枠組足場の手前 (外側) に入力します。
● 選択した単管では始点から終点までの長さが足りないとき、この単管が終点から折り返して配置されます。

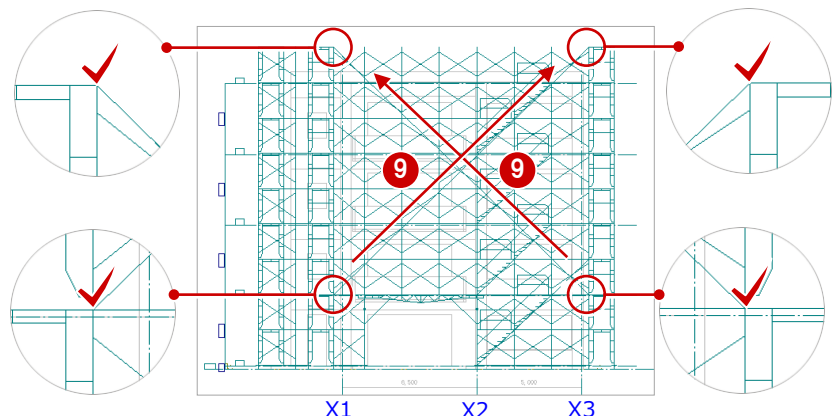
- 7 [ピックモード (交点)] がオンであることを確認します。



- 8 筋かいの始点と終点をクリックします。



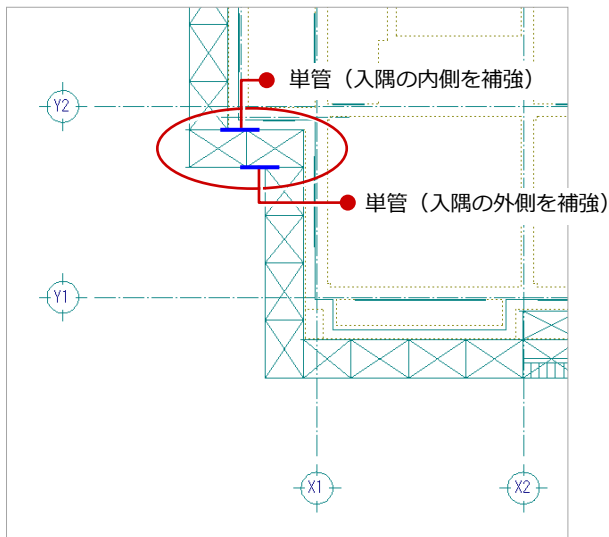
- 9 同様にして、他の2箇所にも入力しましょう。



入隅部分の補強を入力する

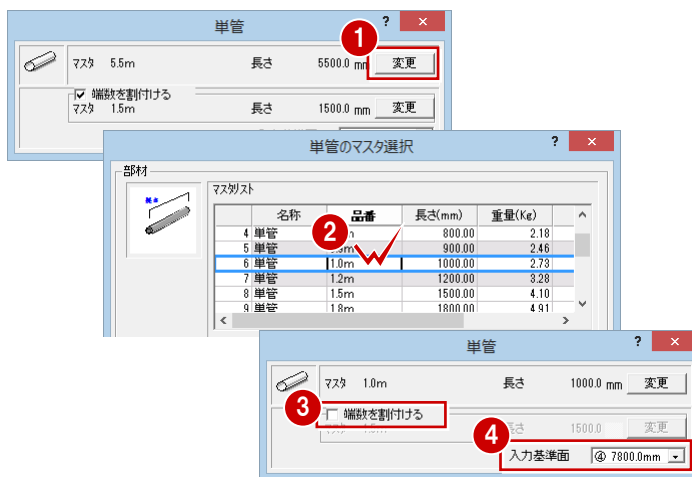
P.18 の操作で、コーナー部分の枠組足場は筋かいを片側だけにしたため、入隅部分（南側）の 2 列はそれぞれ筋かいが片側だけになっています。

この部分に補強用の単管を入力しましょう。



入隅部分の内側の補強

1 [単管] ダイアログの [変更] をクリックします。
[単管のマスダ選択] ダイアログが開きます。

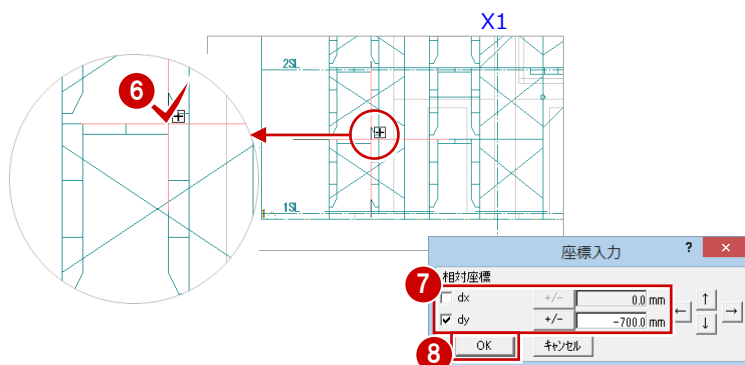


2 使用する単管を選びます。
ここでは「1.0m」をダブルクリックします。
[単管] ダイアログに戻ります。

3 [端数を割付ける] のチェックをはずします。
4 [入力基準面] を「④ 7800.0 mm」に変更します。

5 [クリック位置からの相対座標入力] をクリックしてオンにします。

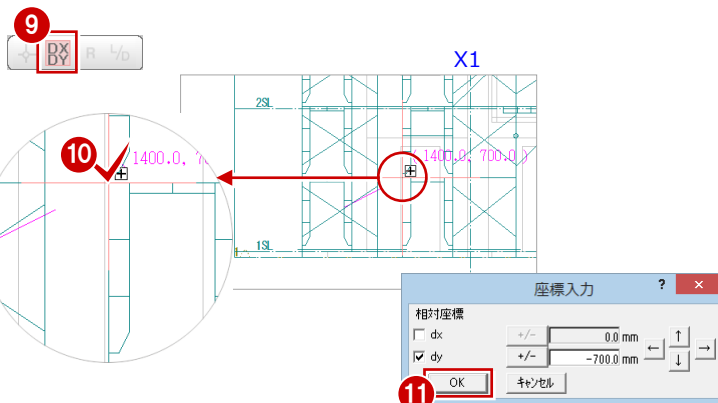
6 右図のように、鳥居枠の天端（側面の枠の内側）をクリックします。
(ピックモード：交点)
[座標入力] ダイアログが開きます。



7 [dx] のチェックをはずして、[dy] に「-700」と入力します。

8 [OK] をクリックします。

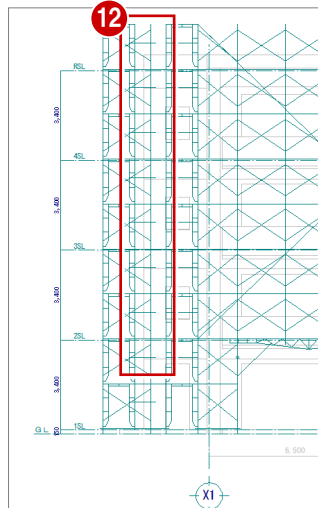
9 再度 [クリック位置からの相対座標入力] をオンにします。



10 鳥居枠の天端（枠の角）をクリックします。

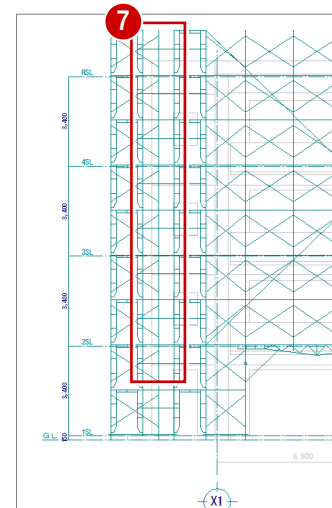
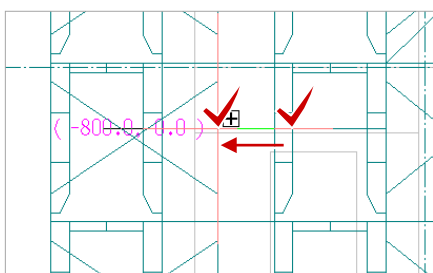
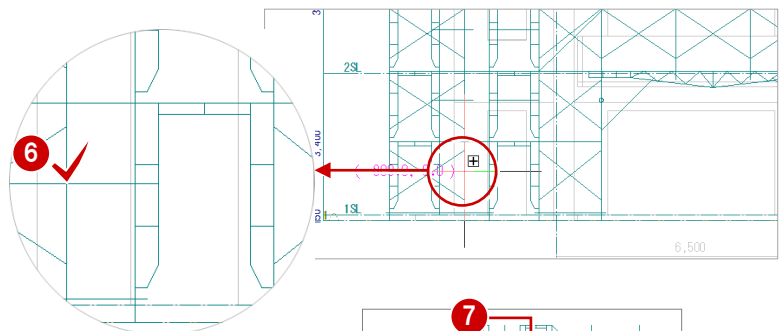
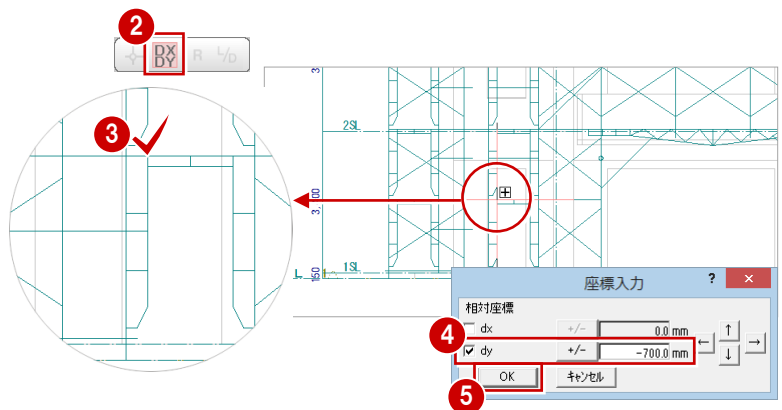
11 [座標入力] ダイアログで、そのまま [OK] をクリックします。

- 12 同様に、上の段まで単管を入力しましょう。



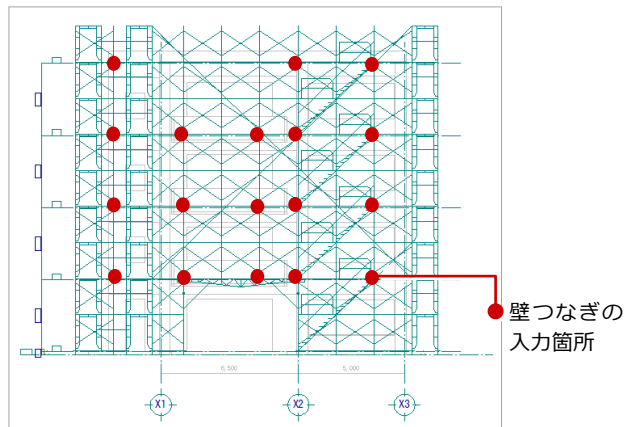
入隅部分の外側の補強

- 1 [単管] ダイアログの入力基準面を「③ 6600.0 mm」に変更します。
 - 2 [クリック位置からの相対座標入力] をオンにします。
 - 3 右図のように、鳥居枠の天端（側面の枠の内側）をクリックします。
(ピックモード：交点)
[座標入力] ダイアログが開きます。
 - 4 [dy] が「-700」であることを確認します。
 - 5 [OK] をクリックします。
 - 6 さきほど入力した単管と鳥居枠の交点をクリックします。
 - 7 同様に、上の段まで単管を入力しましょう。
- ※ 始点はコーナーガードと鳥居枠（枠の内側）の交点を、終点は単管と鳥居枠の交点を指定してください。



2-8 壁つなぎの入力

枠組足場の転倒防止に、建築物と枠組足場の間に壁つなぎを入力しましょう。



【完成図】

枠組足場（南側）の内側に入力

① [部材] メニューから [壁つなぎ] の [壁つなぎ] を選びます。
[壁つなぎのマスタ選択] ダイアログが開きます。



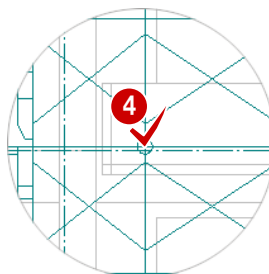
② 入力する壁つなぎを選びます。
ここでは「300」をダブルクリックします。
[壁つなぎ] ダイアログが開きます。



③ [入力基準面] を「① 1200.0 mm」に変更します。

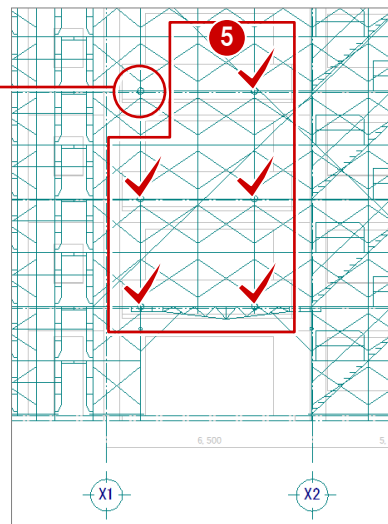


④ 壁つなぎを配置する位置をクリックします。
(ピックモード：交点)



⑤ 同様にして、他の箇所にも入力しましょう。

枠組足場のつなぎ目の交点をクリック

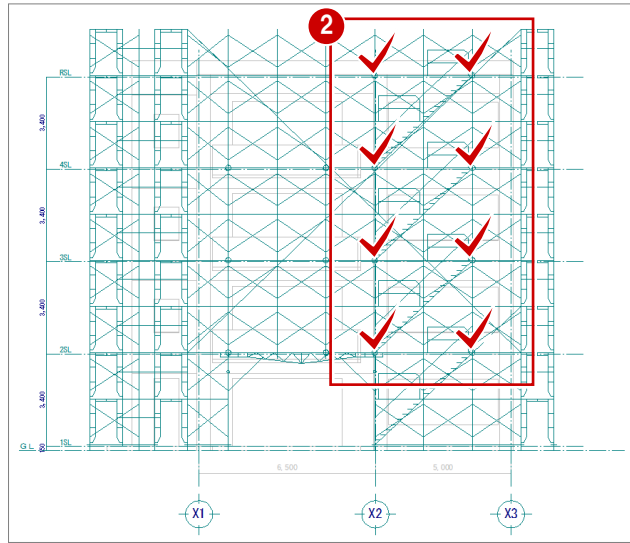


隙間部分の枠組足場の内側に入

- 1 [壁つなぎ] ダイアログの [入力基準面] を「② 2100.0 mm」に変更します。



- 2 壁つなぎを配置する位置をクリックします。
(ピックモード : 交点)

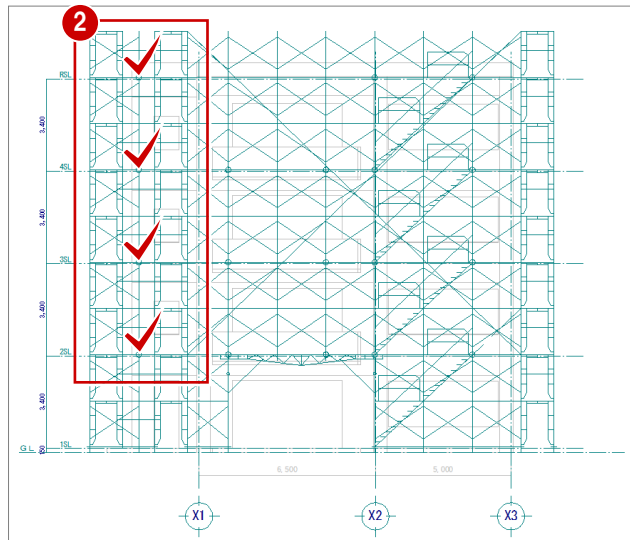


入隅部分（南側）の内側に入力

- 1 [壁つなぎ] ダイアログの [入力基準面] を「④ 7800.0 mm」に変更します。

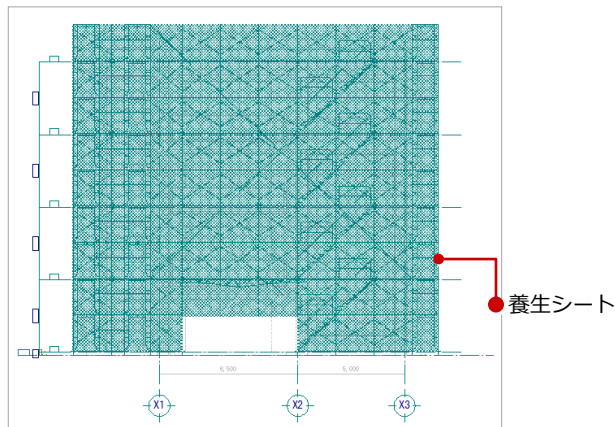


- 2 壁つなぎを配置する位置をクリックします。
(ピックモード : 交点)



2-9 養生シートの入力

枠組足場に養生シートを入力しましょう。全面にシートを入力した後、出入口部分のサイズを変更します。

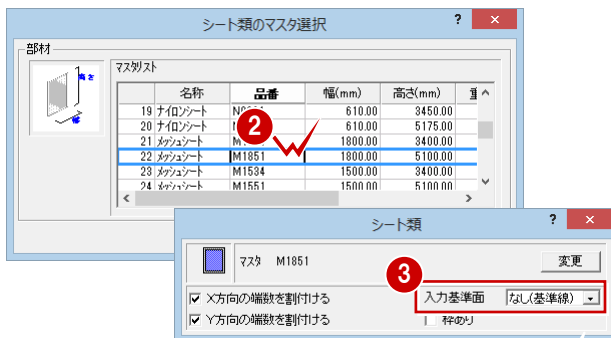


養生シートを入力する

- 1 [部材] メニューから [養生枠・シート類] の [シート類] を選びます。
[シート類のマスタ選択] ダイアログが開きます。

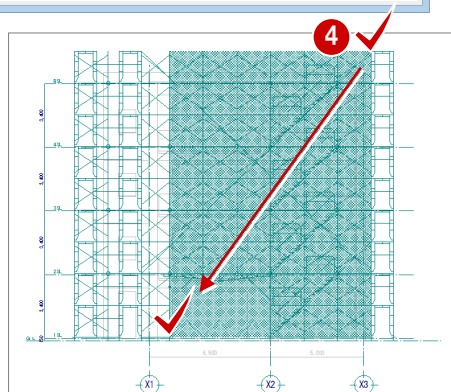


- 2 入力する養生シートを選びます。
ここでは、品番が「M1851」のメッシュシートをダブルクリックします。
[シート類] ダイアログが開きます。



- 3 入力基準面を「なし(基準線)」に変更します。

- 4 養生シートを入力する範囲の1点目と2点目を対角にクリックします。
(ピックモード: 交点)

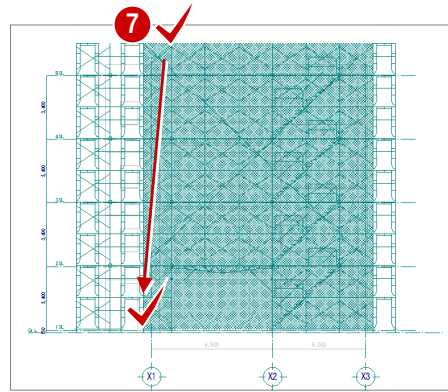


- 5 [シート類] ダイアログの [変更] をクリックします。
[シート類のマスタ選択] ダイアログに戻ります。



- 6 入力する養生シートを選びます。
ここでは、品番が「M1551」のメッシュシートをダブルクリックします。

- 7 養生シートを入力する範囲の始点 ⇒ 対角点をクリックします。
(ピックモード：交点、端点)



- 8 同様にして、他のシートを入力しましょう。

A：品番「M1251」

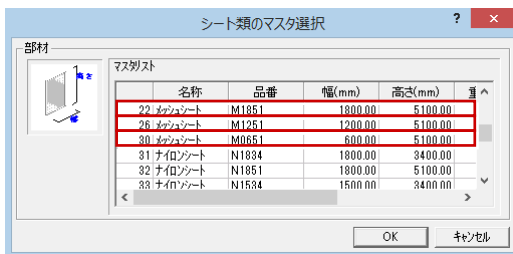
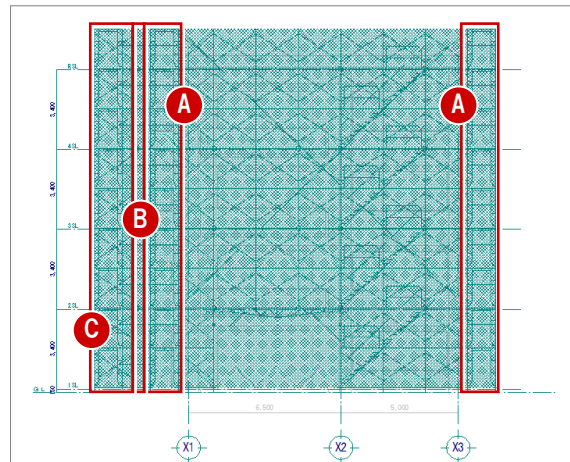
入力基準面：なし（基準線）

B：品番「M0651」

入力基準面：③ 6600.0 mm

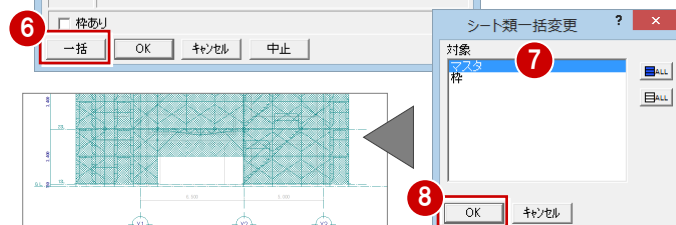
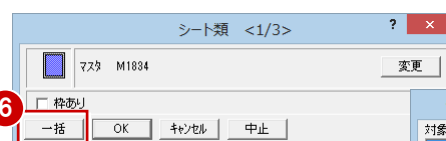
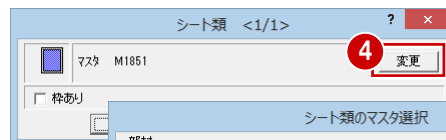
C：品番「M1851」

入力基準面：③ 6600.0 mm



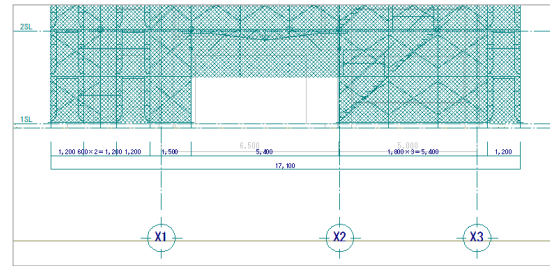
養生シートのサイズを変更する

- [対象データ選択] をクリックします。
- Ctrl キーを押しながら、出入口部分の養生シートを順にクリックします。
(選択方法：要素範囲)
- [属性] をクリックします。
[シート類] ダイアログが開きます。
- [変更] をクリックします。
[シート類のマスタ選択] ダイアログが開きます。
- [マスタリスト] の「M1834」をダブルクリックします。
- [一括] をクリックします。
[シート類一括変更] ダイアログが開きます。
- [対象] で「マスタ」をクリックします。
- [OK] をクリックします。



2-10 足場寸法線の入力

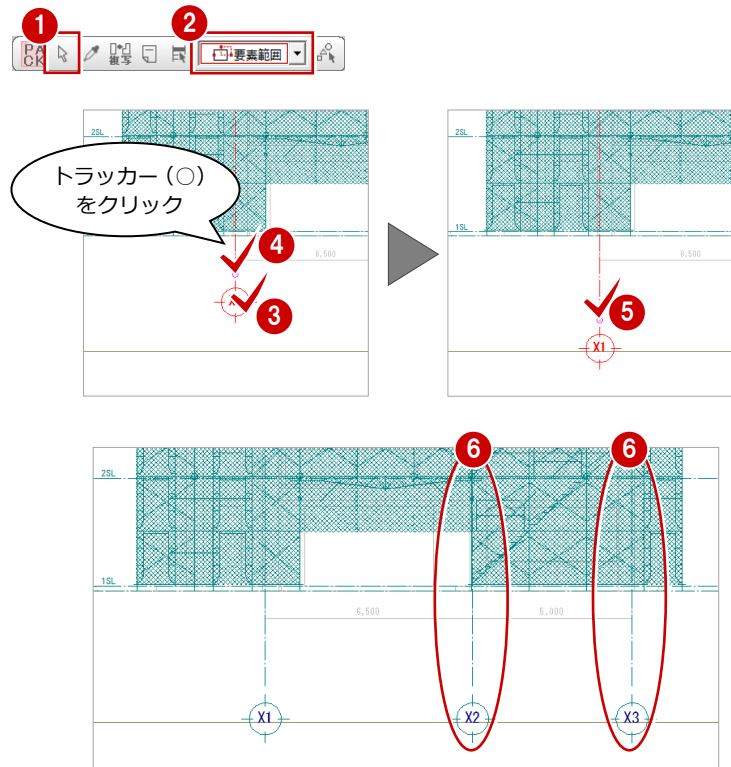
足場の寸法線を入力しましょう。寸法線を追加するので、まず通り芯を伸ばしてスペースを空けましょう。



【完成図】

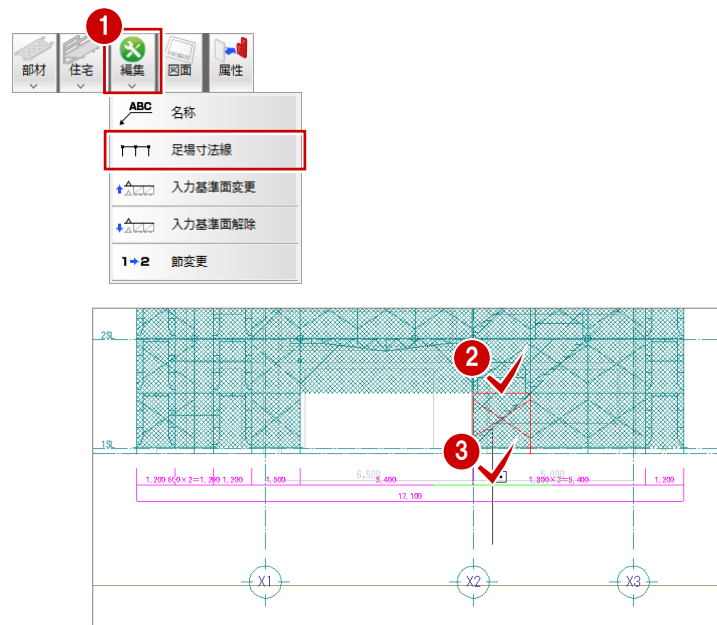
通り芯を伸縮する

- 1 [対象データ選択] をクリックします。
- 2 選択方法が「要素範囲」であることを確認します。
- 3 伸縮する通り芯をクリックします。
- 4 選択した通り芯の伸ばす方向のトラッカー (○) をクリックします。
- 5 トラッカーの移動先をクリックします。
- 6 同様に、他の通り芯も伸ばします。



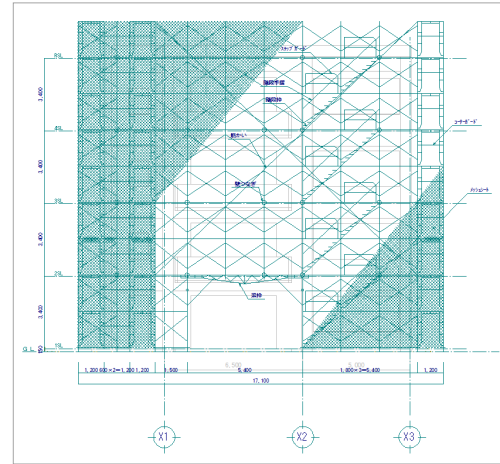
足場寸法線を入力する

- 1 [編集] メニューから [足場寸法線] を選びます。
- 2 作成する寸法線の基準となる枠組足場をクリックします。
- 3 寸法線の配置位置をクリックします。



2-11 部材名の入力

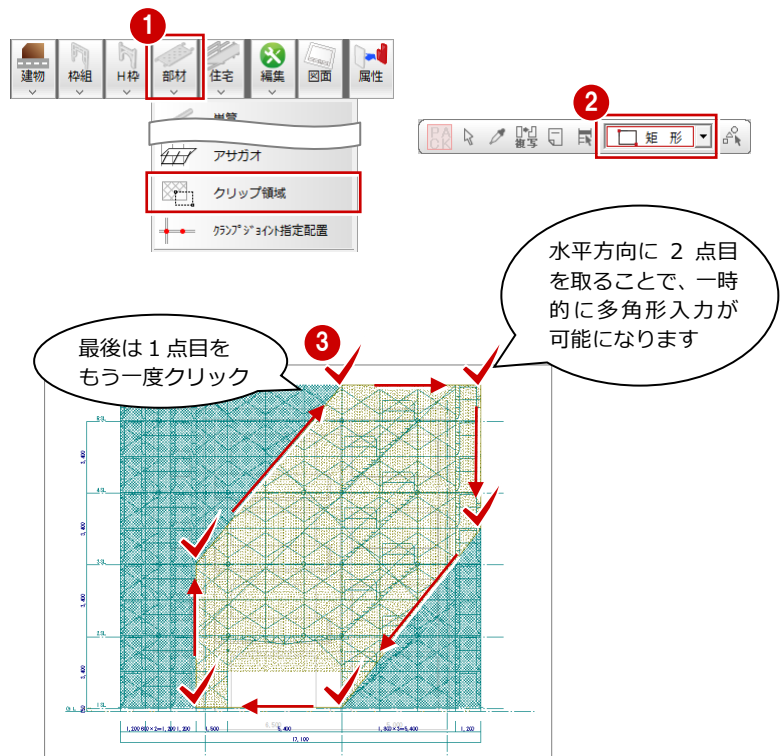
各部に部材の名称を入力しましょう。養生シートが入力されているので、部材名称の表示が見にくくなります。見やすくなるように、養生シートのクリップ処理を行います。



【完成図】

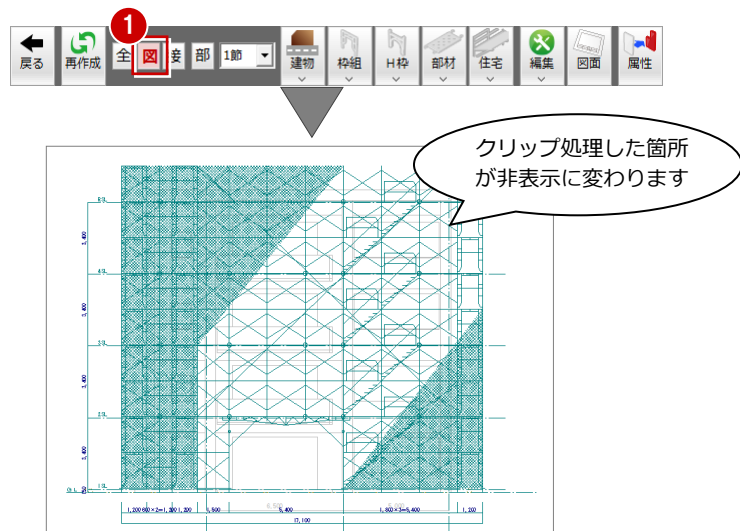
クリップ処理を実行する

- ① [部材] メニューから [クリップ領域] を選びます。
- ② 入力方法が「矩形」であることを確認します。
- ③ クリップ処理を行う範囲を順にクリックします。
(ピックモード：交点、端点)



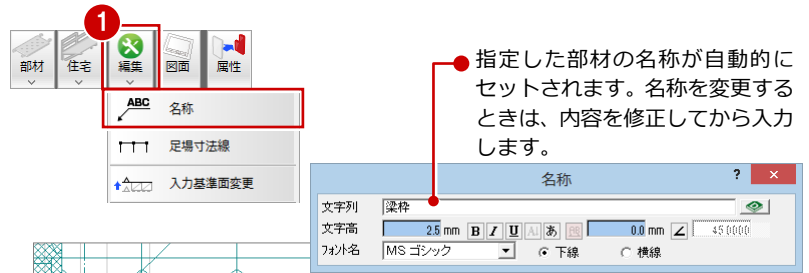
表示モードを切り替える

- ① [モード切替 (図面)] をクリックします。



名称を入力する

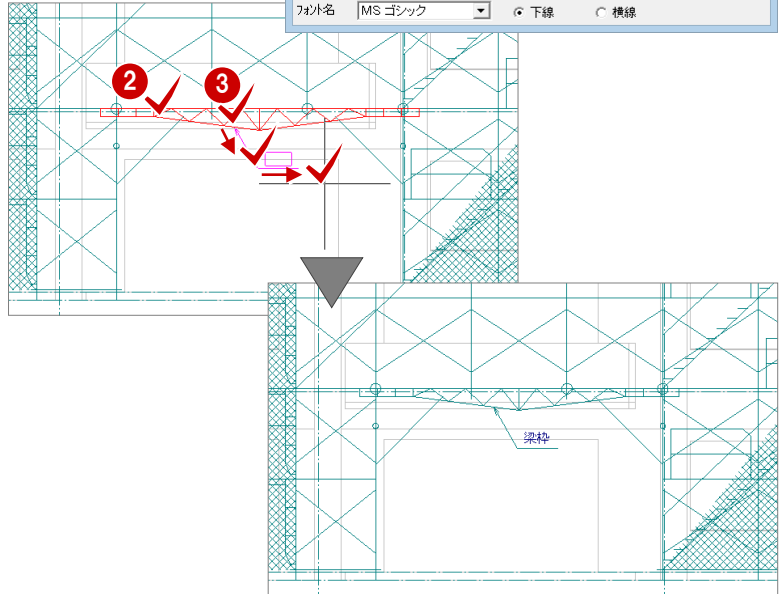
① [編集] メニューから [名称] を選びます。



指定した部材の名称が自動的にセットされます。名称を変更するときは、内容を修正してから入力します。

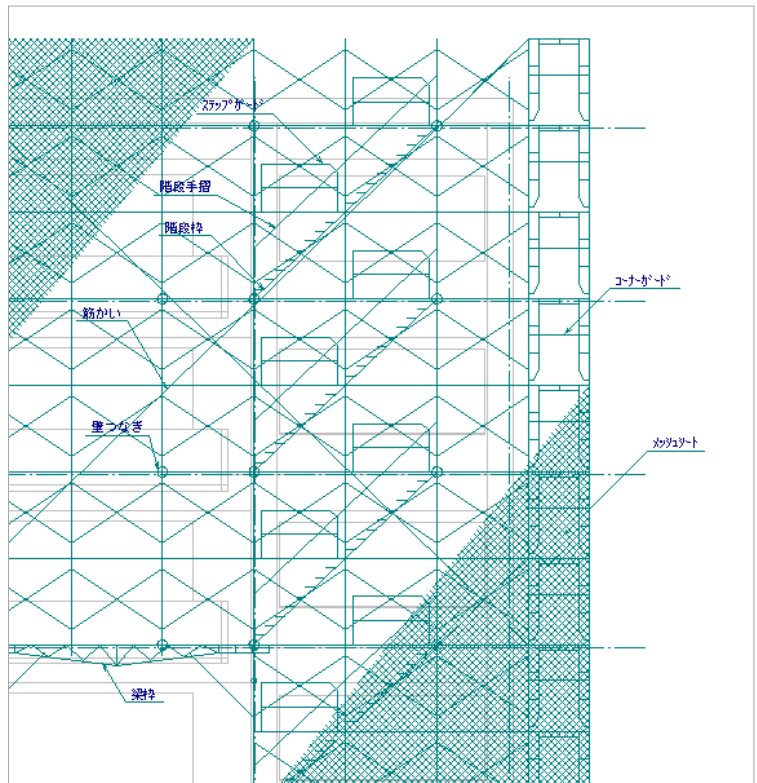
② 名称を入力する部材を指定します。
ここでは、梁枠をクリックします。
[名称] ダイアログが開きます。

③ 引き出し線の始点と終点、文字列の方向をクリックします。



④ 同様な操作で、その他の部材の名称を入力しましょう。

- ・ 壁つなぎ
- ・ 筋かい (「単管」を変更して入力)
- ・ 階段枠
- ・ 階段手摺
- ・ ステップガード
- ・ コーナーガード
- ・ メッシュシート



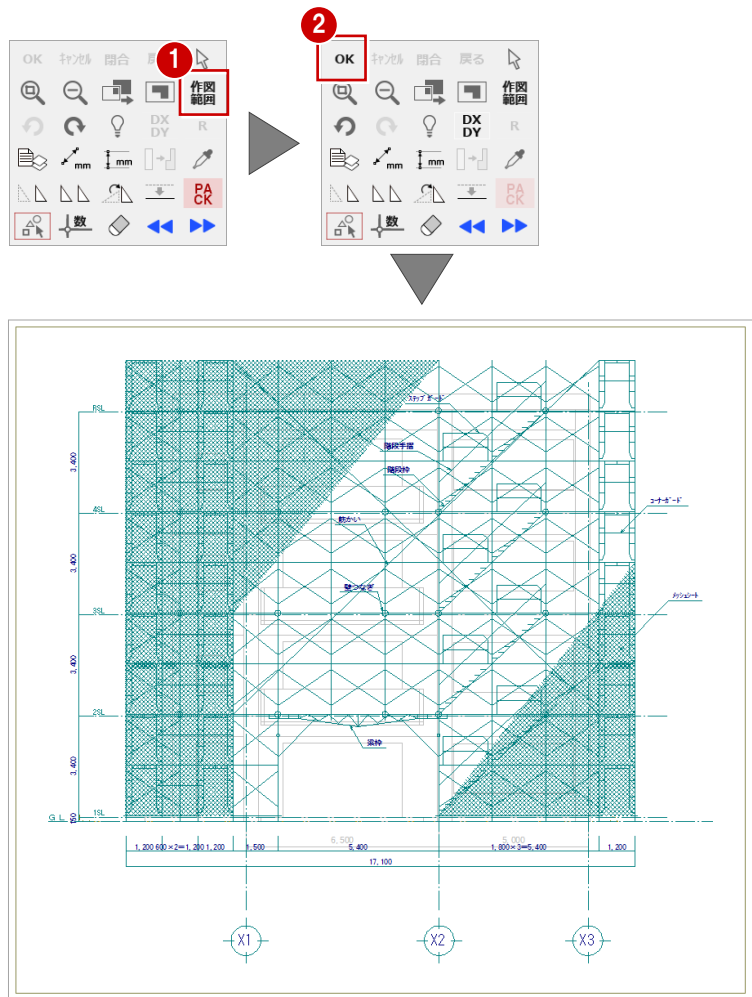
2-12 作図範囲の設定・データの保存

部材の名称を入力したら、再度作図範囲を設定して、データを保存しましょう。

作図範囲を設定する

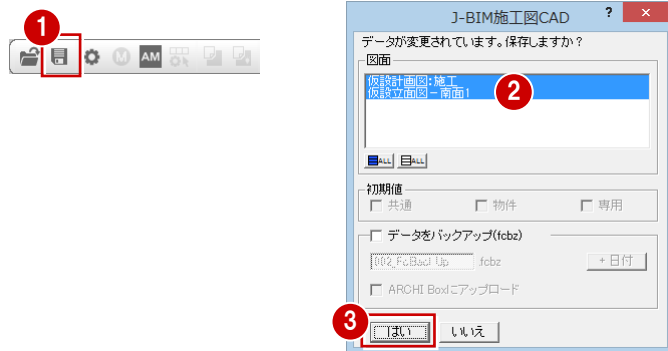
- 1 右クリックして、ポップアップメニューから「作図範囲の設定」を選びます。
- 2 再度、ポップアップメニューを開き「OK」を選びます。

現在のデータ領域が収まるように、作図範囲が自動設定されます。



データを保存する

- 1 「上書き保存」をクリックします。
保存の確認ダイアログが開きます。
- 2 「仮設計画図：施工」「仮設立面図-南面1」が選択されていることを確認します。
- 3 「はい」をクリックします。



立面図を閉じる

- 1 「仮設立面図」ウィンドウの「閉じる」をクリックして、ウィンドウを閉じます。
仮設計画図のウィンドウに戻ります。



2-13 仮設立面図を開く（東面）

次に、東面の仮設立面図を開きましょう。

- ① [立面] をクリックします。

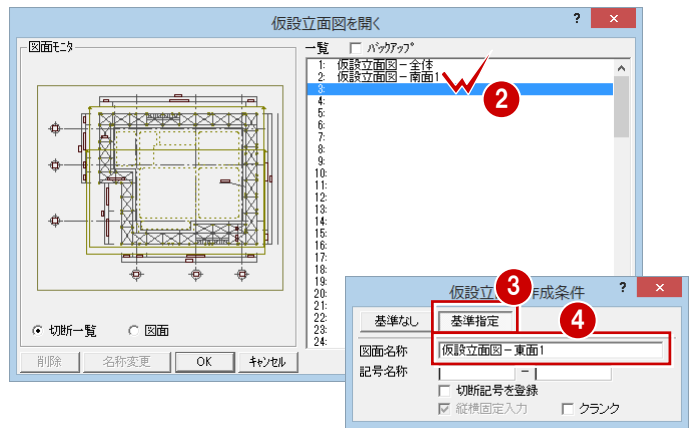
[仮設立面図を開く] ダイアログが開きます。



- ② [一覧] で未登録欄をダブルクリックします。

ここでは「3:」を選択します。

[仮設立面図作成条件] ダイアログが開きます。



- ③ [基準指定] をクリックしてオンにします。

- ④ [図面名称] に図面名を入力します。

ここでは「仮設立面図-東面 1」と入力します。

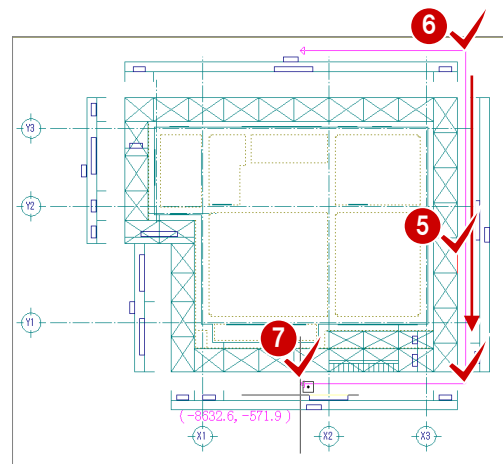
- ⑤ 基準面となる足場のラインを指定します。

ここでは枠組足場（東側）の外側のラインをクリックします。

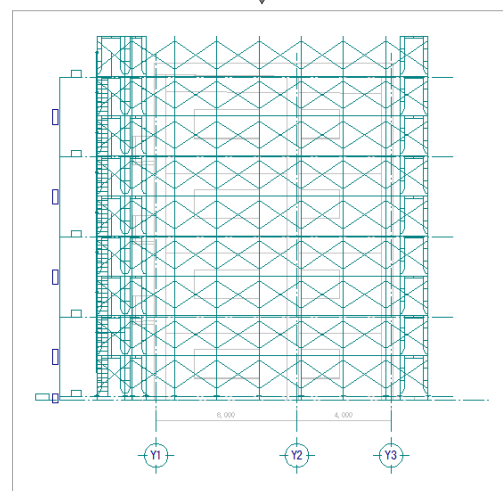
- ⑥ 切断面の始点と終点を指定します。

- ⑦ 見えがかりの範囲を指定します。

ここでは隙間部分の枠組足場が含まれるように指定します。



仮設立面図のウィンドウが開いて、立面データが作成されます。



2-14 入力基準面の設定

東面でも、根がらみ・筋かい・壁つなぎなどを枠組足場の内側に取り付けるため、この位置に「入力基準面」を設定しておきましょう。

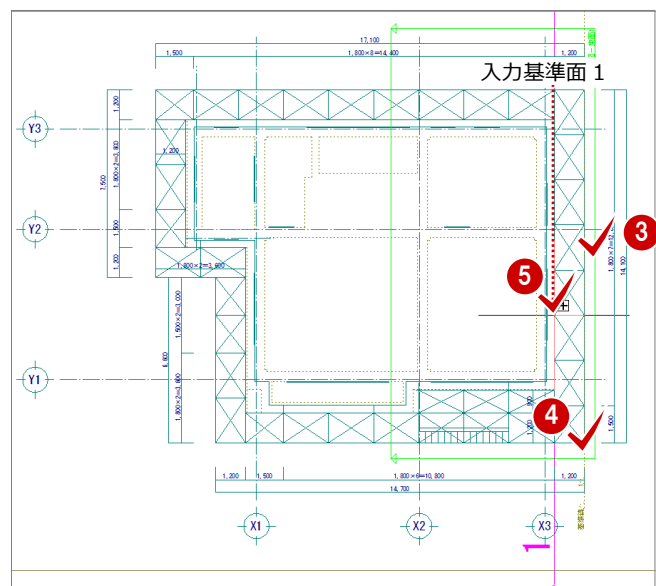
- 1 [仮設計画図：施工] タブをクリックして、ウィンドウを切り替えます。



- 2 [編集] メニューから [入力基準面変更] を選びます。



- 3 入力基準面を追加する立面図の切断線をクリックします。
- 4 基準線を指定します。
ここでは枠組足場（東側）の外側のラインをクリックします。
- 5 入力基準面 1 の位置を指定します。
ここでは枠組足場（東側）の内側をクリックします。
(ピックモード：交点)



2-15 単管・壁つなぎ・養生シートの入力

仮設立面図に切り替えて、根がらみ、筋かい、壁つなぎ、養生シートなどを入力しましょう。

単管を入力する

- 1 [仮設立面図-東面 1] タブをクリックして、ウィンドウを切り替えます。



南面と同様な操作で、単管を入力しましょう。
⇒ P.31 参照

- 2 根がらみ（枠組足場の外側）

品番：5.5m
端数を割り付ける：オン
入力基準面：なし（基準線）

- 3 根がらみ（枠組足場の内側）

品番：5.5m
端数を割り付ける：オン
入力基準面：① 1200.0 mm

- 4 筋かい

品番：5.5m
端数を割り付ける：オン
入力基準面：なし（基準線）

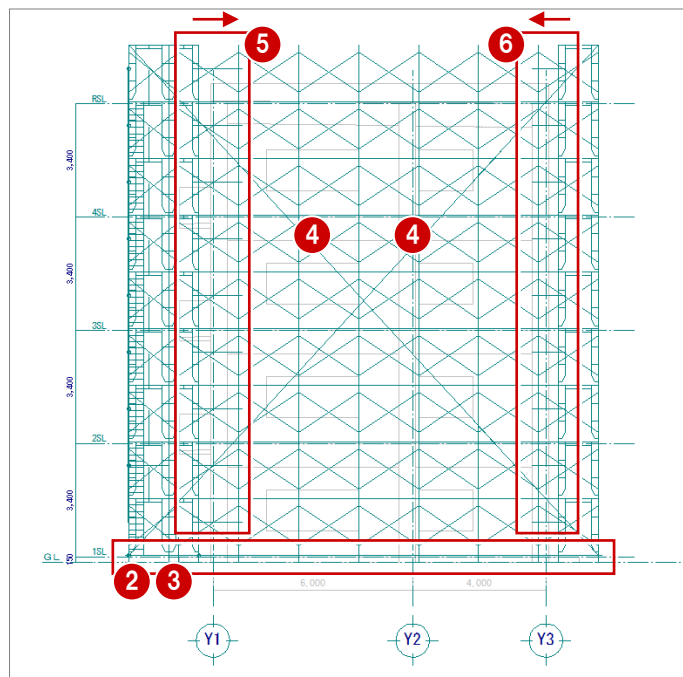
- 5 補強用（枠組足場の内側）

品番：1.5m
端数を割り付ける：オフ
入力基準面：① 1200.0 mm

- 6 補強用（枠組足場の内側）

品番：1.0m
端数を割り付ける：オフ
入力基準面：① 1200.0 mm

※ ⑤・⑥は、鳥居枠天端からオフセット「dy-700」で外側 ⇒ 内側に入力します。



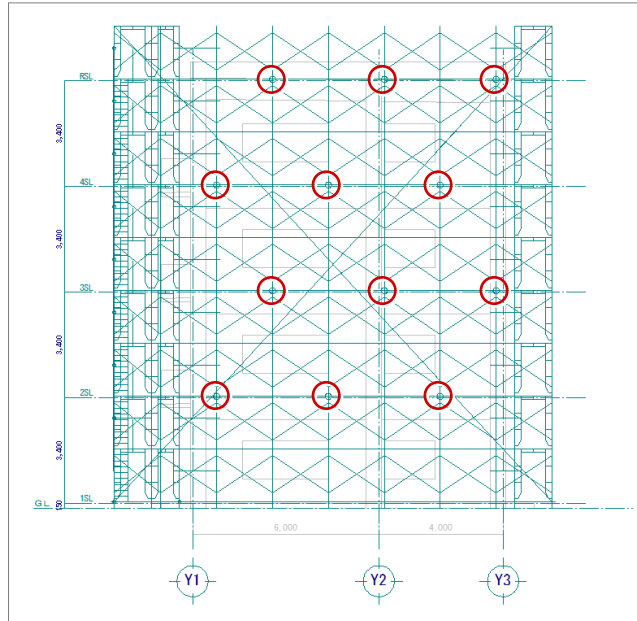
壁つなぎを入力する

南面と同様な操作で、壁つなぎを入力しましょう。

⇒ P.36 参照

品番 : 300

入力基準面 : ① 1200.0 mm

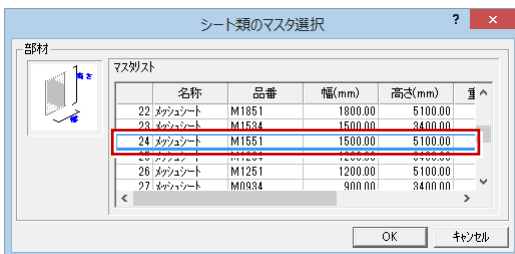


養生シートを入力する

南面と同様な操作で、養生シートを入力しましょう。⇒ P.38 参照

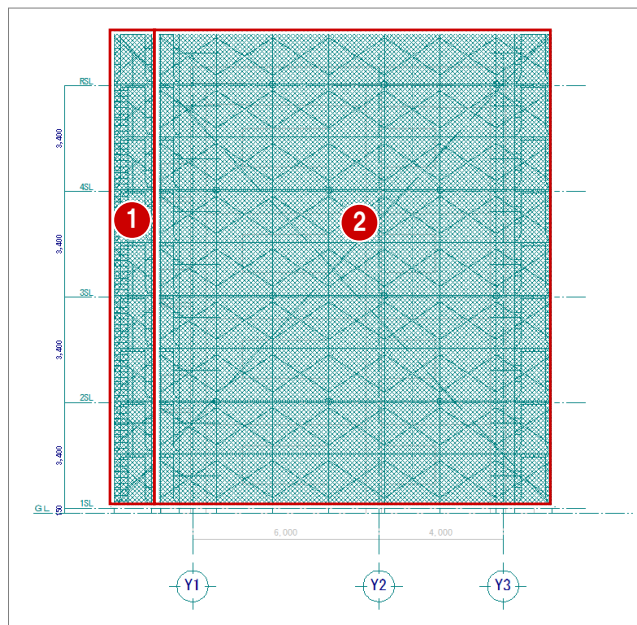
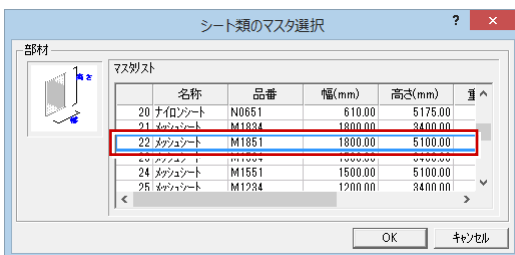
① 品番 : M1551

入力基準面 : なし (基準線)



② 品番 : M1851

入力基準面 : なし (基準線)



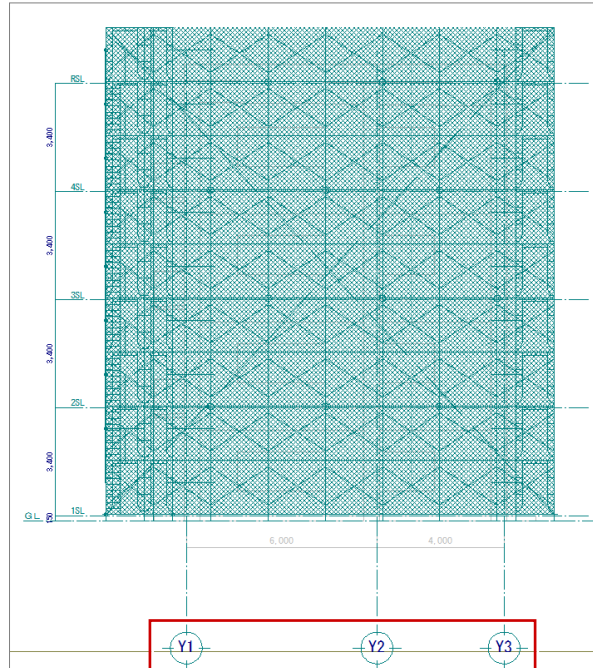
2-16 足場寸法線の入力

南面と同様な操作で、足場寸法線を入力しましょう。

通り芯を伸縮する

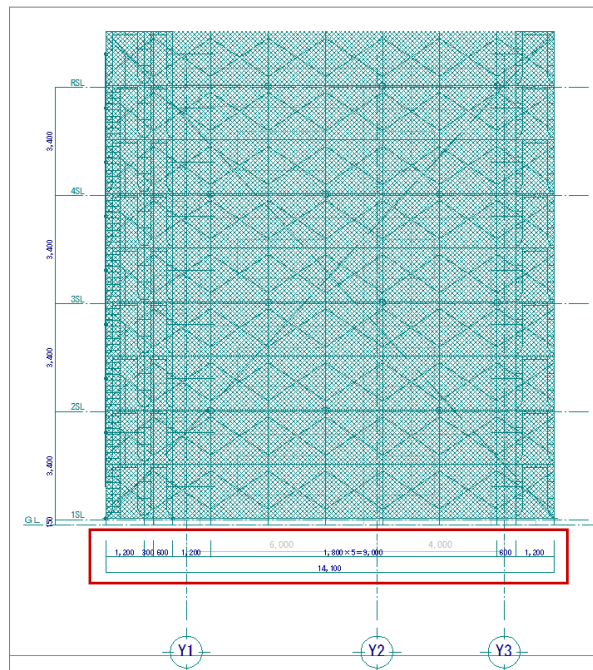
通り芯（3箇所）を伸ばしてスペースを空けましょう。

⇒ P.40 参照



足場寸法線を入力する

枠組足場を指定して、足場の寸法線を入力しましょう。⇒ P.40 参照

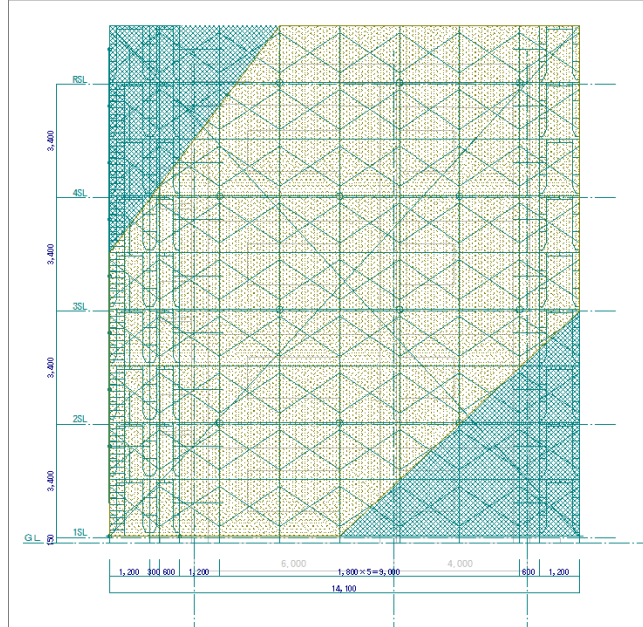


2-17 部材名の入力

南面と同様な操作で、養生シートをクリップ処理して部材の名称を入力しましょう。

クリップ処理を実行する

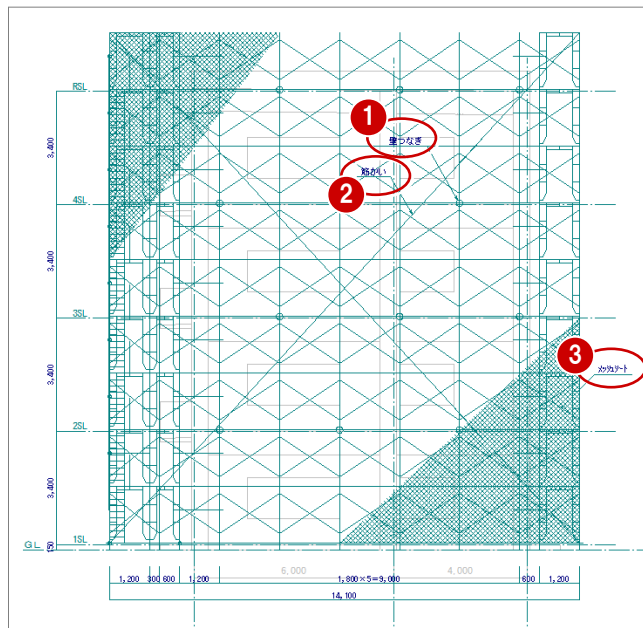
右図のように、養生シートをクリップ処理しましょう。⇒ P.41 参照



名称を入力する

表示モードを「図面」に切り替えて、次の名称を入力しましょう。⇒ P.41 参照

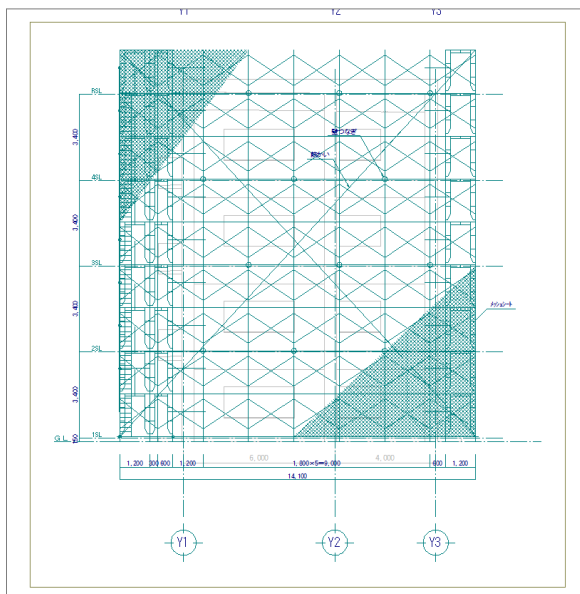
- ① 壁つなぎ
- ② 筋かい (「単管」を変更して入力)
- ③ メッシュシート



2-18 作図範囲の設定・データの保存

現在のデータ領域が収まるように、作図範囲を設定しましょう。

作図範囲を設定したら、[上書き保存] でデータを保存して、[閉じる] でウィンドウを閉じておきましょう。⇒ P.43 参照



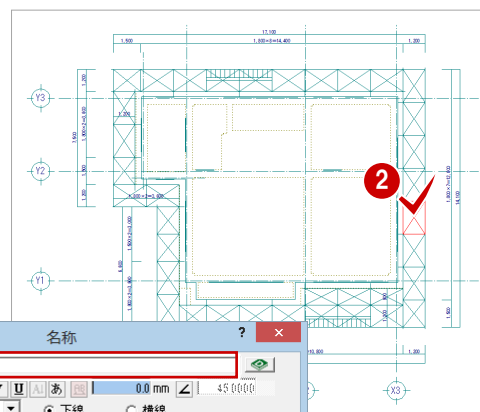
2-19 部材名の追加（平面）

仮設計画図の部材にも、名称を入力しておきましょう。

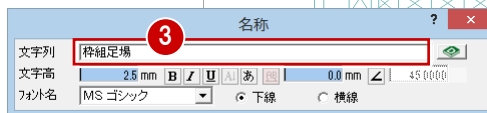
① [編集] メニューから [名称] を選びます。



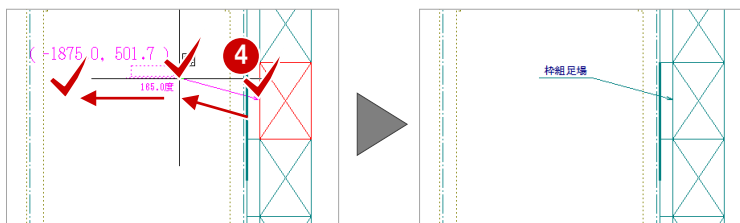
② 名称を入力する部材を指定します。
ここでは東面の枠組足場をクリックします。
[名称] ダイアログが開きます。



③ [文字列] の内容を「枠組足場」に変更します。



④ 引き出し線の始点と終点、文字列の方向をクリックします。

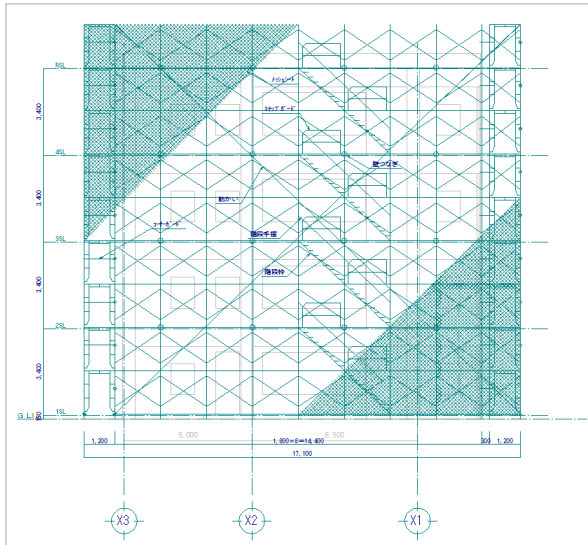


⑤ 入力できたら [上書き保存] でデータを保存しておきましょう。

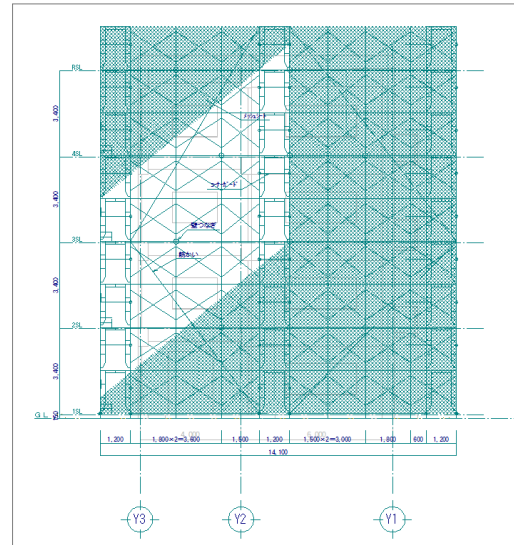


仮設立面図（北面）～（その他） の仮設部材について

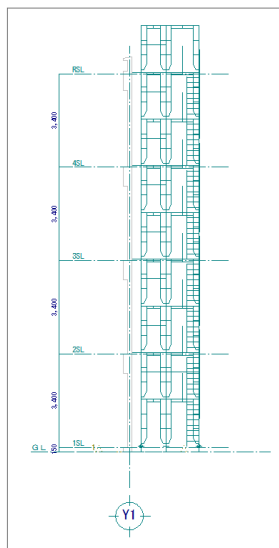
その他の面の立面データも南面・東面と同様な操作で入力します。また、通路右、入隅部分には東西南北のどの面からも直接選択できない枠組足場があるため、その部分専用の面を開いて仮設部材を追加します。



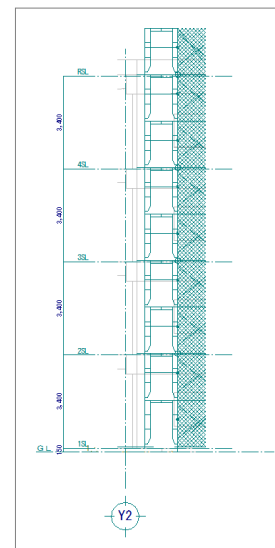
【立面図－北面】



【立面図－西面】



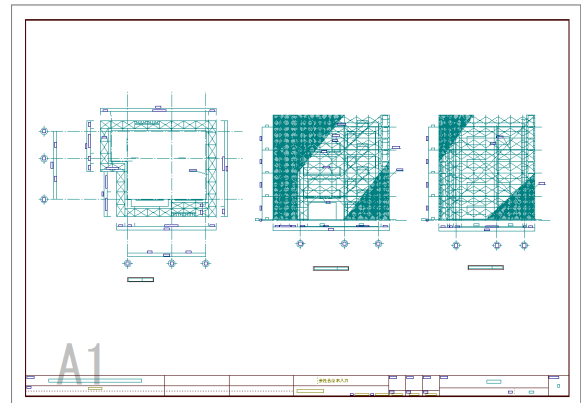
【立面図－通路右】



【立面図－入隅部分】

3 図面を作成する

仮設計画図の平面データ、立面データから仮設計画図、仮设立面図を作成し、汎用図面で図面の編集、図面枠の配置を行って、できあがった図面を印刷しましょう。



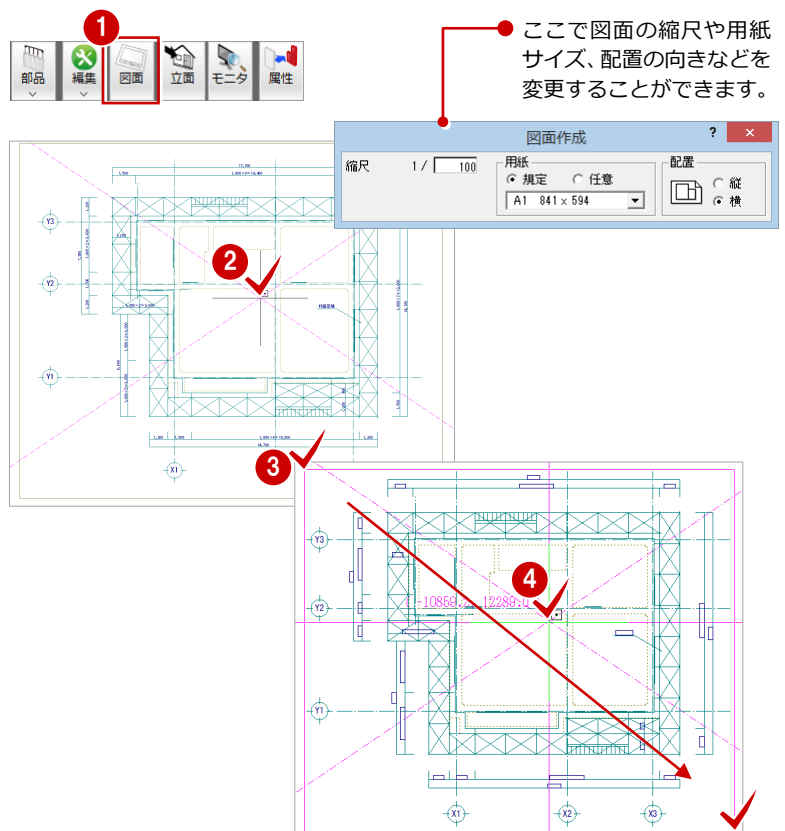
【完成図】

3-1 仮設計画図の作成

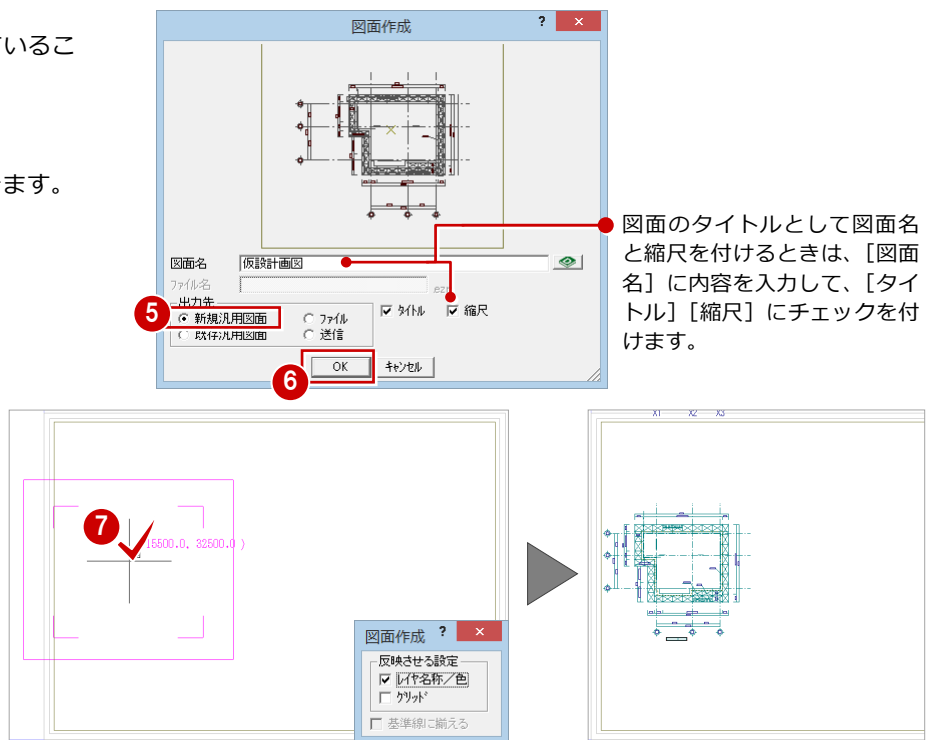
仮設計画図の図面を作成しましょう。

図面を作成する

- 1 [図面] をクリックします。
[図面作成] ダイアログが開きます。
- 2 用紙範囲の中心をクリックします。
- 3 躯体データが収まるように作図領域を指定します。
- 4 図面を配置するときの基準点をクリックします。



- 5 出力先が「新規汎用図面」になっていることを確認します。
- 6 [OK] をクリックします。
新しい汎用図面のウィンドウが開きます。
- 7 図面の配置位置をクリックします。

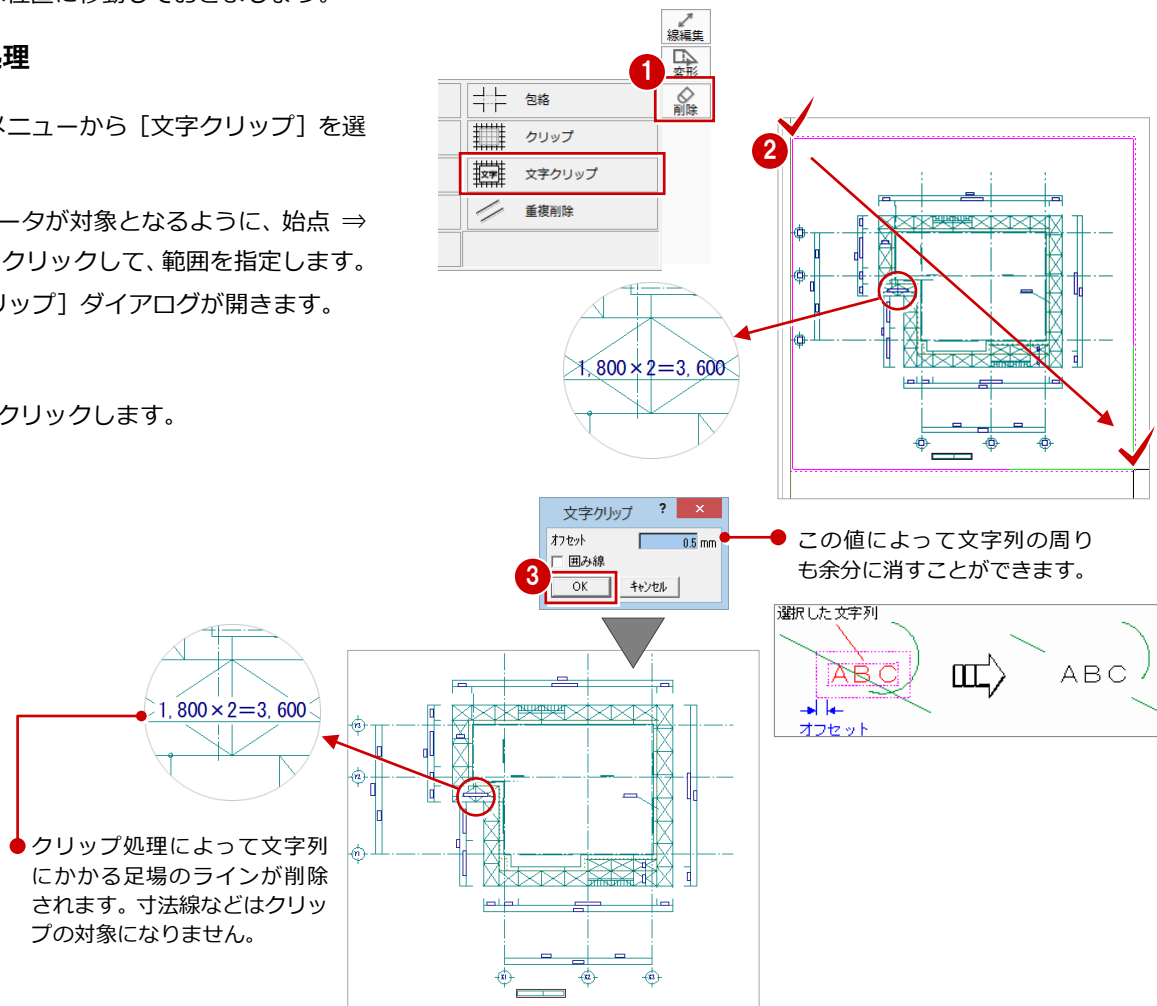


図面を編集する

図面にクリップ処理を使って、文字列にかかる部材ラインを削除しましょう。また、図面タイトルを適当な位置に移動しておきましょう。

クリップ処理

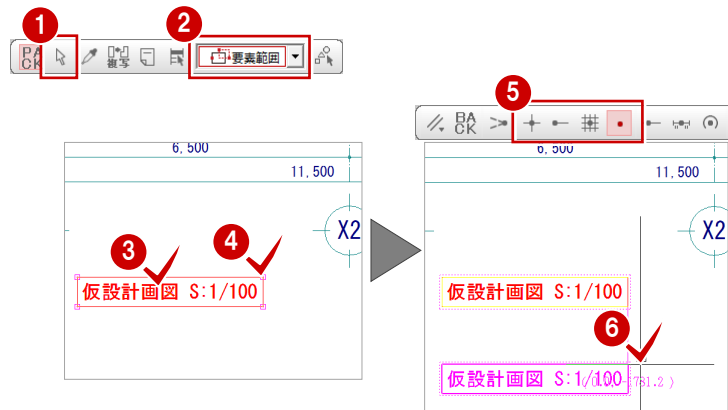
- 1 [削除] メニューから [文字クリップ] を選びます。
- 2 全てのデータが対象となるように、始点 ⇒ 対角点をクリックして、範囲を指定します。
[文字クリップ] ダイアログが開きます。
- 3 [OK] をクリックします。



3 図面を作成する

図面タイトルの移動

- 1 [対象データ選択] をクリックします。
- 2 選択方法が「要素範囲」であることを確認します。
- 3 図面タイトルをクリックします。
- 4 トラッカー (□) をクリックします。
- 5 [ピック (フリー)] のみオンにします。
- 6 移動先を指定します。

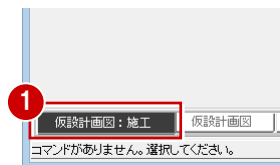


3-2 仮設立面図の作成 (南面)

保存されている (南面) の立面データを使用して、仮設立面図 (南面) を作成してみましょう。

仮設立面図 (南面) を開く

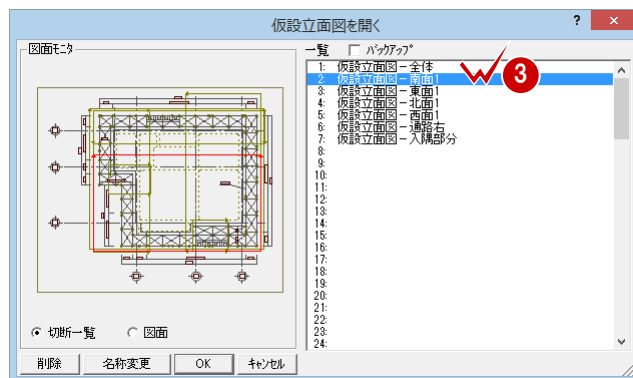
- 1 [仮設計画図：施工] タブをクリックして、ウィンドウを切り替えます。



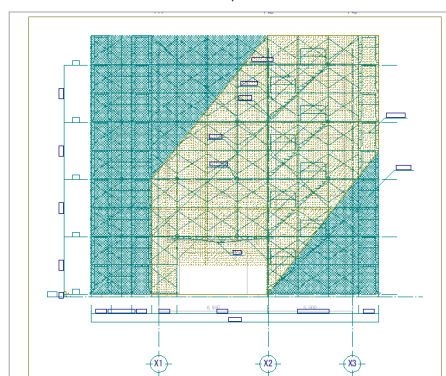
- 2 [立面] をクリックします。
[仮設立面図を開く] ダイアログが開きます。



- 3 [一覧] の「2：仮設立面図-南面 1」をダブルクリックします。



[仮設立面図-南面 1] ウィンドウが開きます。



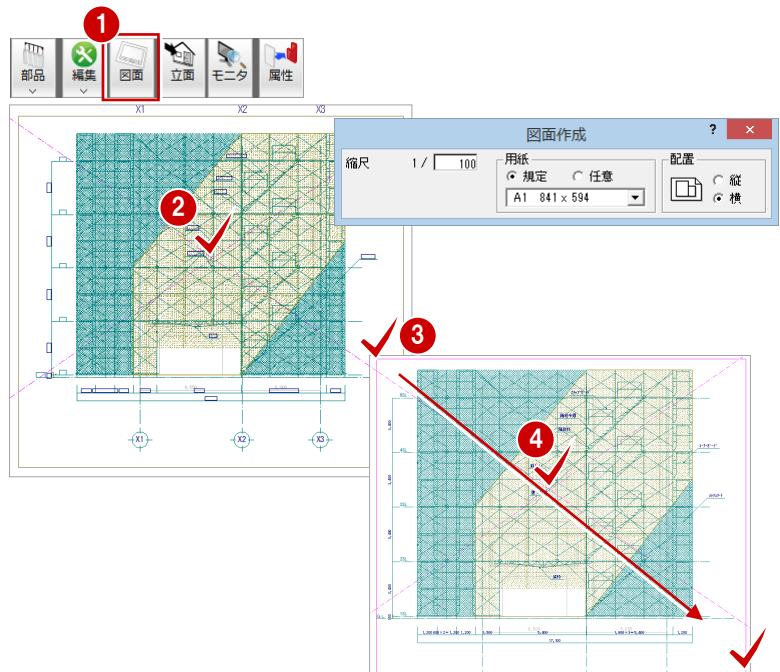
図面を作成する

① [図面] をクリックします。

② 用紙範囲の中心をクリックします。

③ 作図領域を指定します。

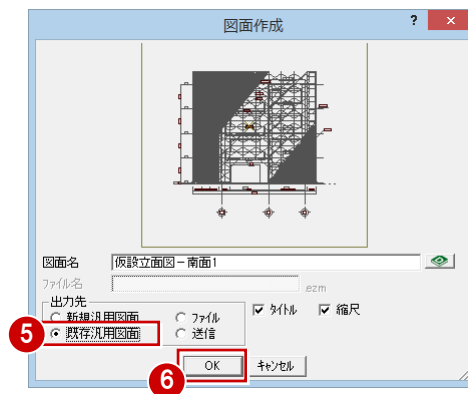
④ 図面を配置するときの基準点をクリックします。



⑤ [既存汎用図面] にチェックを入れます。

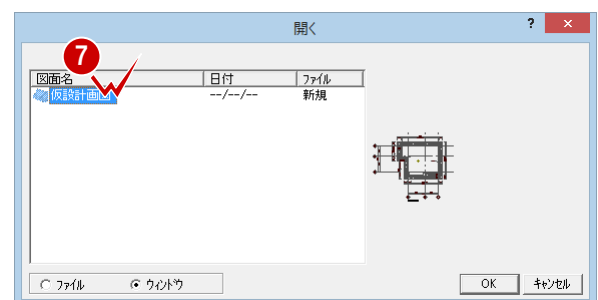
⑥ [OK] をクリックします。

[開く] ダイアログが開きます。

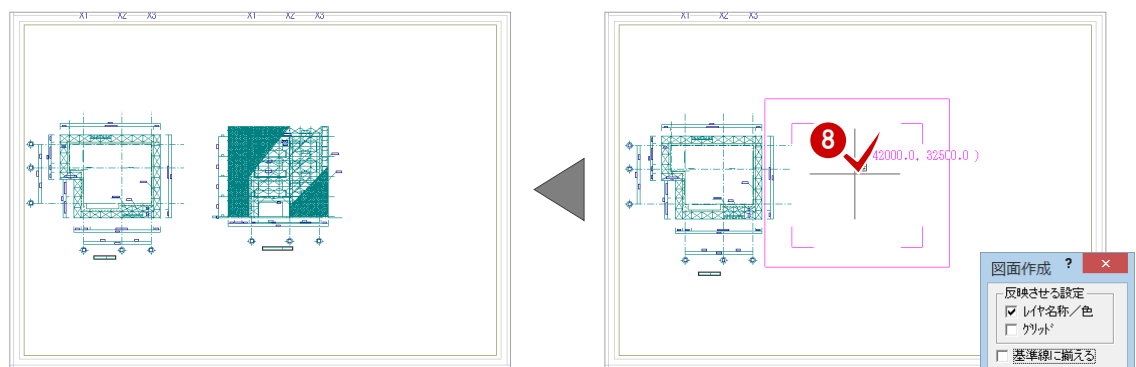


⑦ 「仮設計画図」をダブルクリックします。

[仮設計画図] のウィンドウに切り替わります。



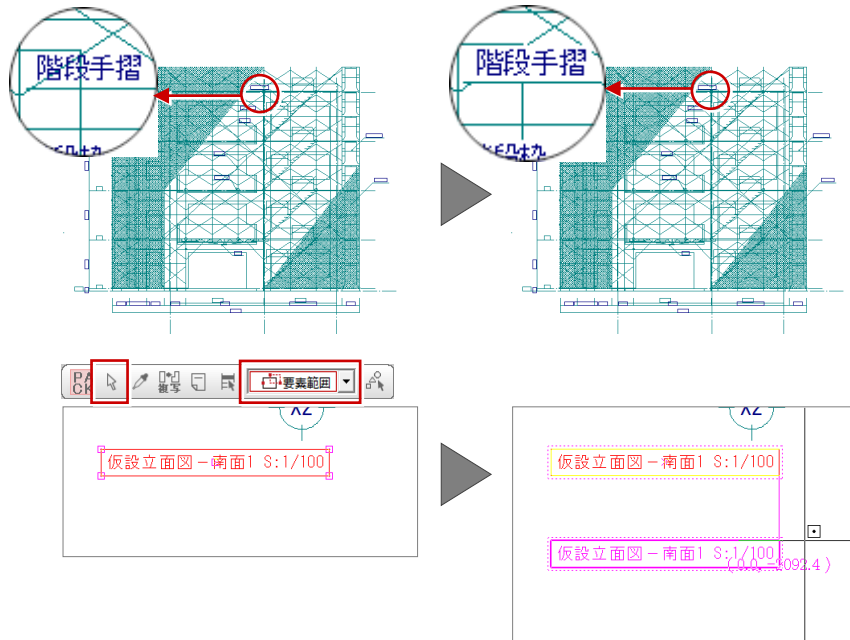
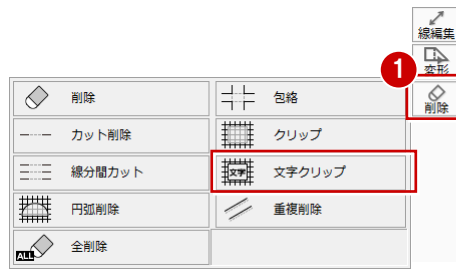
⑧ 図面の配置位置をクリックします。



3 図面を作成する

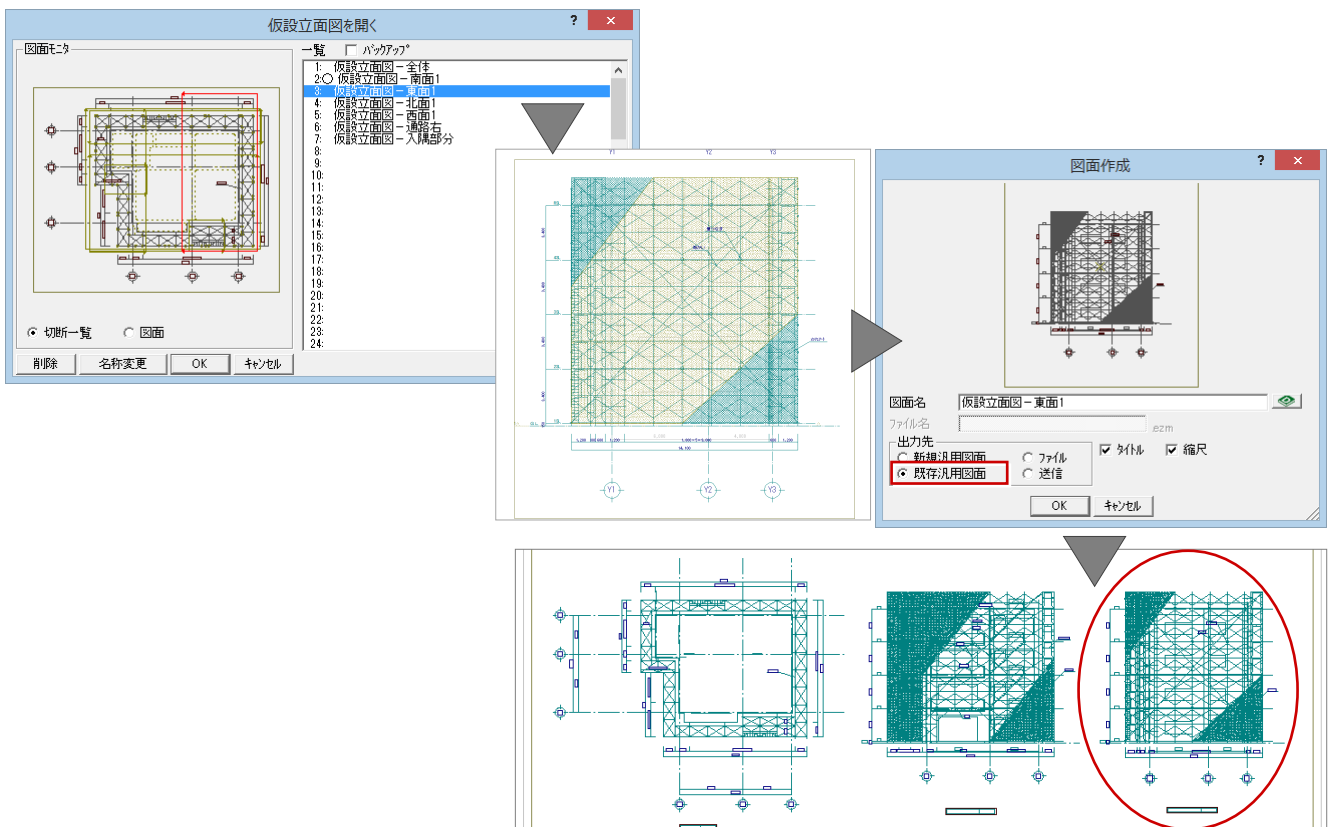
図面を編集する

P.53「図面の編集」を参照して、仮設計画図と同様に、仮設立面図の編集を行きましょう。



3-3 仮設立面図の作成（東面）

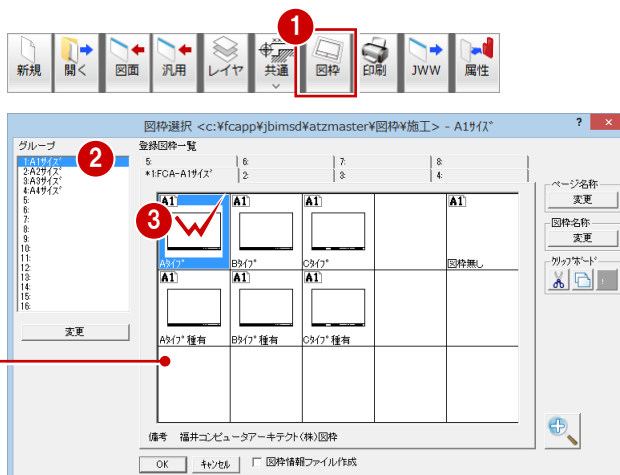
P.54「仮設立面図の作成（南面）」を参照して、仮設立面図の東面を作成し、編集を行きましょう。



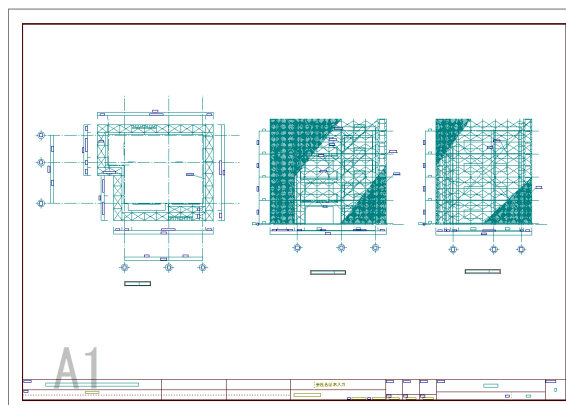
3-4 図枠の配置

図面ができたなら、図面枠を配置しましょう。

- 1 [図枠] をクリックします。
[図枠選択] ダイアログが開きます。
- 2 [グループ] の「1 : A1 サイズ」が選択されていることを確認します。
- 3 一覧から「Aタイプ」をダブルクリックします。
汎用図面に図面枠が配置されます。



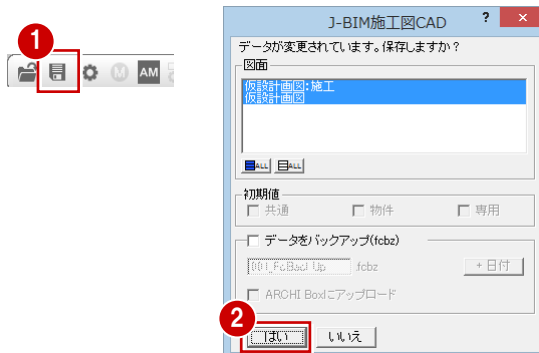
他の CAD で使用していた図面枠を利用して、新しく図面枠を登録することもできます。詳しくは「RC 躯体図 Q&A 編」の「Q5 オリジナルの図面枠を作成するには」を参照してください。



3-5 データの保存

印刷の前に、ここまでの変更内容を保存しておきましょう。

- 1 [上書き保存] をクリックします。
- 2 [はい] をクリックします。
続けて [名前を付けて保存] ダイアログが開きます。
- 3 [ファイル名] を入力します。
ここでは、「kasetu」と入力します。
- 4 [OK] をクリックします。

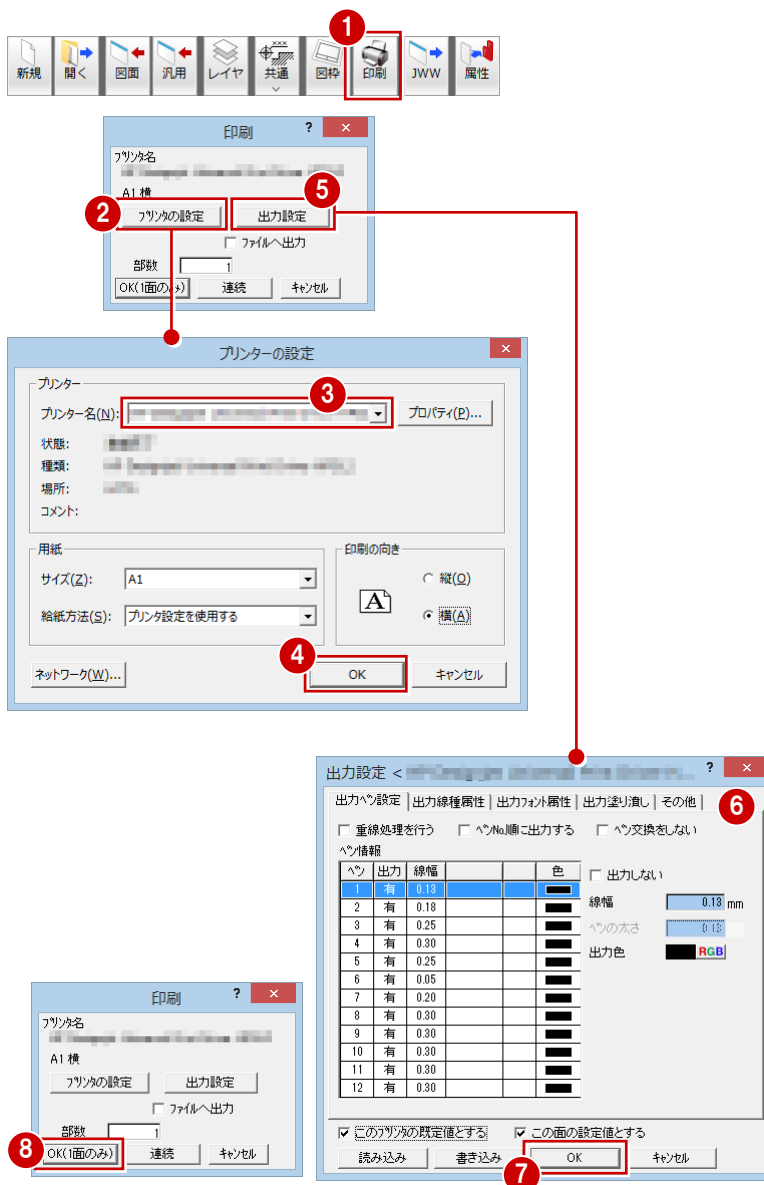


ファイル名に入力できる文字数は、半角で 30 文字までです。

3-6 図面の印刷

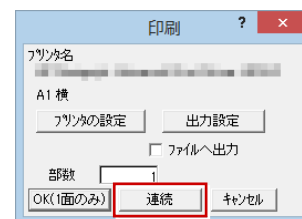
作成した図面を印刷しましょう。

- ① [印刷] をクリックします。
[印刷] ダイアログが開きます。
- ② [プリンタの設定] をクリックします。
[プリンタの設定] ダイアログが開きます。
- ③ 使用するプリンタ、用紙のサイズ、印刷の向きなどを確認します。
- ④ [OK] をクリックします。
[印刷] ダイアログに戻ります。
- ⑤ [出力設定] をクリックします。
[出力設定] ダイアログが開きます。
- ⑥ 印刷するときの線幅や色などを確認します。
- ⑦ [OK] をクリックします。
[印刷] ダイアログに戻ります。
- ⑧ [OK (1面のみ)] をクリックすると、印刷が始まります。



補足 複数の図面を連続印刷するには

複数の図面をまとめて印刷するには、[印刷] ダイアログの [プリンタの設定] で使用するプリンタや用紙サイズ、印刷の向きなどを設定した後、[連続] をクリックします。[図面一覧] で印刷したい図面を複数選択して [OK] をクリックすると、印刷が始まります。



4 仮設部材を積算する

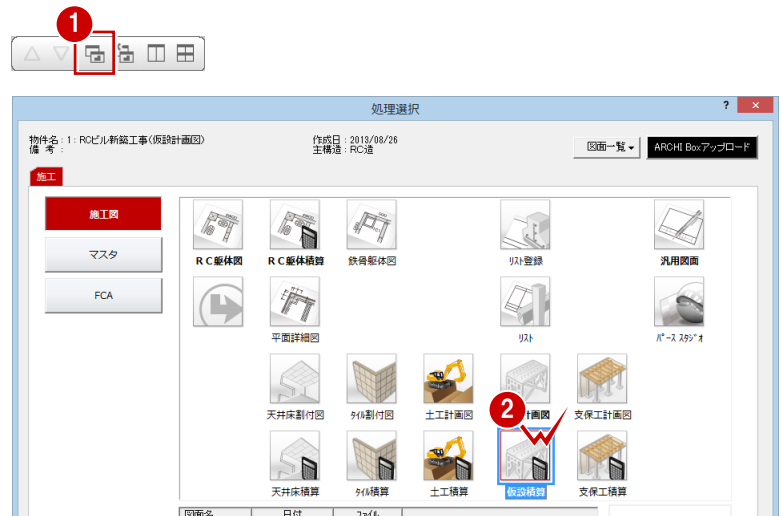
仮設計画図のデータから仮設部材の数量を積算・集計し、集計結果をプリンタで印刷してみましょう。

4-1 自動積算

仮設積算を開き、仮設部材の数量を積算しましょう。

仮設積算を起動する

- 1 [他の処理図面を開く] をクリックします。
[処理選択] ダイアログが開きます。
- 2 「仮設積算」をダブルクリックします。

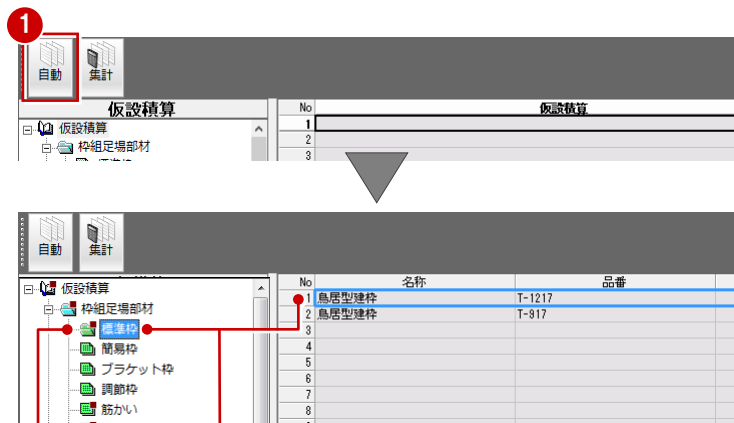


[仮設積算：施工] のウィンドウが開きます。

自動積算する

- 1 [自動] をクリックします。
仮設計画図の積算が開始されます。

※ 左側のツリー項目をクリックすることで、各項目の積算結果に切り替わります。



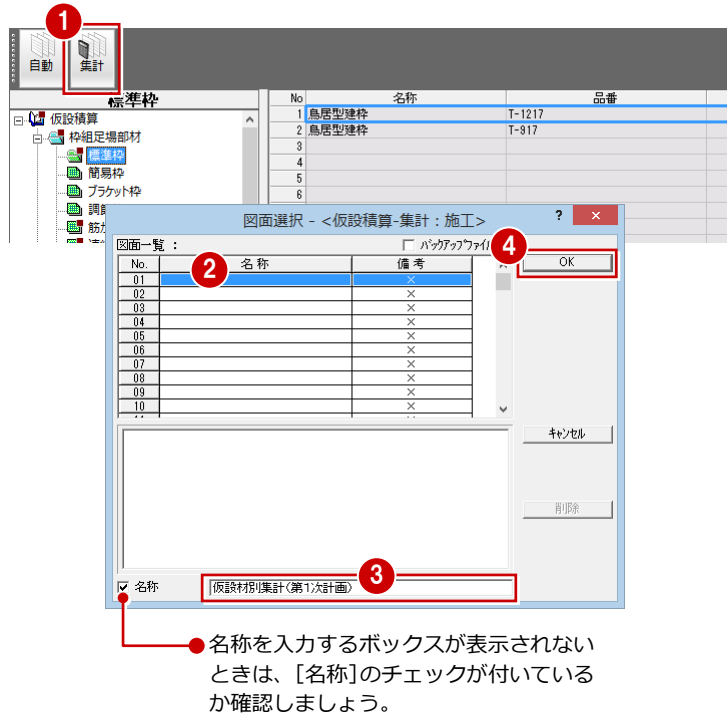
ツリーで選択されている「標準枠」の内容が表示されます。

- [自動積算] により部材が計上された項目には、アイコンの右上に■（茶）のマークが付きます。

4-2 自動集計

積算結果を集計しましょう。

- ① [集計] をクリックします。
[図面選択] ダイアログが開きます。
- ② [図面一覧] で「No.1」が選択されていることを確認します。
- ③ [名称] に「仮設材別集計（第1次計画）」と入力します。
- ④ [OK] をクリックします。
[仮設材別集計（第1次計画）] のウィンドウが開きます。



- ⑤ [自動] をクリックします。
[集計] ダイアログが開きます。
- ⑥ [OK] をクリックします。
仮設計画図の集計が開始され、結果が表示されます。

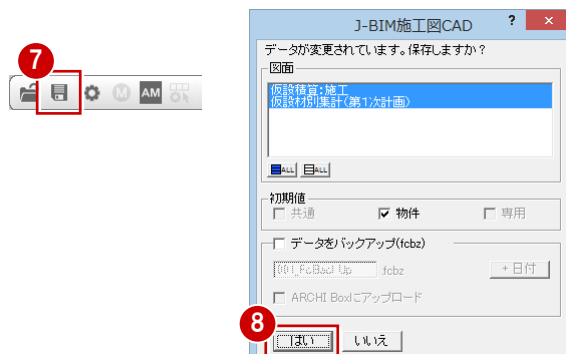


J-BIM施工図CAD <1:RCビル新築工事> - [仮設材別集計（第1次計画）]

No	名称	品番	重量(Kg)	損料	数量	総重量(Kg)	総損料	備考
1	鳥居型建枠	T-1217	17.70	1.00	347	6141.90	347.00	メータ系
2	鳥居型建枠	T-917	15.90	1.00	36	572.40	36.00	メータ系
3	筋かゝ	S-1618	4.10	1.00	483	1980.30	483.00	メータ系
4	筋かゝ	S-1615	3.70	1.00	90	333.00	90.00	メータ系
5	連結ピン	JP	0.50	1.00	680	340.00	680.00	
6	アームロック	A-123	0.34	1.00	680	231.20	680.00	
7	鋼製布板	N-518	16.80	1.00	428	7190.40	428.00	メータ系
8	鋼製布板	N-515	14.80	1.00	96	1401.60	96.00	メータ系
9	鋼製布板	N-218	8.70	1.00	24	208.80	24.00	メータ系
10			9.00	1.00	01	9.00	01.00	

集計データを保存しておきましょう。

- ⑦ [上書き保存] をクリックします。
- ⑧ 保存する図面を確認して、[はい] をクリックします。

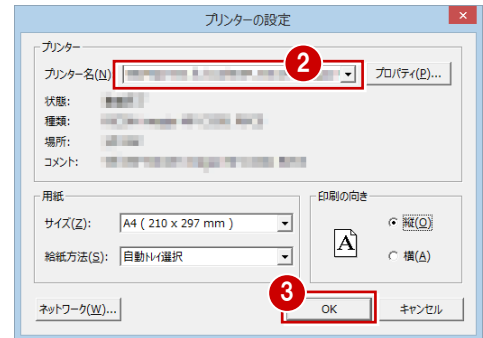
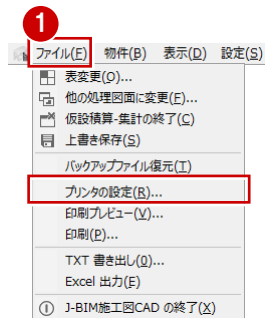


4-3 帳票の印刷

集計結果を印刷しましょう。

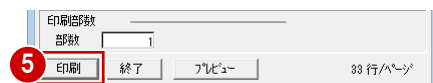
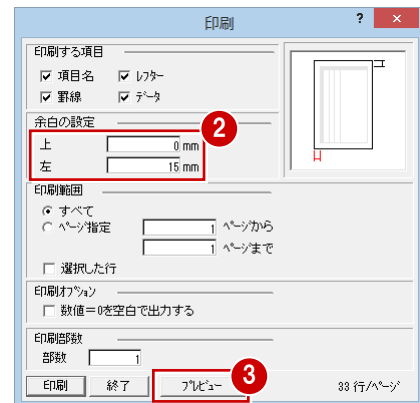
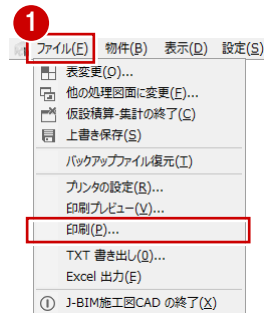
プリンタを設定する

- 1 [ファイル] メニューから [プリンタの設定] を選びます。
- 2 使用するプリンタ、用紙のサイズ、印刷の向きなどを確認します。
- 3 [OK] をクリックします。



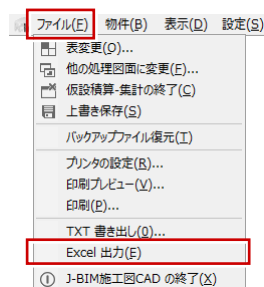
集計結果を印刷する

- 1 [ファイル] メニューから [印刷] を選びます。
[印刷] ダイアログが開きます。
- 2 [余白の設定] の [上] に「0」、[左] に「15」と入力します。
- 3 [プレビュー] をクリックします。
- 4 印刷イメージを確認したら、[閉じる] をクリックします。
[印刷] ダイアログに戻ります。
- 5 [印刷] をクリックすると、印刷が始まります。



補足 集計結果を Excel 出力するには

集計結果を Excel で自由に編集したいときは [ファイル] メニューの [Excel 出力] を使用します。
Excel が起動して集計結果が出力されます。
Excel でデータを保存し、編集、印刷などを行います。



No	名称	品番	重量 (kg)	損料	数量	総重量 (kg)
1	島屋型建枠	T-1217	17.70	1.00	347	6141.90
2	島屋型建枠	T-917	15.90	1.00	36	572.40
3	筋かい	S-1618	4.10	1.00	493	1980.30
4	筋かい	S-1615	3.70	1.00	90	333.00
5	連結ピン	JP	0.50	1.00	680	340.00
6	7-AGツ	A-123	0.34	1.00	680	231.20

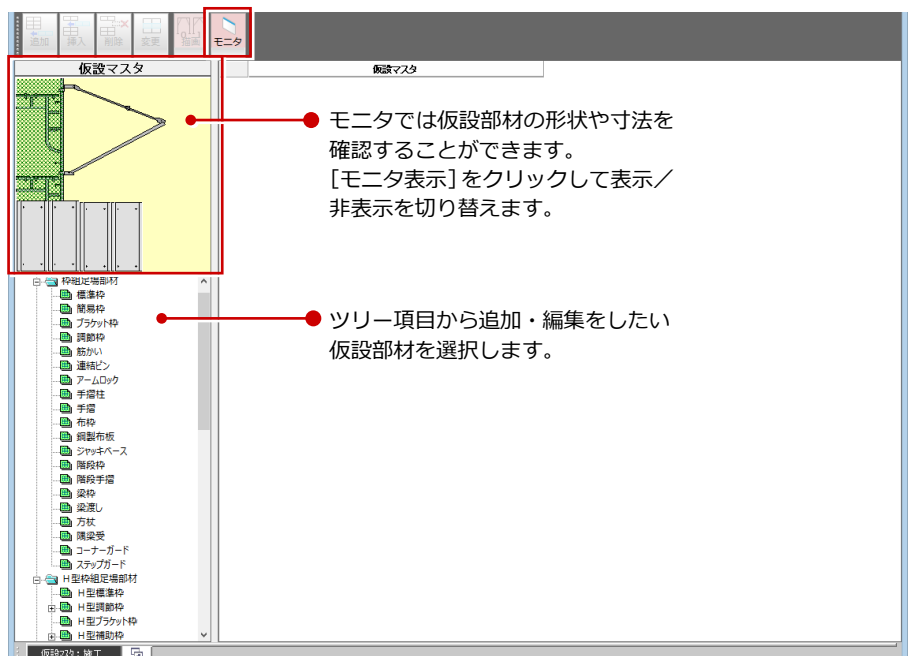
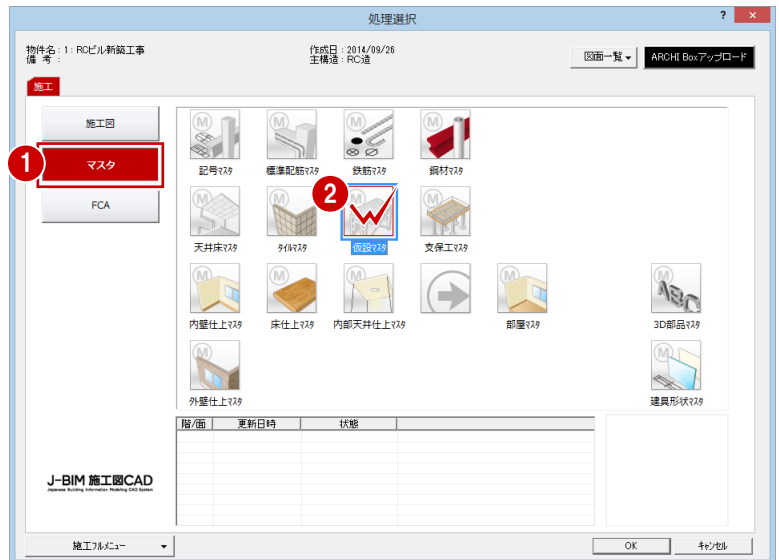
Q1

仮設部材を登録するには

仮設計画図で使用する仮設部材や枠組足場ユニットなどは、仮設マスタで追加・編集することができます。使用したい仮設部材や枠組足場ユニットがマスタに用意されていない場合は、次のように登録します。

仮設マスタを開く

- ① [処理選択] ダイアログで [マスタ] をクリックします。
- ② [プログラム一覧] で「仮設マスタ」をダブルクリックします。
[仮設マスタ: 施工] ウィンドウが開きます。



部材を追加する

標準で用意されている仮設部材を利用して、新しい部材を登録しましょう。ここでは、例として「枠組足場部材」の「標準枠」を登録します。

- ツリーから「枠組足場部材」の「標準枠」をクリックします。

登録されている部材の一覧が表示されます。

- 一覧で使用したい部材を選択します。
ここでは、「鳥居型建枠 (品番: T-1217)」をクリックします。

- [追加] をクリックします。
一覧の最後の行に部材が追加されます。

- 追加された部材の [名称] をダブルクリックします。

名称を変更できるようになります。

- [名称] を「鳥居型建枠 A」に変更します。

- 同様な操作で、[品番] [幅] [高さ] [重量] [備考] などを変更します。

- [描画タイプ] の [▼] をクリックし、タイプ (番号) を選びます。

※ 番号に該当するイメージは、[描画] をオンにすると表示される [描画タイプ] ダイアログで確認できます。

名称	品番	幅(mm)	高さ(mm)	重量
1 鳥居型建枠	A-4064	1219.00	1930.00	
2 鳥居型建枠	A-4055A	1219.00	1700.00	
3 鳥居型建枠	A-4055B	1219.00	1700.00	
4 鳥居型建枠	A-405	1219.00	1524.00	
5 鳥居型建枠	A-3055A	914.00	1700.00	
6 鳥居型建枠	T-1217	1200.00	1680.00	
7 鳥居型建枠	T-917	900.00	1680.00	
8 鳥居型建枠	A-T-1217	1200.00	1680.00	

名称	品番	幅(mm)	高さ(mm)	重量(Kg)	損料	備考	描画タイプ°
8 鳥居型建枠A	T-1217	1219.00	1930.00	21.00	1.00	メー系	0

● 立面図で描画されるイメージを確認できます。

補足 [仮設マスタ] ウィンドウの各機能について

- [挿入]・・・選択した欄の上の行に同じ新しい部材を追加します。
- [削除]・・・選択した欄の部材を削除します。
- [変更]・・・枠組足場ユニットなどを選択すると表示されます。選択したユニットや足場の登録内容を変更します。
- [表示]・・・[描画タイプ] ダイアログの表示/非表示を切り替えます。
- [モニタ表示]・・・モニタの表示/非表示を切り替えます。

ユニットを追加する

次に新しい枠組足場ユニットを登録してみま
しょう。

① ツリーから「枠組足場ユニット登録」をク
リックします。

② 一覧で使用したい足場を選択します。

ここでは、「13 : インチ系枠組足場 1219 *
1829 * 1955」をクリックします。

③ [追加] をクリックします。

[枠組足場ユニット登録] ダイアログが開き
ます。

④ [名称] を「インチ系枠組足場 A 1219 * 1829
* 1955」に変更します。

⑤ 建枠の [種別] が「標準枠」であることを
確認します。

⑥ 建枠の [変更] をクリックします。

[標準枠のマスタ選択] ダイアログが開きま
す。

⑦ [マスタリスト] で変更する標準枠を選択し
ます。

ここでは、前ページで登録した「鳥居型建
枠 A」をクリックします。

⑧ [OK] をクリックします。

[枠組足場ユニット登録] ダイアログに戻り
ます。

⑨ 同様な操作で、他の部位の仮設部材を変更
します。

⑩ [描画タイプ] で平面表現のタイプを確認し
ます。

変更したい場合は [▼] をクリックして、
描画タイプを切り替えます。

⑪ [OK] をクリックします。

データを保存する

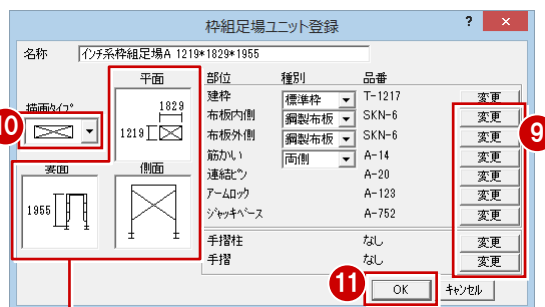
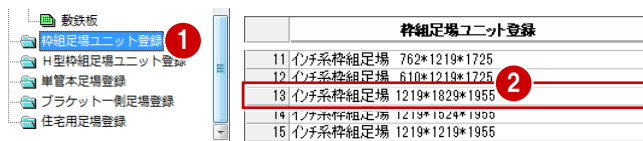
仮設マスタに仮設部材と枠組足場ユニットを
追加できたら、データを保存しておきましょ
う。

① [上書き保存] をクリックします。

保存の確認画面が表示されます。

② [仮設マスタ：施工] が選択されていること
を確認します。

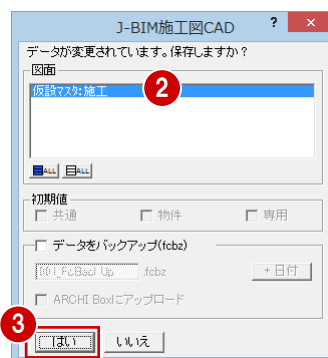
③ [はい] をクリックします。



● 枠組足場の平面や立面（妻面、側面）の
イメージを確認できます。

23	メートル系枠組足場	900*1200*1700
24	メートル系枠組足場	600*1200*1700
25	インチ系枠組足場A	1219*1829*1955

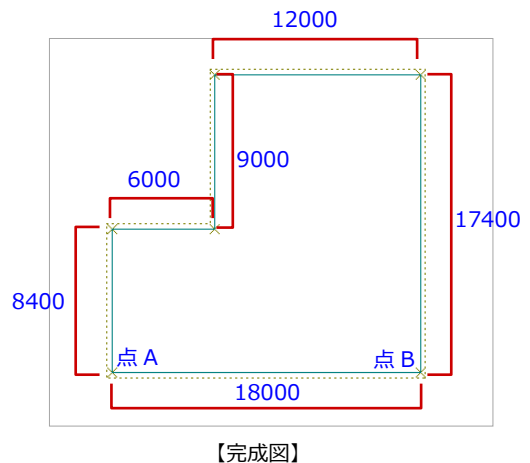
● 一覧の最後の行に
新しいユニットが
追加されます。



Q2 建物の外壁線を入力するには

躯体データを読み込まずに、補助点を利用して外壁線を入力する方法を解説します。

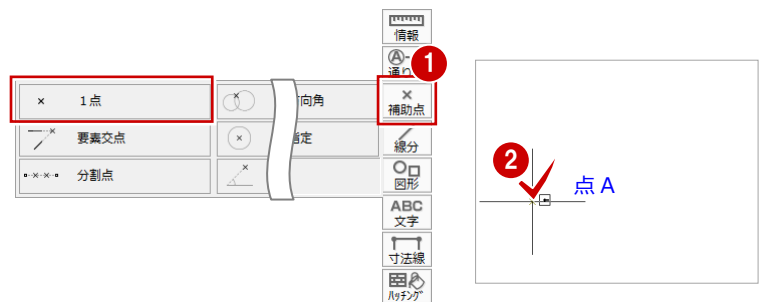
ここでは、例として右図のような外壁線を入力します。



補助点を入力する

まず、建物の頂点となる位置に、補助点を入力しましょう。グリッドポイントを指定して外壁線を入力できないときは、補助点を利用すると便利です。

① [補助点] メニューから [1点] を選びます。



② 適当な位置をクリックして、補助点 A を入力します。

③ [ピック (端点)] をオンにします。



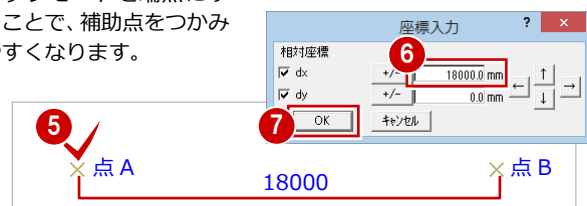
④ [クリック位置からの相対座標入力] をオンにします。

● ピックモードを端点にすることで、補助点をつかみやすくなります。

⑤ 点 A をクリックします。

[座標入力] ダイアログが開きます。

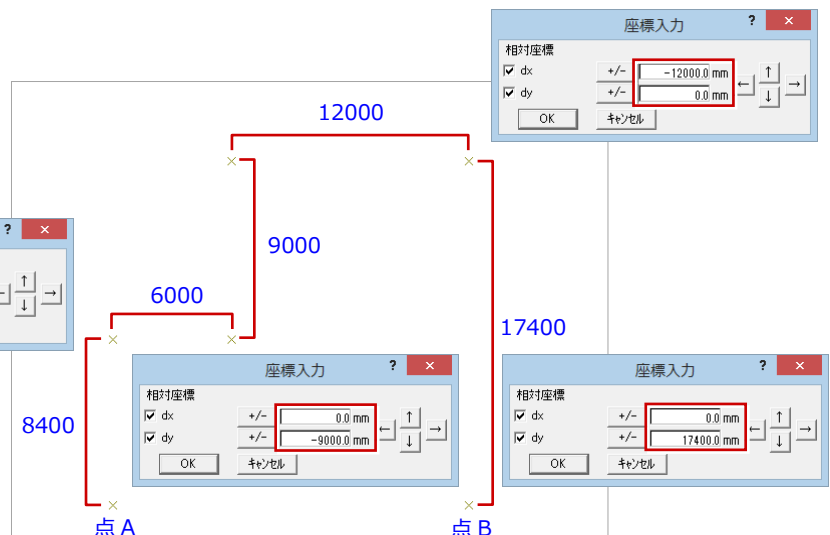
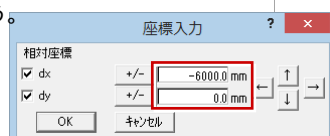
⑥ [dx] に「18000」と入力します。



⑦ [OK] をクリックします。

右図のように補助点 B が入力されます。

⑧ 同様な操作で、[クリック位置からの相対座標入力] を使用して、残りの頂点に補助点を入力しましょう。



外壁線を入力する

補助点を利用して、建物の外壁線を入力しましょう。

① [建物] メニューから [外壁線任意] を選びます。

[外壁線任意] ダイアログが開きます。

② [補助線距離] に建物と足場の間隔を入力します。

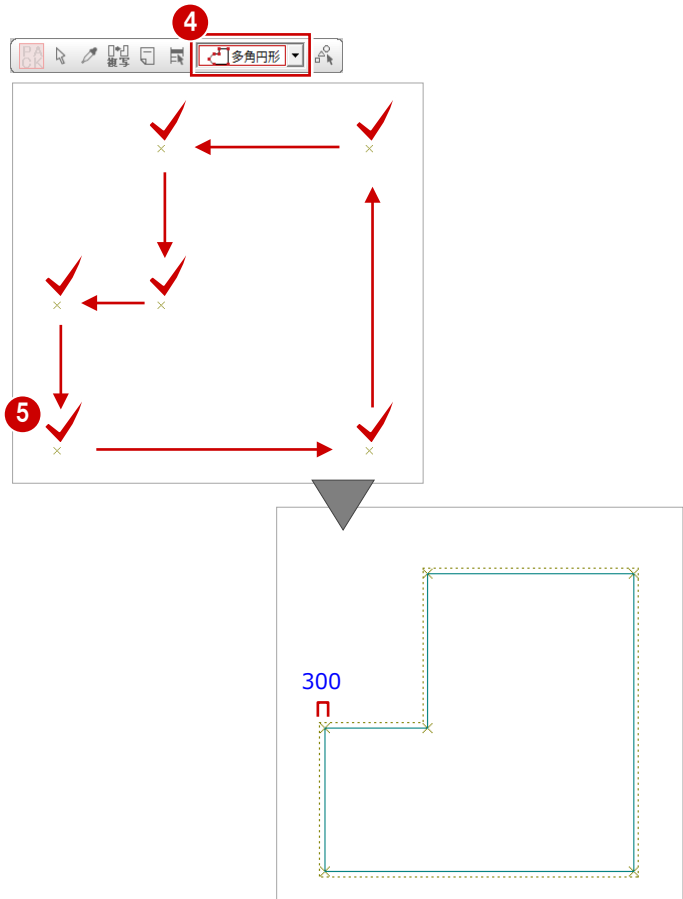
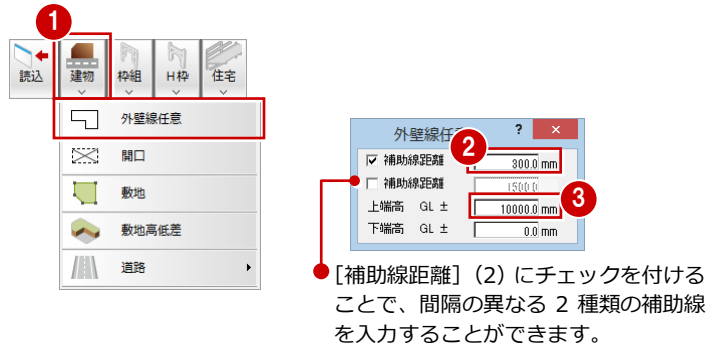
ここでは「300」であることを確認します。

③ [上端高] に「10000」と入力します。

④ 入力方法を「多角円形」に変更します。

⑤ 入力した補助点を右図のように順にクリックし、外壁線を入力します。

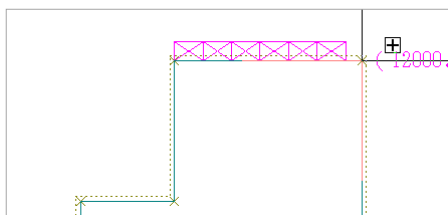
(ピックモード：端点)



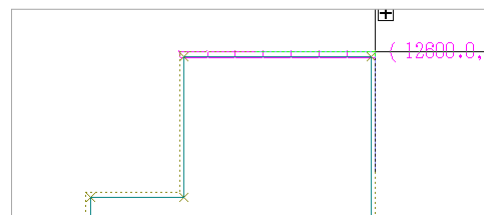
補足 補助線距離について

枠組足場ユニットや住宅用足場などは、外壁線と一緒に入力した補助線を利用して配置します。このとき、枠組足場ユニットと住宅用足場では入力方法が異なるので、配置する足場によって適当な間隔を設定してください。

- 枠組足場ユニットの場合
補助線の位置が足場の内側になります。



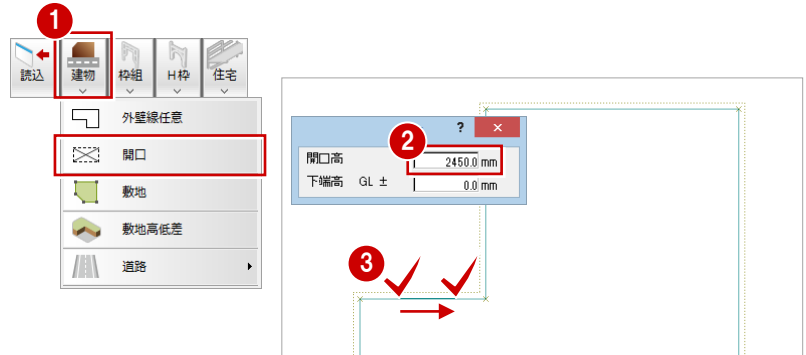
- 住宅用足場の場合
補助線の位置が足場の外側になります。



開口を入力する

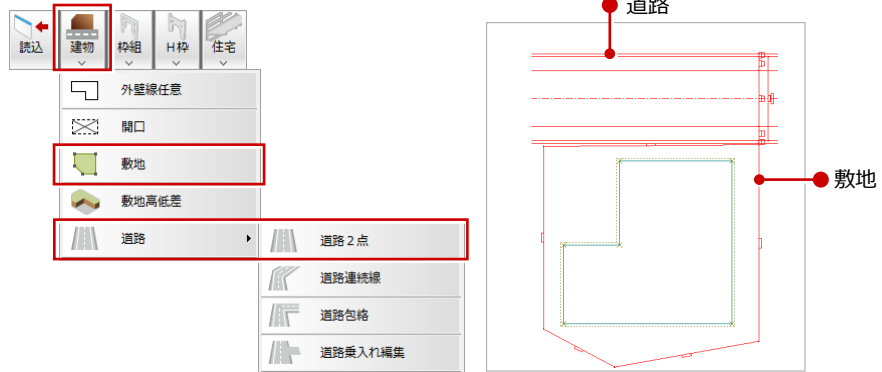
外壁線に開口位置を入力しましょう。

- 1 [建物] メニューから [開口] を選びます。
[開口] ダイアログが開きます。
- 2 [開口高] に「2450」と入力します。
- 3 開口の始点 ⇒ 終点をクリックします。



補足 建物シンボルについて

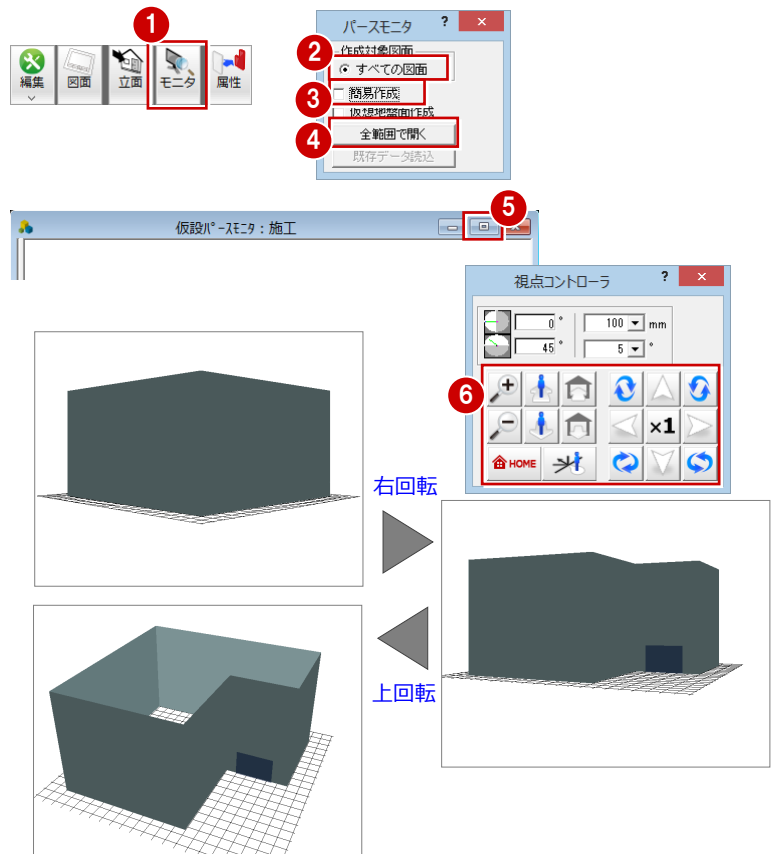
建物シンボルでは、外壁線、開口のほかにも、敷地や道路などを入力することができます。



立体データを確認する

パースモニタを開いて、ここまで入力したデータの立体を確認してみましょう。

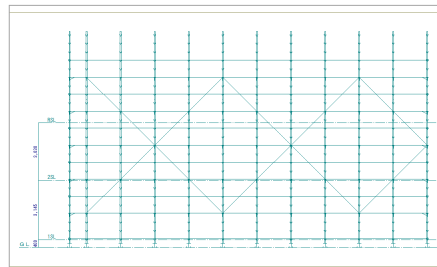
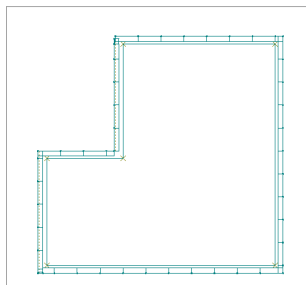
- 1 [モニタ] をクリックします。
[パースモニタ] ダイアログが開きます。
- 2 [すべての図面] にチェックが入っていることを確認します。
- 3 [簡易作成] のチェックをはずします。
- 4 [全範囲で開く] をクリックします。
[パースモニタ] ウィンドウが開いて、立体データが作成されます。
- 5 [パースモニタ] ウィンドウの [最大化] をクリックして、ウィンドウを最大化しておきます。
- 6 [視点コントローラ] ダイアログの各ボタンを使用して、立体データを確認します。



Q3

住宅用足場を使うには

仮設計画図では、住宅用足場を入力することもできます。ここでは、一側足場を例に、住宅用足場の登録方法と配置方法を解説します。



【完成図】

住宅用足場部材を登録する

仮設マスタを開いて、住宅用足場に必要の部材を用意しましょう。

例えば、使用したい支柱が標準で用意されていない場合は、次のようにして登録します。

- 1 ツリーから「住宅用足場部材」の「支柱」をクリックします。
登録されている部材の一覧が表示されます。
- 2 「支柱（品番：S-36）」をクリックします。
- 3 [追加] をクリックします。
一覧表示の最後の行に部材が追加されます。
- 4 追加された部材を右図のように変更します。
[品番]・・・「S-38」
[長さ]・・・「3800」
[重量]・・・「14.3」

名称	品番	長さ(mm)	重量(kg)	損料	備考
1 支柱	S-36	3600.00	13.10	1.00	
2 支柱	S-36	3600.00	13.10	1.00	
3 支柱	S-18	1800.00	6.90	1.00	
4 支柱	S-09	900.00	3.80	1.00	
5 支柱	S-00	900.00	3.80	1.00	
6 支柱	S-36	3800.00	14.30	1.00	

住宅用足場を登録する

次に、支柱、ブラケット、踏板、手摺を追加して建物の高さにあわせた一側足場を登録しましょう。

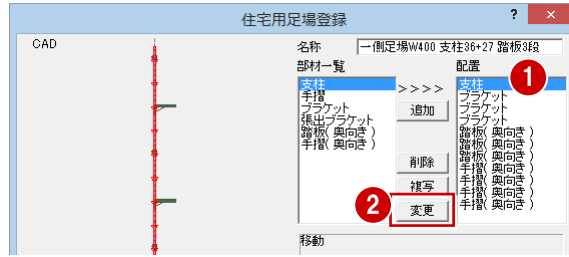
一側足場の追加

- 1 ツリーから「住宅用足場登録」を選びます。
- 2 [一側足場 W400 支柱 36+27 踏板 3段] をクリックします。
- 3 [追加] をクリックします。
[住宅用足場登録] ダイアログが開きます。

名称	品番	高さ(mm)	重量(kg)	損料	備考
1 一側足場W400 支柱36+27 踏板3段		3600+2700	13.10+10.00	1.00	
2 一側足場W400 支柱36+27 踏板3段		3600+2700	13.10+10.00	1.00	
3 一側足場W400 支柱27 踏板1段		2700	10.00	1.00	
4 一側足場W250 支柱36+09 踏板3段		3600+900	6.90+3.80	1.00	
5 一側足場W250 支柱36+09 踏板3段		3600+900	6.90+3.80	1.00	
6 一側足場W250 支柱27 踏板1段		2700	10.00	1.00	
7 本足場W900 支柱36+27(36+18) 踏板3段		3600+2700	13.10+10.00	1.00	
8 本足場W900 支柱36+09(36) 踏板2段		3600+900	6.90+3.80	1.00	
9 本足場W900 支柱27(18) 踏板1段		2700	10.00	1.00	
10 本足場W600 支柱36+27(36+18) 踏板3段		3600+2700	13.10+10.00	1.00	
11 本足場W600 支柱36+09(36) 踏板2段		3600+900	6.90+3.80	1.00	
12 本足場W600 支柱27(18) 踏板1段		2700	10.00	1.00	

支柱の変更

- 1 [配置] の「支柱」を選びます。
- 2 [変更] をクリックします。
[支柱設定] ダイアログが開きます。



- 3 [配置] の「S-36」を選びます
- 4 [削除] をクリックします。
- 5 [マスター一覧] の「S-38」を選びます。
- 6 [追加] をクリックして、[配置] に「S-38」を2つ登録します。
- 7 [OK] をクリックします。
[住宅用足場登録] ダイアログに戻ります。

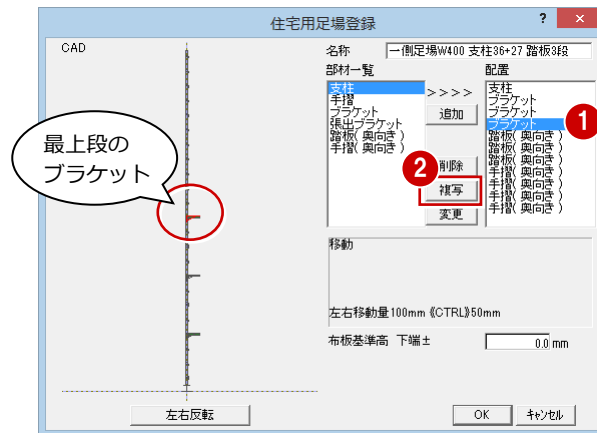


- チェックを付けることで、ジャッキベースとアンダーベースを使用することができます。

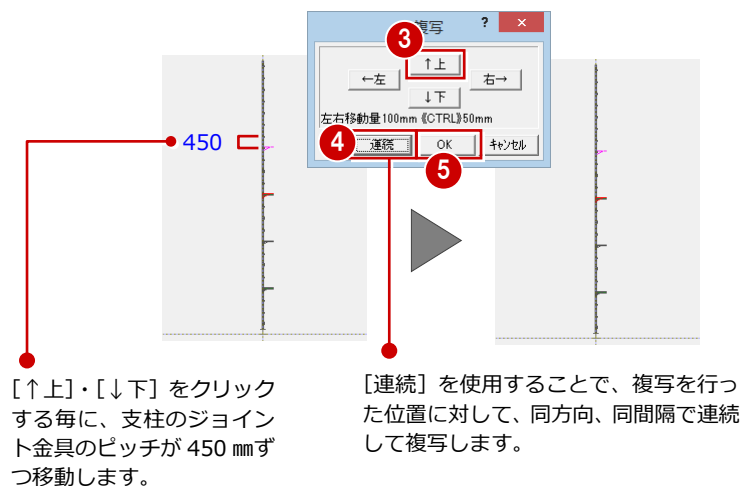
※ ここでは、9mの建物に対してトータル10.3mの支柱を登録しています。

ブラケットの追加

- 1 [配置] の「ブラケット」を選びます。
このとき、モニタを参照して上段に配置されているブラケットを選びます。
- 2 [複写] をクリックします。
[複写] ダイアログが開きます。



- 3 [↑上] をクリックして複写するブラケットの位置を、モニタで確認しながら移動します。
- 4 [連続] をクリックして、右図のように支柱にブラケットを配置します。
- 5 [OK] をクリックします。
[住宅用足場登録] ダイアログに戻ります。

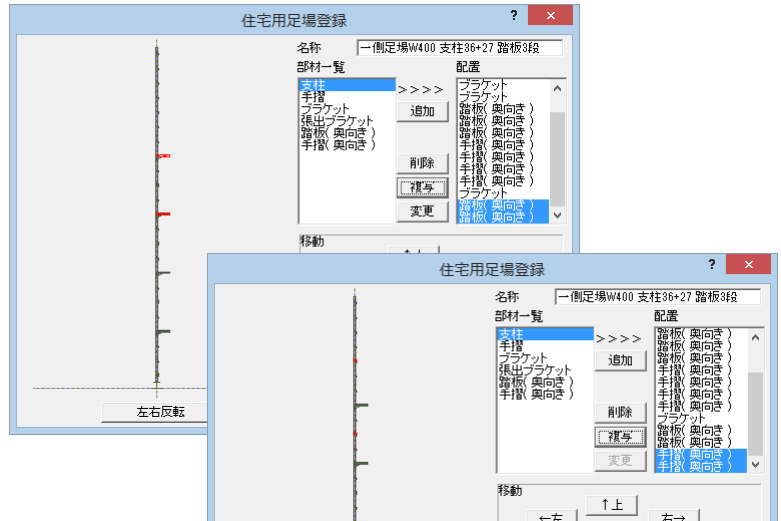


[↑上]・[↓下] をクリックする毎に、支柱のジョイント金具のピッチが450mmずつ移動します。

[連続] を使用することで、複写を行った位置に対して、同方向、同間隔で連続して複写します。

踏板・手摺の追加

支柱やブラケットと同様な操作で、右図のように踏板、手摺を追加しましょう。

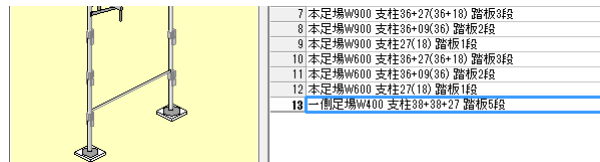
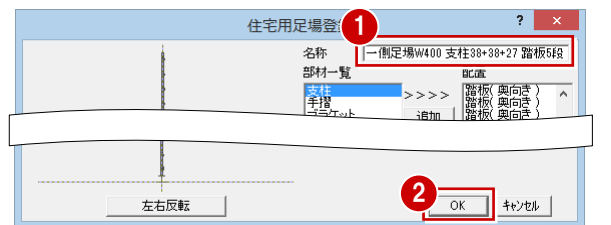


住宅用足場名称の変更

① [名称] に「一側足場 W400 支柱 38+38+27 踏板 5段」と入力します。

② [OK] をクリックします。

[住宅用足場登録] の最後の行に追加されます。



データを保存する

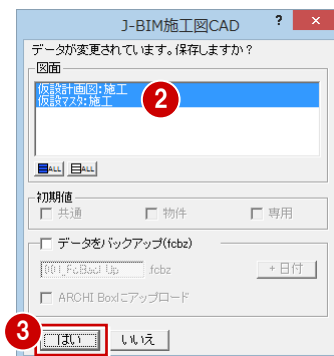
仮設マスタに住宅用足場を追加できたら、データを保存しておきましょう。

① [上書き保存] をクリックします。

保存の確認画面が表示されます。

② [仮設マスタ：施工] が選択されていることを確認します。

③ [はい] をクリックします。



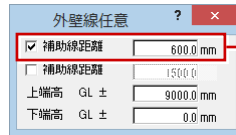
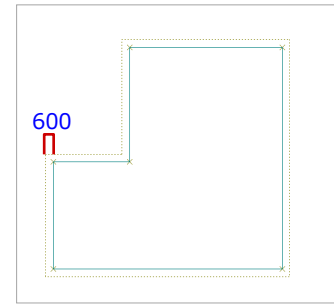
外壁線を入力する

仮設計画図を開いて、建物に応じた外壁線を入力しましょう。

ここでは【補助線距離】を「600」、【上端高】を「9000」に設定して、右図のような外壁線と補助線を入力します。

詳しい操作方法は「Q2 建物の外壁線を入力するには」を参照してください。

※ 躯体データを参照して外壁線を入力する場合は、P.5「躯体データの読み込み」を参照してください。



補助線の位置が住宅用足場の外側になります。ここでは幅 400 mm の足場を使用し、躯体との間隔を 200 mm とするため、補助線距離を 600 mm としています。

一側足場を配置する

① [住宅] メニューから [住宅用足場] を選びます。

[住宅用足場のマスタ選択] ダイアログが開きます。

② 前ページで登録した「一側足場 W400 支柱 38+38+27 踏板 5 段」をダブルクリックします。

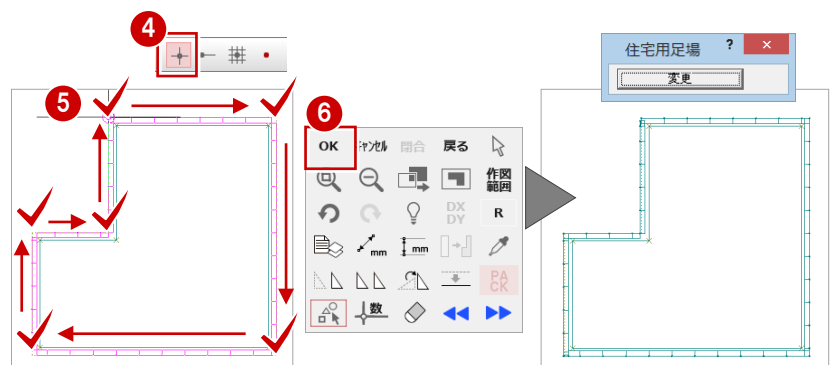
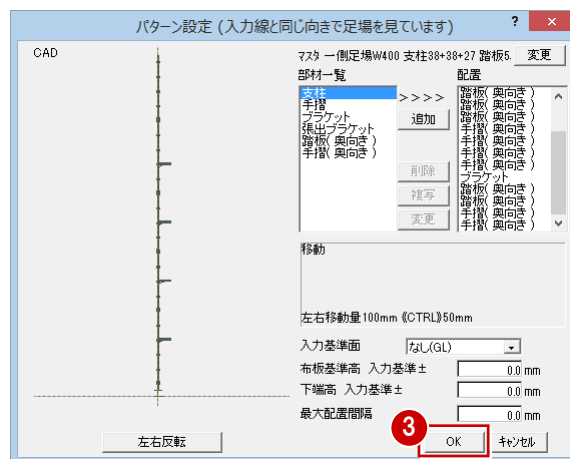
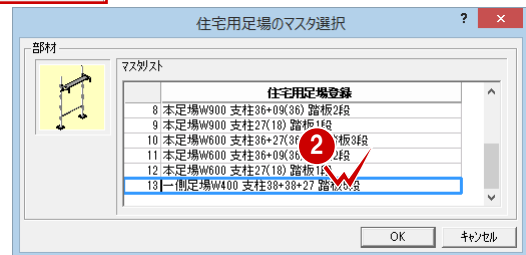
[パターン設定 (入力線と同じ向きで足場を見えています)] ダイアログが開きます。

③ [OK] をクリックします。

④ [ピック (交点)] のみオンにします。

⑤ 右図のように、補助線の角を順にクリックして、住宅用足場を配置します。

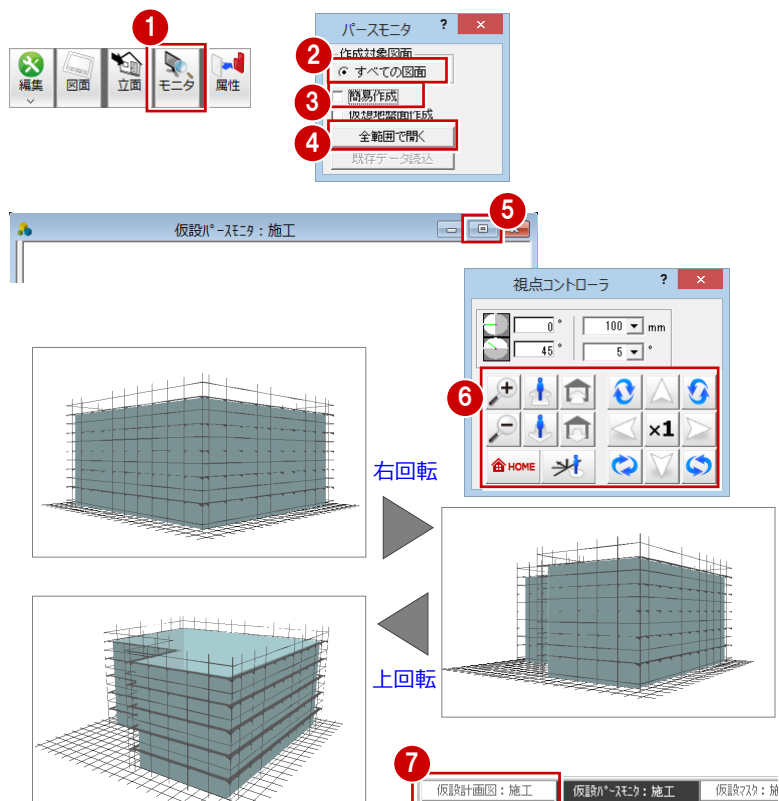
⑥ 右クリックして、ポップアップメニューから [OK] を選びます。



立体データを確認する

パースモニタを開いて、ここまで入力したデータの立体を確認してみましょう。

- ① [モニタ] をクリックします。
[パースモニタ] ダイアログが開きます。
- ② [すべての図面] にチェックが入っていることを確認します。
- ③ [簡易作成] のチェックをはずします。
- ④ [全範囲で開く] をクリックします。
[パースモニタ] ウィンドウが開いて、立体データが作成されます。
- ⑤ [パースモニタ] ウィンドウの [最大化] をクリックして、ウィンドウを最大化しておきます。
- ⑥ [視点コントローラ] ダイアログの各ボタンを使用して、立体データを確認します。
- ⑦ [仮設計画図] タブをクリックします。
[パースモニタ] ウィンドウを開いたまま、[仮設計画図] ウィンドウに切り替わります。



仮設立面図を開いて、筋かいや壁つなぎを配置してみましょう。

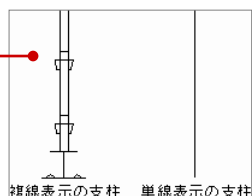
専用初期設定を変更する

まず、仮設立面図に関する初期設定を変更しましょう。

作図条件の変更

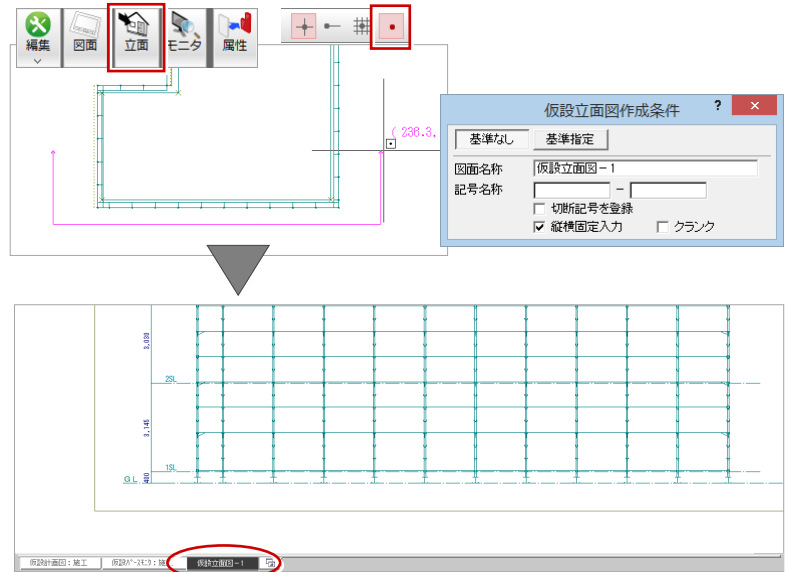
- ① [設定] をクリックします。
[設定] ダイアログが開きます。
- ② ツリーから「仮設計画図：施工 初期設定」の「図面作成（立面）」をクリックします。
- ③ [複線表示] にチェックを付けます。
- ④ [OK] をクリックします。

[複線表示] にすることで、支柱が複線で描画され、ジャッキベースやアンダーベースなども描画されるようになります。



仮設立面図を開く

P.18「仮設立面図を開く」を参照して、南面に対する立面図を開きましょう。



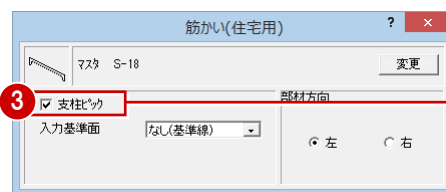
筋かいを入力する

- 1 [住宅] メニューから [筋かい] を選びます。
[筋かい (住宅用) のマスタ選択] ダイアログが開きます。
- 2 入力する筋かいを選びます。
ここでは、品番が「S-18」の筋かいをダブルクリックします。
[筋かい (住宅用)] ダイアログが開きます。



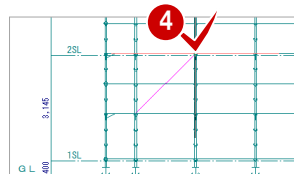
筋かいの他に、階段や手摺などの部材も入力できます。

- 3 [支柱ピック] にチェックを付けます。

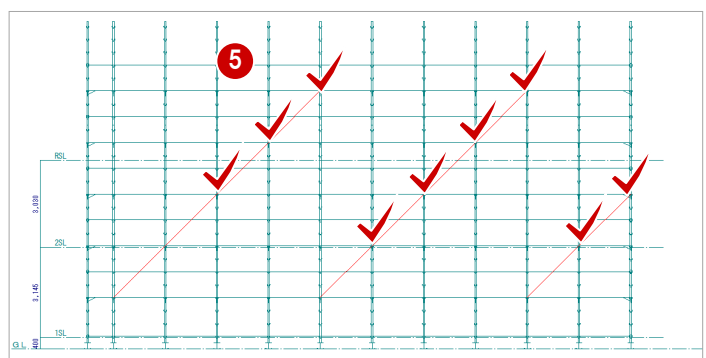


[支柱ピック] にチェックを付けることで、支柱をつかみやすくなります。

- 4 右図のように支柱と踏板の交点をクリックして、筋かいを配置します。



- 5 同様に、右図のように筋かいを配置します (9箇所)。

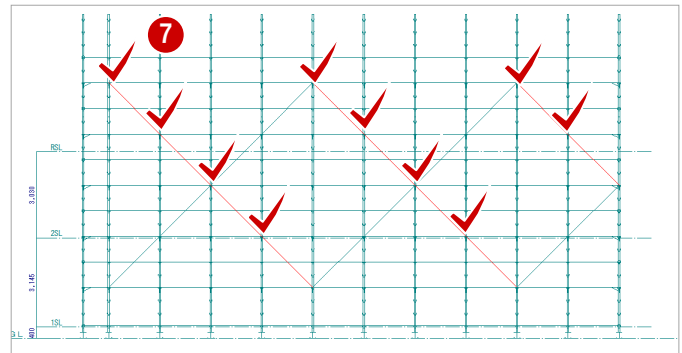


Q3 住宅用足場を使うには

- ⑥ [筋かい (住宅用)] ダイアログで [部材方向] の「右」にチェックを入れます。



- ⑦ 右図のように、残りの筋かいを配置します。

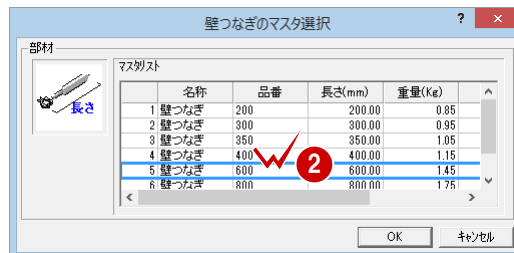


壁つなぎを入力する

- ① [部材] メニューから [壁つなぎ] の [壁つなぎ] を選びます。



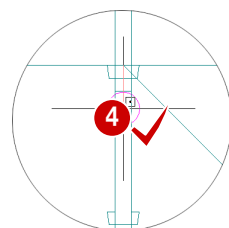
- ② 入力する壁つなぎを選びます。
ここでは、品番が「600」の壁つなぎをダブルクリックします。
[壁つなぎ] ダイアログが開きます。



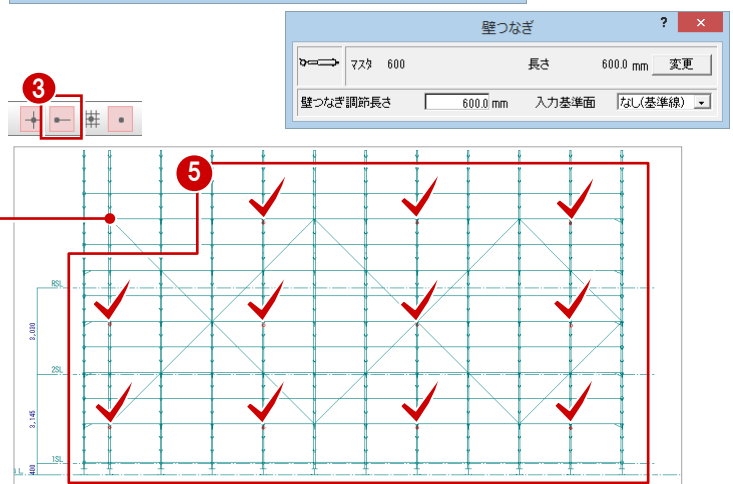
- ③ [ピック (端点)] をオンにします。

- ④ 壁つなぎを配置する位置をクリックします。

- ⑤ 同様に、他の箇所にも配置していきます。



ここでは、ブラケットの下の端部を基準に配置します。



- ⑥ 同様な操作で、その他の面の仮設立面図も開いて、筋かい・壁つなぎを配置しましょう。